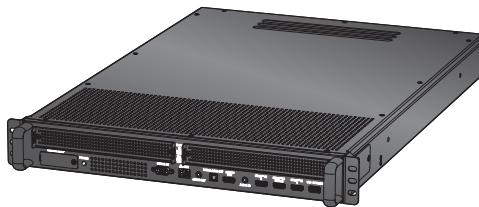


Panasonic®

取扱説明書 詳細編

コントロールボックス 業務用

品番 TY-CTRFHD1J
TY-CTRFHD2J
TY-CTRFHD3J



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(5 ~ 9 ページ) を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 本品は TL-110AD12AJ、TL-137AD15AJ、TL-165AD19AJ 専用の構成品並びに別売品です。
単独でのご購入・ご使用はできません。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。
お買い上げの際は、製品本体の製造番号をお確かめください。

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

HDMI Advance™
Covered by patents at patentlist.accessadvance.com

パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号

© Panasonic Projector & Display Corporation 2025

W1224MH2095 -FJ

DPQP1635XA/X1

もくじ

お使いになる前に

- この取扱説明書のイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。

安全上のご注意	必ずお守りください	5
使用上のお願い		9
付属品の確認		11
本体		11
付属品		11
リモコンの電池の入れかた		15
ファンクションボードの取り付け		16
移動するときの注意		18
別売オプション		18
接続		19
電源コードの接続と固定、 接続ケーブルの固定		19
映像機器の接続		20
接続の前に		22
HDMI IN 1・HDMI IN 2・HDMI IN 3 端子の接続例		22
SERIAL IN（シリアル）端子の接続例 （パソコンで制御する場合）		23
AUDIO OUT、 DIGITAL AUDIO OUT 端子の接続例		25
USB 端子の接続例		25
HDMI OUT 端子の接続例		26
各部の基本説明		27
本機		27
リモコン		28
基本の操作		29
入力信号を切り換える		32
入力信号・画面モードなどを知りたい とき		33
音量を調整する		34
消音を使う		34
オフタイマーを使う		34
映像に合わせた拡大画面にする（画面 モード）		35
画面領域を拡大表示する（デジタル ズーム）		36
オンスクリーンメニューについて		37
位置調整		39
音声の調整		40
画質の調整		41
メモリー機能を使う		45
メモリーに保存する		46

メモリーを呼び出す	46
メモリーを編集する	47
初期設定	48
信号モード	48
起動設定	50
入力信号サーチ	52
フェイルオーバー／フェイルバック	53
スクリーンセーバー	54
入力表示書換設定	56
入力切換スキップ設定	56
パワーマネージメント設定	57
音声入力切換	59
外部機器連携設定	59
HDMI-CEC 設定	59
イメージ設定	61
入力切換固定	62
オフタイマー機能	62
無操作自動オフ	62
表示言語切換	62
マルチ画面設定	63
映像遅延軽減設定	64
タイマー設定	65
日付と時刻	66
ネットワーク設定	68
USB メディアプレーヤー設定	74
メモリービューアー設定	76
Screen Transfer 設定	77
ワイヤレスプレゼンテーション設定	77
ファンクション設定	77
OSD 設定	79
オプション設定	80
コントロール設定	81
センサー設定	82
パネル設定	82
情報通知タイミング	82
動作設定	83
制限設定	83
SLOT 設定	84
ネットワーク機能を使う	85
接続に必要なパソコン環境	85
ネットワーク接続例	85
コマンドコントロール	86
LAN 経由の制御コマンドについて	86
PJLink プロトコル	87
複数台監視制御ソフトウェアについて	89

コンテンツマネージメントソフト	
ウェアについて	89
Screen Transfer について	89
LAN で接続する	90
パソコンの操作	90
WEB ブラウザーコントロールを使う	90
WEB ブラウザーコントロールを使う	
前に	90
WEB ブラウザーからのアクセス	91
WEB ブラウザーで操作する	92
USB メディアプレーヤーを使う	112
機能の説明	112
準備	113
ファイルの再生	115
ネットワーク環境（マルチメディア	
プレーヤーのみ）	118
メディアプレーヤーの開始／終了	118
途中から再生機能（レジューム再生）	119
プレイリスト編集機能	119
コンテンツマネージメントソフト	
ウェアによるスケジュール再生機能	
について	120
メモリービューアを使う	124
準備	124
メモリービューア画面を表示する	126
静止画を再生する	127
動画・音楽を再生する	127
HDMI-CEC 機能を使う	129
接続例	129
設定	129
機器の連動	129
機器の操作（本機のリモコンで機器の	
操作）	130
ARC 機能を使う	131
接続例	131
設定	131
音声出力先の切替	131
データクローニングを使う	132
コントロールボックスのデータを USB メモリーにコピー	132
USB メモリーのデータをコントロールボックスにコピー（クローニング）	133
LAN を経由して他のコントロールボックスにデータをコピー	134
クローニングパスワードを変更する	135
USB メモリーでの	
ネットワーク設定	136
USB メモリーに LAN 設定のファイルを保存	136
USB メモリーのデータを本機にコピー	137
ID リモコン機能を使う	138
リモコンの ID 番号を設定する	138
リモコンの ID 番号の設定を解除する（ID 「0」）	138
文字入力について	139
プリセット信号	140
工場出荷時の設定に戻すには	143
リモコン操作制限の設定を標準値に戻すには	143
「リモコン操作制限」「リモコン ID 機能」の設定を行った時	143
修理を依頼される前に	144
仕様	146
ソフトウェアライセンス	149
商標について	149

大切なお知らせ

業務用ディスプレイ / プロジェクター テクニカルサービスサイト PASSについて

PASSは、当社製品をご使用またはご購入を検討されている方に様々なサービスをご提供する、総合サポートサイトです。

詳しくは下記のWEBサイト

(<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/pass/>)

または、

パナソニック PASS



で検索してください。

メンバー登録が未だの方は、
[新規登録](#) ボタン
から登録をお願いします。

メンバー登録がお済みの方は、
登録メールアドレス /
パスワードを入力してログインしてください。

■簡単なご登録だけで、様々なコンテンツをご利用いただけます

・ダウンロード

ユーティリティーソフトウェアやファーム
ウェアをダウンロードできます。

・ニュースレター購読

PASSの最新情報、新製品情報などをメール
でお届けします。

・お問い合わせ

ログインいただくと、細かい手続き不要です
ぐにお問い合わせいただけます。

■本機購入後1か月以内にPASSに ご登録頂きますようお願いいたします。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。

警告

異常・故障時は直ちに使用を中止してください

■異常があったときは電源プラグを抜いてください

- 煙が出たり、異常な臭いや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水などの液体や異物が入った
- 本機に変形や破損した部分がある



電源プラグ
を抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

- 電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
- 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。
- お客様による修理は危険ですから、おやめください。
- 電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

■故障した本機には手で触れないでください

感電の原因になることがあります。



■異物を入れないでください

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。



火災・感電の原因となります。

- 特に子様にはご注意ください。

警告

電源コードについて

- 電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください



付属以外の電源コードを使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。

- 付属の電源コードを他の機器に使用しないでください



ショートや発熱により、火災や感電の原因になることがあります。

- 電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をしてください

湿気などでショートし火災・感電の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください

感電の原因となります。



ぬれ手
禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、本機の仕様外の交流電源電圧では使用しないでください



たとえ足配線などで、定格を超えると、発熱により火災の原因となります。

- 電源プラグ（コンセント側）や、電源コネクター（本体側）は、根元まで確実に差し込んでください

差し込みが不完全であると、感電や発熱による火災の原因になります。



- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントのまま使用しないでください。
- 電源コネクター左右のロックが掛かっていることを確認してください。

- 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください

傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど



ショート、断線により火災・感電の原因となります。

- 電源コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

- 破損した電源コードや電源プラグには手で触れないでください



感電やショートによる火災の原因になることがあります。

- 本機は、必ず、電源プラグを保護接地があるコンセントに接続してください

- アースは確実に行ってください



感電の原因となります。本機の電源プラグはアース付き3芯プラグです。機器の安全確保のため、アースは確実に接続を行ってください。

- アース工事は専門業者にご依頼ください。



警告

■ 設置は、工事専門業者にご依頼ください



工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

- コントロールボックス（TY-CTRFHD1J）の壁への取り付けには FHD LED ディスプレイ（TL-110AD12AJ）に同梱の専用壁掛け金具を必ずご使用ください。コントロールボックス（TY-CTRFHD2J、TY-CTRFHD3J）は、壁に取り付けることができません。
- 落下防止のため、壁掛け金具と取り付ける機材の重量に十分耐えるよう、取り付け場所の強度を確認のうえ施工を行ってください。
- 電源ボックスは FHD LED ディスプレイ（TL-110AD12AJ、TL-137AD15AJ、TL-165AD19AJ）に付属の金具に取り付けてください。
- コントロールボックス（TY-CTRFHD1J）は FHD LED ディスプレイ（TL-110AD12AJ）に付属の金具に取り付けてください。もしくは、ANSI/EIA-310-D 規格に準拠したラックに取り付けてください。
- コントロールボックス（TY-CTRFHD2J、TY-CTRFHD3J）は、ANSI/EIA-310-D 規格に準拠したラックに取り付けてください。
- FHD LED ディスプレイ（TL-110AD12AJ）のスタンドへの取り付けには指定の別売移動式スタンド（TY-ST110AD1）をご使用ください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。

■ 同梱されている付属品は乳幼児の手の届くところに置かないでください



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら本機や電源プラグには触れないでください



感電の原因となります。

接触
禁止

■ 本機上部に水などの液体の入った容器を置かないでください



水ぬれ
禁止

水などの液体がこぼれ、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ むらしたりしないでください



水ぬれ
禁止

火災・感電の原因となります。

■ 不安定な場所に置かないでください



ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

■ 振動が少なく、本機の質量に耐えられる場所に設置してください



倒れたり、落ちたりして、けがや故障の原因となります。

■ 機器本体取り付け、または取り外しの際には、機器本体と壁や金具に挟まる恐れがあるため、周辺に人がいないことを確認し、注意して作業してください



手や指がはさまり、けがの原因になることがあります。

■ 本機を分解したり、改造したりしないでください



分解
禁止

警告



感電のおそれあり

サービスマン以外の方は、カバーをあけないでください。内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



注意

- 本機の通風孔をふさがないでください
- 風通しの悪い狭い所に押し込まないでください
- 逆さまにしないでください
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください



内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

- 上に物を置かないでください



倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

- 本機に乗ったり、ぶらさがったりしないでください



倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。
●特に、小さなお子様にはご注意ください。

- 温度の高い所、湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください



火災・感電の原因となることがあります。

- 電源コードを取り外すときは、必ず電源プラグ（コンセント側）や、電源コネクター（本機側）を持って抜いてください



コードを引っ張ると、コードが破損し、感電・ショートによる火災の原因となることがあります。

- 移動させる場合は、電源コードや機器の接続線、転倒・落下防止具を外してください



コードや本機が破損し、火災・感電の原因となることがあります。

- 接続ケーブルの処理は確実に行ってください



ケーブルを壁面に挟んだり、無理に曲げたり、ねじったりすると、芯線の露出、ショート、断線により、火災・感電の原因となることがあります。

- 新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください

- 日光、火などの過度な熱にさらさないでください



取り扱いを誤ると、電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 電池を入れるときには、極性（プラス+とマイナス-）を逆に入れないでください



取り扱いを誤ると、電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。

挿入指示通り正しく入れてください。

- 被覆のはがれた電池は使用しないでください



取り扱いを誤ると、電池のショートにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 電池の液が漏れたときは、素手でさわらないでください



● 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

● 液が身体や衣服についたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

- 長時間使用しないときは、リモコンから電池を取り出してください



液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

- 使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出してください



そのまま機器の中に放置すると、電池の液漏れや、発熱・破裂の原因になります。

- 強い力や衝撃を加えないでください



機器が破損し、けがの原因となることがあります。

- 長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください



電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

電源
プラグを
抜く



注意

■ 壁への取り付けの際は、取り付けねじや電源コードが壁内部の金属部と接触しないように設置してください



壁内部の金属部と接触して、感電の原因となることがあります。

■ 接続ケーブルを引っ張ったり、ひっかけたりしないでください



倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に、お子様にはご注意ください。

■ 雨が当たる所、塩害が発生する所、腐食性ガスが発生する所に設置しないでください



腐食により落下し、けがの原因になることがあります。また、本機の故障の原因になる場合があります。

■ 取付工事の際は、指を挟まないようにご注意ください



けがの原因となることがあります。

指はさみ注意

■ 取扱説明書 / 施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときは、当社では責任を負えません。

お手入れについて

■ 一年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください



内部にはこりがたまつたまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除については販売店にご相談ください。

■ お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください



感電の原因となることがあります。

電源
プラグを
抜く

■ ファンクションボード（別売品）の取り付けや取り外し、お手入れの際は、安全のため電源プラグ（コンセント側）や電源コネクター（電源ボックス側）をコンセントから抜いてください



感電の原因となることがあります。

電源
プラグを
抜く

使用上のお願い

■ 設置されるとき

本機の設置については、次に示す各項目をお守りください。

また、設置環境の不具合による製品の破損などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。

本機は屋内に設置してください。また、屋内であっても次のような場所の設置は避けてください。

- 風雨にさらされる場所
- 空調機の近くなど、温度・湿度の変化が激しい場所
- 振動や衝撃の加わるおそれのある場所
- スプリンクラーや感知器の近く

振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。

- 本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。

振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

本機の質量に耐えられる場所に設置してください。

- 転倒・落下により、けがの原因になることがあります。

高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。

- 高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。

機器相互の干渉に注意してください。

- 電磁波妨害による映像の乱れ、雑音などをさけて設置してください。

本機の使用環境温度は、海拔 1 400 m 未満で使用する場合は、0 ℃～ 40 ℃、高地（海拔 1 400 m 以上～ 2 800 m 未満）で使用する場合は、0 ℃～ 35 ℃です。これらの温度を越えないように空気の流通を確保してください。

- 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

直射日光を避け、熱器具から離して設置してください。

- 室内であっても直接日光が当たると LED モジュールの温度上昇により故障の原因になることがあります
- キャビネットの変形や故障の原因となります。
- 光や熱によって機器の温度上昇に起因する故障や不具合の原因となる場合があります。
- 映像品位の低下につながる場合があります。

機器の接続は通電されていない状態で実施してください。

- 各機器の説明書に従って、接続してください。

設置時の空間距離について

- ケースや筐体内に設置する場合は、冷却ファンや通気口を設けて、LED パネル前面を含めた本機周辺温度（ケースや筐体内温度）が本機の使用環境温度の範囲内に維持されるように適切な換気を確実に行ってください。

本機を保管しておく場合は、乾燥した室内に保管してください。

■接続について

電源コードや接続ケーブル抜き差しについて

- 壁への設置を行った場合、電源コード、接続ケーブルの抜き差しが困難な場合は、先に接続してから設置してください。
- コード類が絡まないようご注意ください。設置が完了してから、電源プラグをコンセントに差してください。

■ご使用になるとき

本機の一部が熱くなることがあります。

- 筐体の一部の温度が高くなることがあります、性能・品質には問題ありません。

ファンの交換が必要となる場合があります

- ファンの使用時間が 25,000 時間を超えた場合は、ファンの交換が必要となる場合があります。
- 使用環境によりファンの交換時間が必要となる時間は異なります。
- ファンの交換については販売店にご依頼ください。ファンの使用時間は「オプション設定」画面でご確認いただけます。

LED を長期間ご使用いただくために

- 温度の高い場所での使用や長期間の運転停止ならびに保管により LED 素子が吸湿している可能性があります。吸湿している状態において輝度での表示を行うと、LED 素子が急激な温度変化を引き起こし、LED 素子の不良の原因となりますので、輝度設定を徐々に上げてから通常運転に移行する「ウォームアップ動作」を「オン」もしくは「オート」に設定してください。

適度の音量で隣近所への配慮を

- 特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたりして生活環境を守りましょう。

長時間ご使用にならないときは

- 電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

- 電源供給せずに長期保管する場合は、直射日光にさらされる様な場所に保管しないでください。

電源が瞬断や瞬停、瞬時電圧低下すると、正常に動作しない場合があります。

- このような場合は、本機および本機と接続している機器の電源をいったん切ったあと、再度、電源を入れてください。

ご覧になっている映像端子以外の入力端子に接続されているケーブルを抜き差したり、映像機器の電源を「切」「入」とすると映像が乱れことがありますですが故障ではありません。

粘着性のテープやシールを貼らないでください

- 本機の表面を汚すことになります。

ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください

- 本機の変質の原因となります。

■RJ45 端子との接続について

本機前面の RJ45 端子は、ネットワーク専用端子です。

一方、本製品背面の RJ45 端子は、キャビネットモジュールへの映像端子、もしくは電源ボックスへの制御端子です。ネットワークには絶対に接続しないでください。

誤って接続をすると、故障の原因となることがあります。

静電気が多く発生するような場所での本機の使用は、できるだけしないでください。

- じゅうたんなどの静電気が多く発生するような場所で本機を使用する場合、通信が切れやすくなります。その場合は、問題となる静電気やノイズ源を取り除いてから、本機と接続している機器の電源をいったん切ったあと、再度、電源を入れてください。

放送局や無線機からの強い電波により、正常に動作しない場合があります。

- 近くに強い電波を発生する設備や機器がある場合は、それらの機器から十分に離して設置するか、両端で接地された金属箔あるいは金属配管で LAN ケーブルを覆ってください。

■セキュリティーに関するお願い

本機をご使用になる場合、次のような被害に遭うことが想定されます。

- 本機を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本機の不正操作
- 悪意の第三者による本機の妨害や停止

セキュリティー対策を十分に行ってください。

- LAN 制御のパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。
- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。

- パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社およびその関係会社が、お客様に対して直接パスワードを照会することはございません。直接問い合わせがあつても、パスワードを答えないでください。
- ファイアウォールなどの設定により、安全性が確保されたネットワークでご使用ください。
- 廃棄時には、データの初期化を行つてから廃棄ください。
「工場出荷時の設定に戻すには」をご覧ください。

■ お手入れについて

必ず電源プラグをコンセントから抜いて、通電をしていないこと確認してから行ってください。

本機 (LED モジュール表面除く) の汚れは、帯電を除去した柔らかい布（綿・ネル地など）で軽くふく

お知らせ

- 静電気の発生は、電気回路の故障の原因になります。
- 本機の表面を固い布でふいたり、強くこすったりすると故障の原因になります。

化学ぞうきんのご使用について

- 本機にご使用の際はその注意書きに従つてください。
殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものにかけない
- 本機の故障、破損や塗装がはがれる原因になります。



通気孔などの空気が通る孔のごみやほこりを取り除く

- 使用環境によって通気孔付近に埃などが付着する場合があります。それにより、本機内部の冷却、排熱の循環が悪化し、輝度の低下や故障の原因となるおそれがありますので通気孔に付着した埃を取り除く清掃をお願いします。
- 付着するゴミやほこりの量は、設置した場所や使用時間によって異なります。

■ 廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。
なお製品を分解せずに廃棄してください。

付属品の確認

本体



付属品

付属品が入っていることをご確認ください。
<　　>は個数です。

■ TY-CTRFHD1J

□ 電源コード< 1 >

100 V 接地付きコンセント用（約 2 m）

- 1JP155AF1J

※電源ボックスから電源を供給しない場合は、必ずこちらの電源コードを使用して、100 V コンセントに接続してください。



□ 電源コード< 1 >

TY-PWRBX1J 装着用（約 2 m）

- DPVF4976ZA/X1



□ RJ-45 ケーブル< 4 >

- DPVF4977ZA/X1

1.7 m < 2 >

- DPVF4979ZA/X1

2.2 m < 2 >



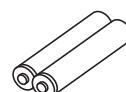
□ リモコン< 1 >

- DPVF4035ZA/X1



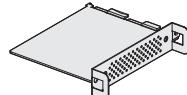
□ 単4形乾電池< 2 >

(リモコン用)



□ SLOT アダプター<2>

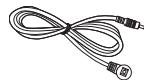
● DPVF2722XA/X1



□ 外部 IR 受信機<1>

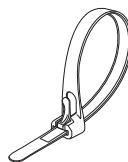
(約 1.8m)

● DPVF1180ZA



□ 結束バンド<20>

● DPVF4980ZA/X1



□ 面ファスナー<10>

● DPVF4981ZA/X1



□ 連結金具

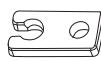
垂直方向<8>*

● DPVF4985ZA/X1



水平方向<2>*

● DPVF4982ZA/X1



□ M8-14 ねじ<16>*

垂直方向連結金具用

● DPVF4986ZA/X1



□ M10-20 ねじ<2>*

水平方向連結金具用 A

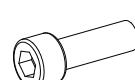
● DPVF4983ZA/X1



□ M10-18 ねじ<2>*

水平方向連結金具用 B

● DPVF4984ZA/X1



□ M6-8 ねじ<4>

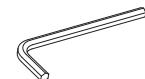
ボックス固定用

● DPVF5008ZA/X1



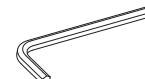
□ 六角レンチ (M4 用) <1>

● DPVF4988ZA/X1



□ 六角レンチ (M5 用) <1>

● DPVF4989ZA/X1



□ LED モジュール高さ調整ジグ<1>

● DPVF4987ZA/X1



* TL-110AD12AJ パッケージでは使用しません。

■ TY-CTRFHD2J

□ 電源コード<1>

100 V 接地付きコンセント用 (約 2 m)

● 1JP155AF1J

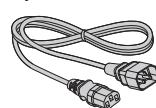
※電源ボックスから電源を供給しない場合は、必ずこちらの電源コードを使用して、100 V コンセントに接続してください。



□ 電源コード<1>

TY-PWRBX2J 装着用 (約 2 m)

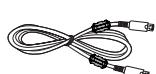
● DPVF5003ZA/X1



□ RJ-45 ケーブル<5>

● DPVF5132ZA/X1

10 m

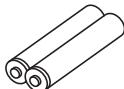


□ リモコン<1>

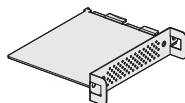
● DPVF4035ZA/X1



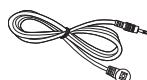
- 単4形乾電池<2>
(リモコン用)



- SLOTアダプター<2>
● DPVF2722XA/X1



- 外部IR受信機<1>
(約1.8m)
● DPVF1180ZA



- 結束バンド<20>
● DPVF4980ZA/X1



- 面ファスナー<10>
● DPVF4981ZA/X1



- 連結金具
垂直方向<10>*:
● DPVF4985ZA/X1
水平方向<2>*:
● DPVF4982ZA/X1



- M8-14ねじ<20>*:
垂直方向連結金具用
● DPVF4986ZA/X1



- M10-20ねじ<2>*:
水平方向連結金具用 A
● DPVF4983ZA/X1



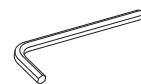
- M10-18ねじ<2>*:
水平方向連結金具用 B
● DPVF4984ZA/X1



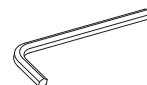
- M6-8ねじ<4>
ボックス固定用
● DPVF5008ZA/X1



- 六角レンチ(M4用)<1>
● DPVF5134ZA/X1



- 六角レンチ(M5用)<1>
● DPVF5135ZA/X1



- LEDモジュール高さ調整ジグ<1>
● DPVF4987ZA/X1



* TL-137AD15AJパッケージでは使用しません。

■ TY-CTRFHD3J

- 電源コード<1>

- 100V 接地付きコンセント用(約2m)
● 1JP155AF1J

※電源ボックスから電源を供給しない場合は、必ずこちらの電源コードを使用して、100Vコンセントに接続してください。



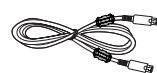
- 電源コード<1>

- TY-PWRBX3J装着用(約2m)
● DPVF5003ZA/X1



- RJ-45ケーブル<6>

- DPVF5132ZA/X1
10m

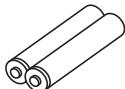


- リモコン<1>

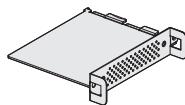
- DPVF4035ZA/X1



- 単4形乾電池<2>
(リモコン用)



- SLOTアダプター<2>
● DPVF2722XA/X1

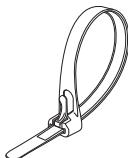


- 外部IR受信機<1>
(約1.8m)

● DPVF1180ZA



- 結束バンド<20>
● DPVF4980ZA/X1



- 面ファスナー<10>
● DPVF4981ZA/X1



- 連結金具
垂直方向<12>*:
● DPVF4985ZA/X1
水平方向<2>*:
● DPVF4982ZA/X1



- M8-14ねじ<24>*:
垂直方向連結金具用
● DPVF4986ZA/X1



- M10-20ねじ<2>*:
水平方向連結金具用 A
● DPVF4983ZA/X1



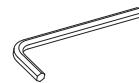
- M10-18ねじ<2>*:
水平方向連結金具用 B
● DPVF4984ZA/X1



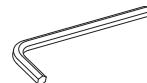
- M6-8ねじ<4>
ボックス固定用
● DPVF5008ZA/X1



- 六角レンチ(M4用)<1>
● DPVF5134ZA/X1



- 六角レンチ(M5用)<1>
● DPVF5135ZA/X1



- LEDモジュール高さ調整ジグ<1>
● DPVF4987ZA/X1



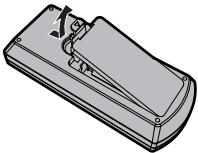
* TL-165AD19AJパッケージでは使用しません。

お願い

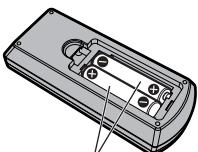
- 乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。
- 付属品の品番は予告なく変更する場合があります。
(上記品番と実物の品番が異なる場合があります。)
- 付属品を紛失された場合は、お買い上げの販売店へご注文ください。(サービスルート扱い)
- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。

リモコンの電池の入れかた

ふたをあける



電池を入れ、ふたをしめる
(- 側から先に入れます。)



単4形乾電池

お願い

- 電池を誤って取り付けると、液漏れや腐食のために、リモコンが壊れることがあります。
- 電池は環境に配慮した方法で廃棄してください。

次の点にご注意ください。

1. 電池は常に2本1組で交換してください。
2. 使用済み電池と新しい電池を組み合わせないでください。
3. 異なる種類の電池を組み合わせないでください（例えばマンガン電池とアルカリ電池など）。
4. 使用済み電池の充電、分解、焼却などを行わないでください。
5. 電池を分解したり、火の中に投入したりしないでください。
また、直射日光の当たる場所や火のそばなど、高温の場所に保管しないでください。

ファンクションボードの取り付け

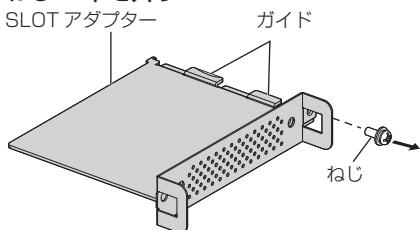
幅が狭いファンクションボードを使用される場合は、付属品の SLOT アダプターを取り付けて機能拡張用スロットに挿入してください。

お願い

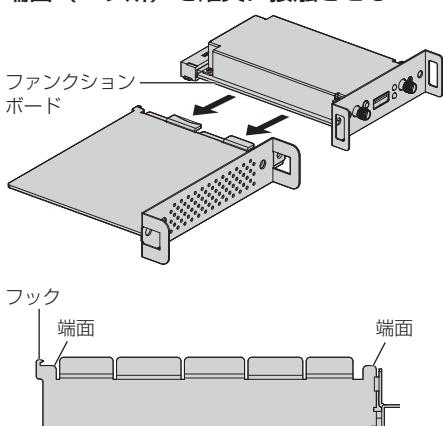
- 必ずコントロールボックス本体および接続機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、接続ケーブルをコントロールボックス本体から外してください。
- ファンクションボードの取り外し、取り付け時に金属でバックカバーや表示シートに傷を付けないようしてください。

フルサイズのファンクションボードを装着する場合は、手順 4 に進んでください。

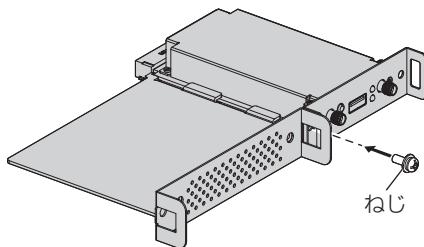
1 SLOT アダプターのガイドがある側のねじ 1 本を外す



2 SLOT アダプターのガイドにファンクションボードの基板をはめ込み、基板をフック（1ヶ所）と端面（2ヶ所）を確実に接触させる



3 手順 1 で外したねじでファンクションボードを SLOT アダプターに固定する

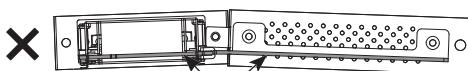
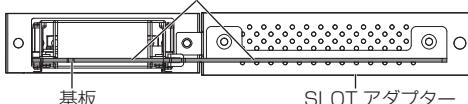


- 締付けトルクは $0.5\text{N}\cdot\text{m}$ 以下を目安として締めてください。

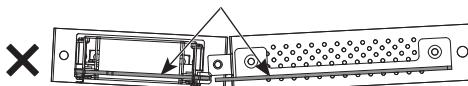
お願い

- ねじを確実に締め、SLOT アダプターのフックが基板を固定していることを確認してください。
- SLOT アダプターを取り付けたファンクションボードをカバーと反対側から見たときに、SLOT アダプターと基板のそれぞれの面が一致していることを確認してください。

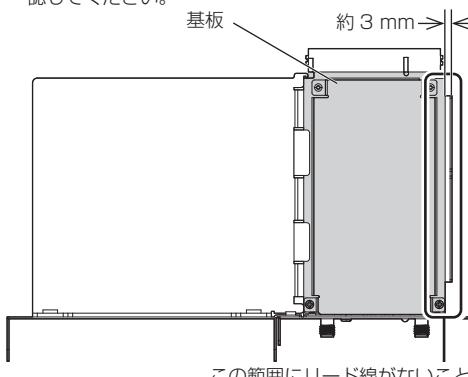
この面が一致していること



この面が水平になっていないと装着できません。



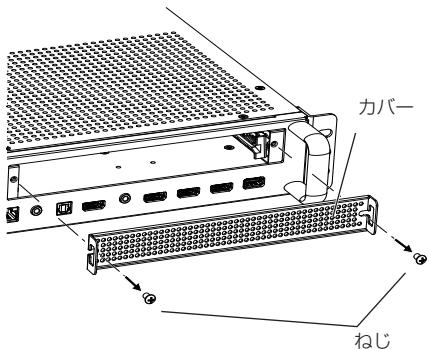
- 基板の端面から約 3 mm の範囲にリード線があるとガイドレールと干渉してファンクションボードを装着できません。この範囲にリード線がないことを確認してください。



この範囲にリード線がないこと

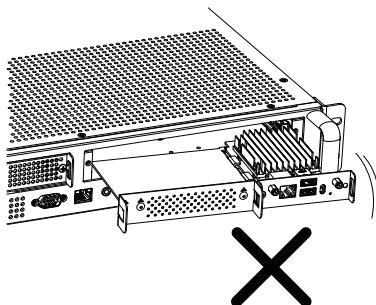
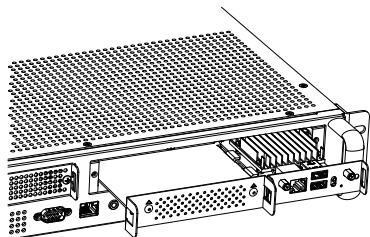
4 ねじ 2 本を外し、機能拡張用スロットのカバーまたはファンクションボードを取り外す

ファンクションボードを取り外す際は、ファンクションボードの取っ手を持ち、ゆっくりと矢印方向に引き抜いてください。



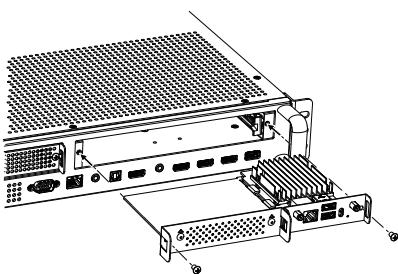
お願い

- ファンクションボードが機能拡張用スロットの開口部端面に接触しないように挿入してください。本機およびファンクションボードに傷がつく原因になります。



5 機能拡張用スロットにファンクションボードを挿入し、ねじ 2 本を締める

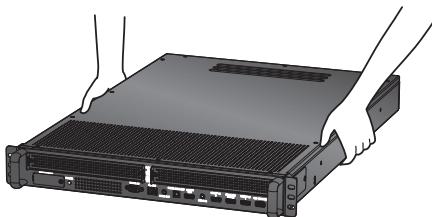
手順 4 で外したねじ（2 本）で固定してください。



- 締め付けトルクは 0.5N・m 以下を目安として締め付けてください。

移動するときの注意

移動する際には両側面を持ってください。



お願い

- 壁掛けもしくはスタンドへの取り付け／取り外しは2人以上で行ってください。
- 本機の上下左右のフレームやコーナー部をぶつけたりしないでください。
故障の原因になります。

別売オプション

取り付けについては専門業者にご依頼ください。

12G-SDI 端子ボード：

- TY-SB01QS

デジタルリンク端子ボード：

- TY-SB01DL

デジタルリンクスイッチャー：

- ET-YFB200

ワイヤレスプレゼンテーションシステム SLOT オプションボード：

- TY-SB01WP

お願い

- 設置は、性能・安全確保のため、必ずお求めの販売店または専門業者に施工を依頼してください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。
- 別売のオプションの品番は、予告なく変更する場合があります。

接続

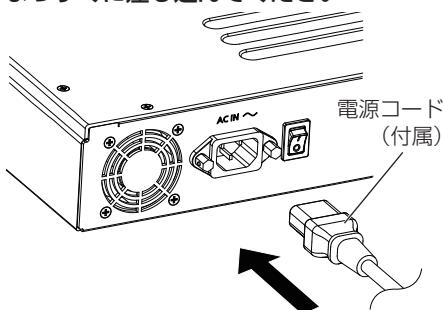
電源コードの接続と固定、 接続ケーブルの固定

本体後面



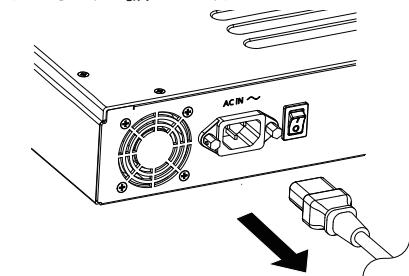
電源コードの固定方法

コネクターを根元まで
まっすぐに差し込んでください



電源コードを外すとき

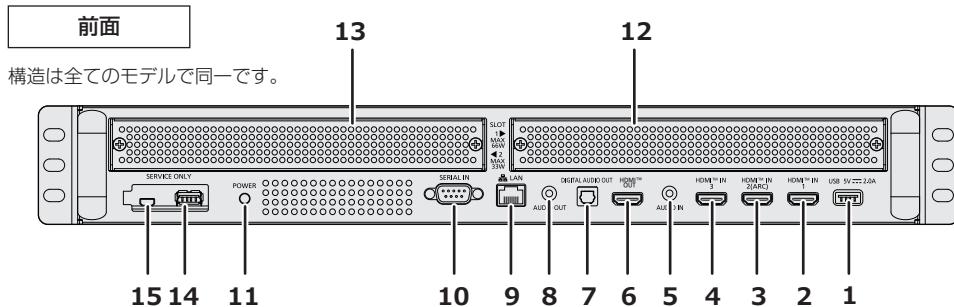
コネクター本体を持って、
まっすぐに抜いてください



お願い

- 破損した電源コードは使用しないでください。破損した状態で使用すると、電源コードのコネクターと〈AC IN〉端子との間で接触不良になるおそれがあります。電源コードの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 電源コードを外す場合は、必ず電源コンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
- 付属の電源コードは、本機専用です。他の用途に使用しないでください。

映像機器の接続



1 USB : USB 端子

USB メモリーを接続したとき、メディアプレーヤーやメモリビューアー機能を使用できます。
また、受像時に 5V / 最大 2A まで外部機器に電源を供給することができます。
(☞ 26)

2 HDMI IN 1 : HDMI 入力端子 (3 系統)

3 HDMI IN 2 : HDMI 出力がある映像機器
4 HDMI IN 3 : を接続します。また、HDMI IN 2 端子は、ARC 対応機器に接続して音声を出力できます。(☞ 22)

5 AUDIO IN : アナログ音声入力端子

6 HDMI OUT : HDMI 出力端子

HDMI IN 3 に入力している映像及び音声を出力します。
HDMI 入力がある映像機器を接続します。

7 DIGITAL 音声出力端子

AUDIO OUT : デジタル音声入力端子があるオーディオ機器を接続します。

8 AUDIO OUT : アナログ音声出力端子

アナログ音声入力端子があるオーディオ機器を接続します。

9 LAN : LAN 端子

ネットワークに接続して本機を制御します。
(☞ 85)

10 SERIAL IN : シリアル入力端子

パソコンに接続して本機を制御します。
(☞ 23)

11 POWER : 電源ランプ

電源状態ランプ

12 SLOT 1 : 機能拡張用スロット 1

最大電力 66W までの拡張ボードを使用することができます。

13 SLOT 2 : 機能拡張用スロット 2

最大電力 33W までの拡張ボードを使用することができます。

お知らせ

- 対応するファンクションボードについてはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

(SERVICE ONLY)

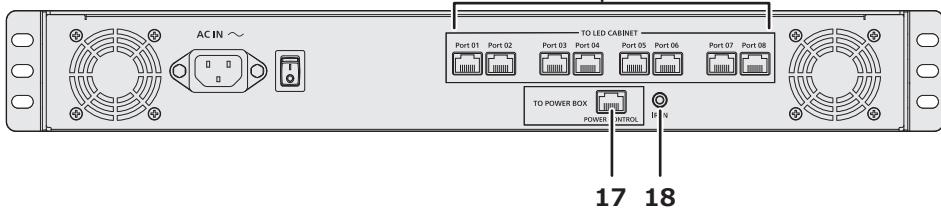
14 USB : サービス用 USB 端子 (USB TYPE A)

15 USB : サービス用 USB 端子 (USB mini B)

背面

16

構造は全てのモデルで同一です。



16 Port01～08 : LED パネルドライブ出力端子

(お知らせ)

- TL-110AD12AJ では、Port01～Port04 を使用します。
- TL-137AD15AJ では、Port01～Port05 を使用します。
- TL-165AD19AJ では、Port01～Port06 を使用します。

17 POWER CONTROL : 電源／センサー制御端子

電源ボックスと接続して電源およびセンサーモジュールを制御します。

18 IR IN : 赤外線信号入力

リモコンで本機を操作するときに外部 IR 受信機（付属品）を接続します。

接続の前に

- 接続の前に、TL-110AD12AJ、TL-137AD15AJ、TL-165AD19AJ の施工説明書をよくお読みください。
取扱説明書と施工説明書のダウンロードについては、次の URL を参照してください。
 - <https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays>
- 
- 各機器の電源を切ってからケーブルの接続をしてください。
 - 下記の点に注意して、ケーブルを接続してください。行わない場合、故障の要因になります。
 - ・ケーブルを本機、あるいは本機と接続する外部機器に接続するときは、ケーブルを持つ前に周辺の金属に触れて身体の帯電を除去した状態で作業してください。
 - ・TY-CTRFHD1J を TY-FD12AS4 の背面に設置する場合は、本機に付属の LAN ケーブルを使用して下さい。
 - ・本機 (TY-CTRFHD1J) または電源ボックス (TY-PWRBX1J) を別の場所に設置する場合は、CAT5e 以上に準拠した 30 m 以内のケーブルを使用する事を推奨いたします。
 - ・本機 (TY-CTRFHD2J, TY-CTRFHD3J) 付属 LAN ケーブル以外の LAN ケーブルを使用する場合は、CAT5e 以上に準拠した 30 m 以内の LAN の使用を推奨いたします。
 - ・本機と、本機に接続する機器とを接続するケーブルは、必要以上に長くしないでください。長くするほどノイズの影響を受けやすくなります。ケーブルを巻いた状態で使用するとアンテナになりますので、さらにノイズの影響を受けやすくなります。
 - ・ケーブル接続時は、アースが先に接続されるように、接続する機器の接続端子部にまっすぐに挿入してください。
 - システム接続に必要なケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される外部機器に合わせて準備してください。
 - プラグ外形が大きな接続ケーブルをご使用になると、隣接する接続ケーブルのプラグ部またはパックカバーなどに接触する場合があります。端子配列に適したプラグサイズの接続ケーブルをご使用ください。
 - 爪折れ防止カバー付き LAN ケーブルを挿入した場合、カバーパーがパックカバーに接触し抜けにくくなる場合がありますのでご注意ください。
 - 映像出力の設定変更時など、パソコンや映像機器からの出力同期信号に乱れが発生した場合、一時的に映像に色の乱れが発生することがあります。
 - パソコンのモデルによっては、本機と接続して使用できないものもあります。

- 各機器と本機を、長いケーブルを使用して接続する場合は、ケーブル補償器などを使用してください。本機が正常に映像を表示できないことがあります。
- 本機が表示できる映像信号については「プリセット信号」(☞ 140 ページ) をご覧ください。

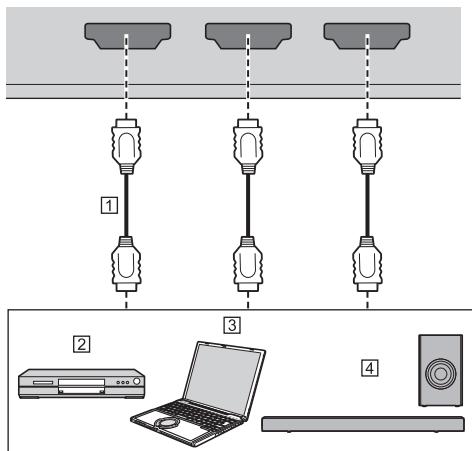
HDMI IN 1・HDMI IN 2・HDMI IN 3 端子の接続例

お知らせ

- 映像機器や HDMI ケーブルは本機に付属していません。
- HDMI 規格に準拠した機器を接続してください。
- 一部の HDMI 機器で映像を表示できないものがあります。
- 本機は、HDMI-CEC の標準規格にのみ対応しております。メーカーが独自に拡張した機能については対応していません。
- 音声は AUDIO IN 端子を利用することもできます。(「音声入力切換」機能について☞ 59 ページ)

お願い

- HDMI ケーブルは、HDMI 規格に適合している HDMI High Speed ケーブルをご使用ください。ただし、HDMI High Speed ケーブルの対応伝送速度を超える 4K 映像信号を入力する場合は、Premium HDMI ケーブルの認証を取得したものなど、18 Gbps の高速伝送に対応した HDMI ケーブルをご使用ください。
- 使用している HDMI ケーブルの対応伝送速度を超える映像信号を入力した場合、映像が途切れ、映らないなど正常に動作しないことがあります。

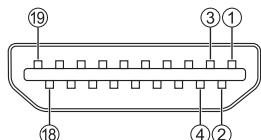


- ① HDMI ケーブル（市販品）
- ② ブルーレイディスクプレイヤー
- ③ パソコン
- ④ ARC オーディオ機器

お願い

- ARC オーディオ機器は、必ず HDMI IN 2 端子に接続してください。

HDMI 端子のピン配列と信号名



ピン No.	信号名
①	T.M.D.S データ 2 +
②	T.M.D.S データ 2 シールド
③	T.M.D.S データ 2 -
④	T.M.D.S データ 1 +
⑤	T.M.D.S データ 1 シールド
⑥	T.M.D.S データ 1 -
⑦	T.M.D.S データ 0 +
⑧	T.M.D.S データ 0 シールド
⑨	T.M.D.S データ 0 -
⑩	T.M.D.S クロック +
⑪	T.M.D.S クロック シールド
⑫	T.M.D.S クロック -
⑬	CEC
⑭	NC（無接続）*
⑮	SCL
⑯	SDA
⑰	DDC/CEC グランド
⑱	+5V 電源
⑲	ホットプラグ検出

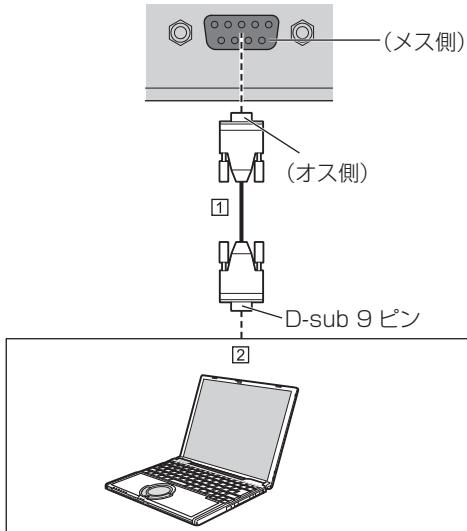
* HDMI IN 2 端子のみ ARC

SERIAL IN（シリアル）端子の接続例 (パソコンで制御する場合)

SERIAL（シリアル）端子は RS-232C 準拠のため、パソコンと接続して本機をパソコンで制御することができます。

お知らせ

- パソコンや接続ケーブルは本機に付属していません。

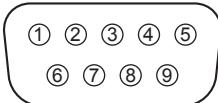


- ① RS-232C ストレートケーブル（市販品）
- ② パソコン

お願い

- SERIAL（シリアル）端子とパソコンをつなぐ通信用 RS-232C ストレートケーブルは、使用されるパソコンに合わせてご用意ください。

SERIAL（シリアル）端子のピン配列と信号名



ピン No.	信号名
①	CD (NC)
②	RXD (受信データ)
③	TXD (送信データ)
④	DTR (未使用)
⑤	GND (アース)
⑥	DSR (未使用)
⑦	RTS] (本体側で短絡)
⑧	CTS] (本体側で短絡)
⑨	RI (NC)

※パソコン側の仕様で記載しています。

通信条件

信号レベル：RS-232C 準拠

同期方式：調歩同期（非同期）

ボーレート：9 600 bps

パリティ：なし

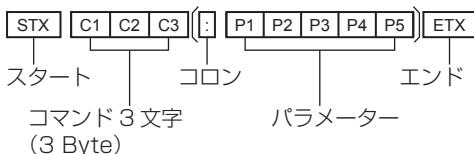
キャラクター長：8 ビット

ストップビット：1 ビット

フロー制御：なし

基本フォーマット

パソコンからの伝送は STX で開始され、続いてコマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。



コマンド一覧

コマンド	パラメーター	制御内容
PON	なし	電源「入」
POF	なし	電源「切」
AVL	***	音量 000 ~ 100
AMT	0	消音 オフ
	1	消音 オン
IMS	HM1	HDMI IN 1 入力 (HDMI1)
	HM2	HDMI IN 2 入力 (HDMI2)
	HM3	HDMI IN 3 入力 (HDMI3)
	SL1	SLOT1 入力 (SLOT1)
	SL2	SLOT2 入力 (SLOT2)
	NW1	Screen Transfer 入力 (Screen Transfer)
	UD1	USB / Internal Memory 入力 (USB / 内蔵メモリー)
	MV1	メモリービューウー入力 (MEMORY VIEWER)
DAM	なし	画面モード切り換え (トグル)
	FULL	フル
	NORM	ノーマル
	HFIT	H フィット
	VFIT	V フィット
	ZOOM1	ズーム 1
	ZOM2	ズーム 2

お願い

- 複数のコマンドを送信する場合は、必ず本機からの応答を受け取ってから、次のコマンドを送信してください。

お知らせ

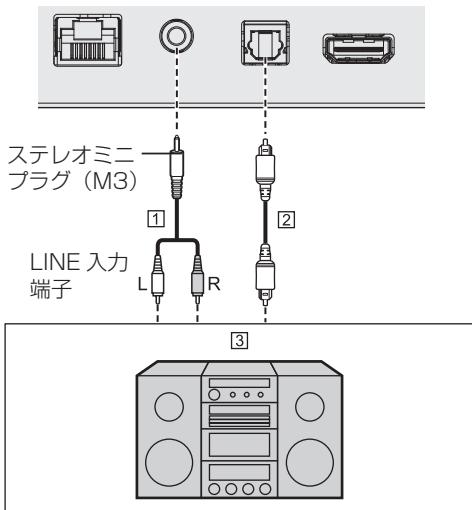
- 間違ったコマンドを送信すると、本機から“ER401”というコマンドがパソコン側に送信されます。
- パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合はコロン（：）は必要ありません。
- コマンドの詳細については販売店にご相談ください。または、以下のサポートサイトをご参照ください。

パナソニック業務用ディスプレイホームページ
(<https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays>)

AUDIO OUT・ DIGITAL AUDIO OUT 端子の接続例

お知らせ

- オーディオ機器や接続ケーブルは本機に付属していません。



- ① ステレオ音声ケーブル（市販品）
- ② 光デジタル音声ケーブル（市販品）
- ③ オーディオ機器

お願い

- 本機のAUDIO OUT端子またはDIGITAL AUDIO OUT端子から音声を出力する場合は「音声の調整」メニューの「出力切換」を必ず「AUDIO OUT」または「DIGITAL AUDIO OUT」に設定してください。（☞40ページ）

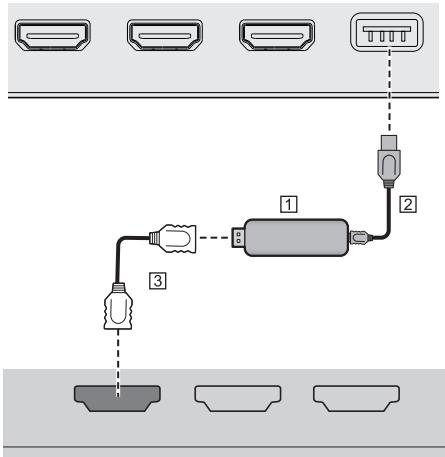
USB 端子の接続例

市販のUSBメモリーを接続してUSBメディアプレーヤー機能やメモリービューア機能を使用します。（☞112・124ページ）

また、別売のスティックPCなどを接続した場合に、電源を供給します。

お知らせ

- USB端子にUSB機器やメモリーを接続することができます。
- スティックPCや接続ケーブルは本機に付属していません。
- USBメモリー内のデータにアクセスしているときに、電源を切ったり、USBメモリーを取り出したりすると、保存されているデータが壊れことがあります。データにアクセスしている間は、USBメモリーのアクセスランプが点滅します。
- USBメモリーは、コントロールボックスの電源が入っているときでも切れているときでも、接続したり、取り出したりできます。



- ① スティックPC（市販品）
- ② USBケーブル（市販品）
- ③ HDMI延長ケーブル（市販品）

受像時、USB 端子により、5 V/2 A (USB)まで外部機器に電源を供給する事ができます。

- 供給能力以上に電流を流すと、出力が遮断され画面に次のメッセージが表示されます。

「USB の過電流を検出しました。」

ケーブルや接続機器を取り外して本機の電源をオフ / オンしてください。」

またスタンバイ時、供給能力以上に電流を流すと、出力が遮断され電源ランプが橙色点滅します。

この場合は接続機器を取り外し、リモコン等で電源を切 / 入してください。

「起動設定」 - 「クイック起動」が「オン」でスタンバイ状態の時は、電源プラグをコンセントから抜き差しするか、または本機の電源スイッチを切 / 入してください。

お願い

● スティック PC などのサイズにより、本機に直接接続できない場合は市販の延長ケーブルをご使用ください。

● USB メモリーのタイプによっては周辺部に接触して取り付けられない場合があります。本機に接続可能な USB メモリーをご使用ください。

● USB メモリーを接続する際は、プラグの方向を確認して、端子を傷めないように注意してください。

● USB メモリーを取り出すときは以下の点に注意してください。

- ・ 接続した USB メモリーのアクセスランプが点滅しているときは、コントロールボックスがデータを読み込んでいることを示します。点滅中は USB メモリーを取り出さないでください。

- ・ USB メモリーによっては、アクセスしていない状態でもアクセスランプが点滅したままになる場合、または、アクセスランプなどの機能がない場合があります。その場合は、次の①または②の操作を確認後に USB メモリーを取り出してください。

① 入力を USB および MEMORY VIEWER 以外に切り替え、ユーザーイメージ読み込み機能 (☞ 61 ページ)、プレイリスト編集機能 (☞ 119 ページ)、データクローニング機能 (☞ 132 ページ) など、USB メモリーにアクセスする機能が終了している

② 本機の電源を切る

- ・ USB メモリーの接続と取り出しを頻繁に繰り返すことはお止めください。接続してから少なくとも 5 秒待ってから、USB メモリーを取り出し、再び接続する場合は、少なくとも 5 秒待ってから、接続してください。コントロールボックスが、USB メモリーの接続と取り出しの切り換わりを認識できるように、ある程度の時間を置く必要があります。

- ・ データにアクセスしている途中に誤って本機の電源を切ったり、USB メモリーを取り出したりすると、次回 USB メモリーを使用時にデータにアクセスできないことがあります。

その場合は、本機の電源を切 / 入してください。

- USB (5V / 最大 2A) からの電源供給を使用する場合は、2A 以上の電流に対応しているケーブルを使用してください。

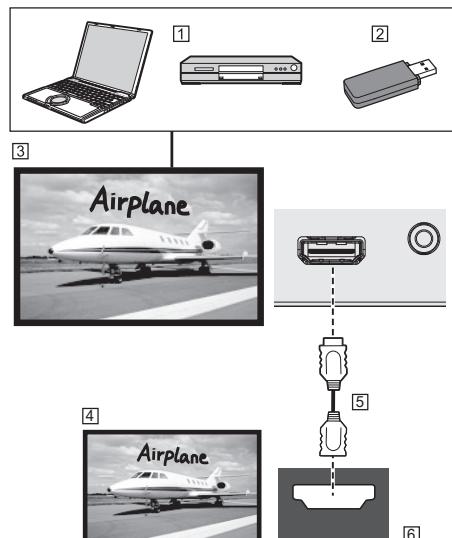
HDMI OUT 端子の接続例

HDMI IN 3 に接続している映像機器からの入力信号など、本機に表示している映像を他のサブモニターに表示できます。

お願い

● HDMI ケーブルは、HDMI 規格に適合している HDMI High Speed ケーブルをご使用ください。ただし、HDMI High Speed ケーブルの対応伝送速度を超える 4K 映像信号を出力する場合は、Premium HDMI ケーブルの認証を取得したものなど、18 Gbps の高速伝送に対応した HDMI ケーブルをご使用ください。

使用している HDMI ケーブルの対応伝送速度を超える映像信号を出力した場合、映像が途切れる、映らないなど正常に動作しないことがあります。



① パソコン、ブルーレイディスクプレイヤーなどの映像機器

② USB メモリー (メモリービューアーの映像)

③ 本機

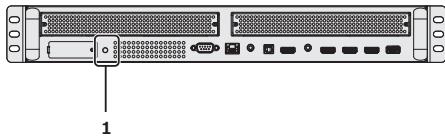
④ サブモニター

⑤ HDMI ケーブル (市販品)

⑥ HDMI 入力端子

各部の基本説明

本機



1 電源ランプ

本機の主電源スイッチ「入」のとき

- 映像表示状態：緑色点灯
- 以下のスタンバイ状態になったとき：橙色点灯
 - ・「起動設定」メニューの「クイック起動」が「オン」でスタンバイ状態
「起動設定」について（☞ 50 ページ）
 - ・「パワーマネージメント」機能によるスタンバイ状態
「パワーマネージメント」機能について
(☞ 57 ページ)
 - ・「HDMI-CEC 制御」が「有効」で「連動機能」の1つ以上が「無効」以外でスタンバイ状態
「HDMI-CEC 制御」設定および「連動機能」について（☞ 59 ページ）
 - ・「ネットワークコントロール」が「オン」でスタンバイ状態
「ネットワークコントロール」設定について
(☞ 68 ページ)
 - ・「SLOT1 スタンバイ」または「SLOT2 スタンバイ」機能によるスタンバイ状態
「SLOT1 スタンバイ」または「SLOT2 スタンバイ」機能について（☞ 84 ページ）
 - ・スケジュール再生モード中にスタンバイ状態
「スケジュール再生モード」について
(☞ 121 ページ)

- 上記以外のスタンバイ状態：赤色点灯

本機の主電源スイッチ「切」のとき：消灯

〔お知らせ〕

- 本機の電源「切」で電源ランプが消灯の場合でも一部の回路は通電状態にあります。
- 電源ランプが橙色の場合は赤色の場合に比べて、スタンバイ状態の電力が一般に増加します。

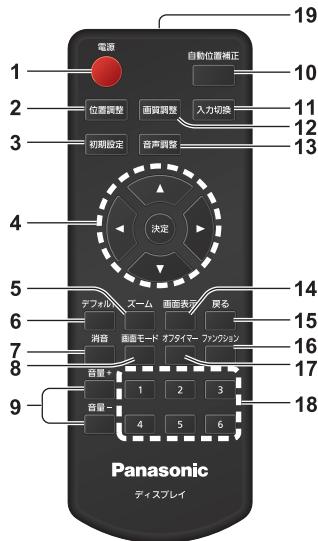


2 主電源スイッチ (O/I)

主電源を「切 (O)」「入 (I)」します。

主電源スイッチの「切」「入」は電源プラグのコンセントからの抜き差しと同様です。主電源を「入 (I)」にしてから、リモコンで電源を「切」「入」してください。

リモコン



1 電源ボタン

- 本機の主電源スイッチが「入」状態で電源を切り直します。
(☞ 29 ページ)

2 位置調整ボタン

- (☞ 39 ページ)

3 初期設定ボタン

- (☞ 48 ページ)

4 決定ボタン / カーソルボタン (▼▲◀▶)

- メニュー画面の操作に使用します。
(☞ 37 ページ)

5 ズームボタン

- デジタルズームモードにします。
(☞ 36 ページ)

6 デフォルトボタン

- 映像の調整状態を標準値に戻します。(☞ 39 · 41 ページ)

7 消音ボタン

- 音声を一時的に消します。(☞ 34 ページ)

8 画面モードボタン

- 画面モード（アスペクト）を選択します。
(☞ 35 ページ)

9 音量 - ボタン / 音量 + ボタン

- 音量を調節します。(☞ 34 ページ)

10 自動位置補正ボタン

- 本機の基本的な操作では使用しません。

11 入力切換ボタン

- ディスプレイに表示する入力を切り替えます。
(☞ 32 ページ)

12 画質調整ボタン

- (☞ 41 ページ)

13 音声調整ボタン

- (☞ 40 ページ)

14 画面表示ボタン

- 入力モード・画面モードなどの各種設定状態を確認します。(☞ 33 ページ)

15 戻るボタン

- 1つ前のメニュー画面に戻します。
(☞ 37 ページ)

16 ファンクションボタン

- ファンクションガイドを表示します。
(☞ 78 ページ)

17 オフタイマーボタン

- 自動的に電源を切れます。(☞ 34 ページ)

18 数字（1～6）ボタン

- よく使う操作をボタンに割り当て、ショートカットボタンとして使用します。(☞ 78 ページ)

19 リモコン発信部

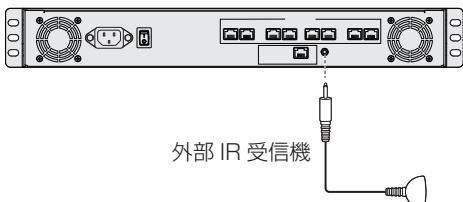
お知らせ

- 本書では＜入力切換＞のようにリモコンのボタンを＜＞で表しています。また、主にリモコンのボタンで操作説明をしています。

基本の操作



電源ランプ



リモコンは、
外部 IR 受信機の受信部へ向けて
操作してください



お願い

- 外部 IR 受信機の受信部とリモコン間に障害物を置かないでください。
- リモコンを直接外部 IR 受信機の受信部に向けて操作する場合は、リモコン受信正面より約 7m 以内で操作してください。角度によっては操作可能な距離が短くなる場合があります。
- 外部 IR 受信機の受信部に直射日光や蛍光灯の強い光を当てないでください。

1 電源コードをコントロールボックスに接続する

(☞ 19 ページ)

2 電源プラグをコンセントへ接続する (AC 100 V 50 Hz/60 Hz)

お願い

- 電源コードを外す場合は、必ずコンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
- オンスクリーンメニューで設定を変更した直後に電源プラグを抜くまたは本体の主電源スイッチを「切」にすると、設定内容が保存されない場合があります。十分に時間をおいていただくか、リモコンや RS-232C 制御または LAN 制御で電源「切」を実行後に電源プラグを抜くか、または本機の主電源スイッチを「切」にしてください。

3 本機背面の主電源スイッチ (O/I) を 「入 (I)」にする

4 リモコンで「切」「入」する

電源を入れる

- 本機の主電源スイッチ「入 (I)」(電源ランプ --- 赤色または橙色) でリモコンの電源ボタンを押すと受像します。

電源ランプ：緑色点灯（受像状態）

電源を切る

- 本機の主電源スイッチ「入 (I)」(電源ランプ --- 緑色) でリモコンの電源ボタンを押すと電源「切」になります。

電源ランプ：赤色または橙色点灯（スタンバイ）

お知らせ

- 電源プラグを抜いた後も、電源ランプがしばらく点灯し続けることがありますが故障ではありません。
- 本機の電源が「入」(受像状態) または「切」(スタンバイ状態) のときに本機の主電源スイッチを「切 (O)」にすると、本機とキャビネットモジュールの電源が切れます。
- 本機とキャビネットモジュールの電源が「入」(受像状態) のときに、本機と電源ボックスを接続する RJ-45 コードが抜けた場合にはキャビネットモジュールの電源が切れ、本機の電源ランプが点滅します。
- 本機と電源ボックスを接続する RJ-45 コードが抜けた状態では、本機の主電源スイッチを「入 (I)」にしたときに、本機の電源ランプが点滅します。

■初めて電源を「入」にしたとき
次の画面が表示されます。

1 ▲▼でご利用の言語を選択し、 <決定>を押す

バージョン 2.0000 未満(多言語対応前)



バージョン 2.0000 以降(多言語対応後)



2 日付と時刻の設定を行う

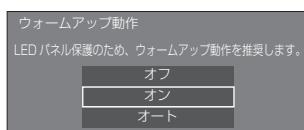


年 / 月 / 日 / 時 / 分

日付と時刻の各項目は、▲▼で移動し、◀▶で値を選択する

3 ウォームアップ動作の設定を行う

「ウォームアップ動作」を設定する場合は▲▼で「オン」または「オート」を選択し、<決定>を押す



4 「クイック起動」を設定する場合は▲▼で「オン」を選択し、<決定>を押す

クイック起動

電源「入」時、素早く電源オンさせる機能です。

オン
オフ

スタンバイ時の消費電力が高くなります。

お知らせ

- 「クイック起動」の設定画面で「オン」にカーソルを合わせると、以下のメッセージが表示されます。
「スタンバイ時の消費電力が高くなります。」
なお、この時の電力は、最大消費電力の3分の1程度となります。

- これらの画面は一度設定すると、次回電源を「入」にしたとき表示されません。再設定が必要な場合は、次のメニューで設定してください。

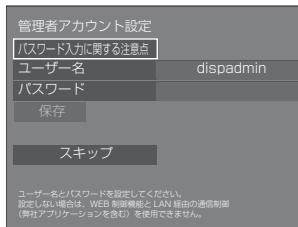
表示言語切換 [62 ページ](#)

日付と時刻設定 [66 ページ](#)

ウォームアップ動作設定 [51 ページ](#)

クイック起動 [51 ページ](#)

5 必要に応じてネットワークアカウントの設定を行う。



パスワード入力に関する注意点

本項目のパスワード設定に関する注意点が別ウィンドウで表示されます。

パスワード入力に関する注意点

- ・パスワードの使いまわしは推奨いたしません。
- ・パスワードをブランクに設定することはできません。
- ・パスワードには下記4つの文字種類から少なくとも3つを含めて半角8文字以上を推奨いたします。
 - ・アルファベット大文字
 - ・アルファベット小文字
 - ・数字
 - ・特殊記号 (~@#\$%^&`!@#\$%^&`!)

ユーザー名

ユーザー名設定のキーボードが表示されます。ユーザー名を入力してください。

パスワード

パスワード設定のキーボードが表示されます。パスワードを入力後に「確定」を選ぶと確認画面が表示されます。再度パスワードを入力して「確定」を選ぶとパスワードが決定されます。

保存

上記で設定したユーザー名およびパスワードをコントロールボックス本体に保存します。

スキップ

本設定を行わずにこの画面を終了します。

〔お知らせ〕

- この画面は一度設定またはスキップすると、次回電源を「入」にしたとき表示されません。再設定が必要な場合は、ネットワーク設定メニューで設定してください。

■電源「入」時のメッセージ

本機の電源を「入」にしたとき、次のメッセージが表示される場合があります。

無操作自動オフ警告メッセージ

無操作自動オフ機能が有効です。

「初期設定」メニューの「無操作自動オフ」を「有効」に設定した場合、電源を入れたときに警告メッセージが表示されます。(☞ 62 ページ)

パワーマネージメントお知らせメッセージ

パワーマネージメントが働きました。

「パワーマネージメント」が働いた場合、電源を入れたときにお知らせメッセージが表示されます。(☞ 57 ページ)

これらのメッセージは、次のメニューで設定できます。

- ・「起動設定」メニュー

お知らせ(無操作自動オフ) (☞ 51 ページ)

お知らせ(パワーマネージメント)

(☞ 51 ページ)

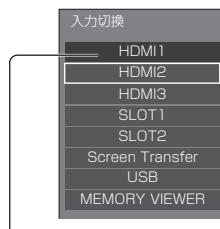
入力信号を切り換える

本機に入力された信号を選択します。

リモコンの「**入力切換**」を押す



押すごとに入力が切り換わります。



HDMI1 → HDMI2 → HDMI3 →
SLOT1 → SLOT2 → Screen Transfer →
USB または Internal Memory → MEMORY
VIEWER

HDMI1 : HDMI IN 1 端子の HDMI 入力

HDMI2 : HDMI IN 2 端子の HDMI 入力

HDMI3 : HDMI IN 3 端子の HDMI 入力

SLOT1 : ファンクションボード 1 の入力

SLOT2 : ファンクションボード 2 の入力

Screen Transfer :

当社の専用アプリケーション「Screen Transfer」を用いてネットワーク経由で伝送されてくる映像を表示する入力

USB^{*1} : USB 端子の USB 入力

Internal Memory^{*1} :

内蔵メモリーからの映像入力

MEMORY VIEWER :

USB 端子のメモリービューアー入力

お知らせ

- 「**入力切換スキップ設定**」で設定した入力、または、各機能無効時は選択できません。(☞ 56 ページ)
- 「**入力表示書換設定**」で設定した信号名を表示します。(☞ 56 ページ)
- 「**入力切換固定**」が「オフ」以外の設定のときは入力は切り換わりません。(☞ 62 ページ)
- 静止画を長時間映すと、LED パネルに映像の残像が発生する場合があります。このような現象を軽減するため、スクリーンセーバー機能と画面位置移動のご利用をおすすめします。(☞ 54・55 ページ)
- Screen Transfer 入力で Screen Transfer に接続している時に、他の入力に切り換えると接続が切れます。入力切り換え後、再度接続を確認してください。

入力信号・画面モードなどを知りたいとき

入力信号・画面モードなどの各種設定状態の確認ができます。

<画面表示>を押す



- 「無信号イメージ設定」(☞ 61 ページ) の「表示設定」が「オン」の場合、「無信号」や「外部メディア無し」「再生ファイル無し」は表示されずに無信号イメージが表示されます。

- 時計表示をするには、「日付と時刻」を設定し、「時計表示設定」を「オン」に設定してください。
(☞ 66 ページ)

現在の設定内容が表示されます。



1 入力信号

2 画面モード (☞ 35 ページ)

3 バックアップ入力ステータス
(☞ 53 ページ)

4 音声入力 (☞ 59 ページ)

5 メモリーネーム (☞ 47 ページ)

6 スケジュール再生モード (☞ 121 ページ)

7 ウォームアップ動作残り時間 (☞ 51 ページ)

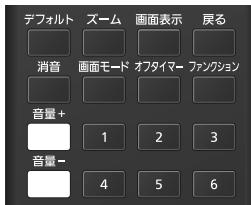
8 オフタイマー残り時間 (☞ 34 ページ)

9 時計／消音 (☞ 34, 66 ページ)

- 選択している入力に映像信号がない場合は、最後に「無信号」が、約 30 秒間表示されます。
- ウォームアップ動作実行中、入力が「HDMI1」、「HDMI2」、「HDMI3」の時に映像信号がない状態になった場合、「無信号」が約 30 秒間表示されて、その後ウォームアップイメージ(全白)が表示されます。
- USB 入力に切り換え時、USB 端子に USB メモリーが接続されていない場合は「外部メディア無し」が約 30 秒間表示されます。また、USB メモリーが接続されているが再生可能ファイルがない場合、「再生ファイル無し」が約 30 秒間表示されます。

音量を調整する

リモコンの <音量+> <音量-> を押して
音量を調節する



音量 (AUDIO OUT) 20 [音量バー]

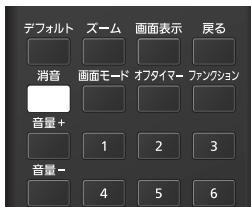
- 電源を「切」にしても現在の音量を記憶しています。
- 最大音量設定機能が「オン」のときは、設定した音量まで上げると表示（数値）は赤色になり、設定した音量以上にはなりません。（☞ 83 ページ）
- スタート音量設定機能が「オン」のときは、電源「入」時は設定した音量になります。（☞ 51 ページ）

消音を使う

一時的に音声を消したいとき、来客や電話などの応対のとき便利です。

<消音>を押す

画面に「消音」の表示が出て音が消えます。再度押すと解除されます。



- 電源の「切」、「入」または音量を変えても解除されます。
- 消音設定中は、操作後に「消音」の表示が出てお知らせします。
- 無信号イメージ（☞ 61 ページ）が表示される場合は、操作後に「消音」は表示されません。

オフタイマーを使う

オフタイマー設定（30分、60分、90分）で自動的に電源を切ることができます。

<オフタイマー>を押すごとに、タイマー設定時間が選択できます。

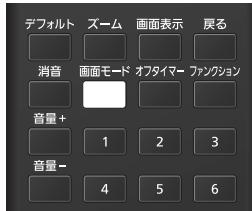
0分 → 30分 → 60分 → 90分 → 0分（解除）



- タイマーが切れる3分前になると残り時間を点滅（赤色）表示した後、電源が切れます。
- オフタイマー残り時間を知りたいときは<画面表示>を押します。
- オフタイマーワーク中に停電などで電源が切れると、オフタイマーは解除されます。その後、電源が入るとスタンバイ状態になります。
- 無信号イメージ（☞ 61 ページ）が表示される場合は、タイマーが切れる3分前になんでも残り時間の表示は行わず、電源が切れるまで無信号イメージを表示します。
残り時間を確認するには<画面表示>を押してください。

映像に合わせた拡大画面にする（画面モード）

<画面モード>を押すごとに切り換わります。

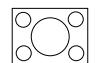
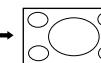
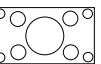
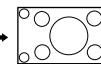


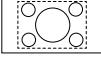
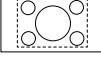
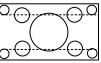
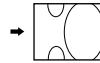
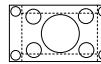
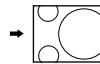
フル → ノーマル → H フィット → V フィット → ズーム 1 → ズーム 2

お知らせ

- 映像遅延軽減設定が「オン」の時、画面モードの変更はできません。画面モードを使用したい時は、「初期設定」 - 「映像遅延軽減設定」機能を「オフ」にしてください。(☞ 64 ページ)
- Screen Transfer 入力時、画面モードの変更はできません。
- 画面モードは入力端子ごとに記憶します。
- 画面モード「H フィット」「V フィット」について下記の場合、拡大方向は変わりません。
 - 「USB メディアプレーヤー設定」 - 「静止画回転」を「縦」にしたとき。(☞ 75 ページ)

■画面モード一覧

画面モード	説明
フル	 →  映像を画面いっぱいに表示します。
ノーマル	 →  入力信号のアスペクト比のままの映像を表示します。

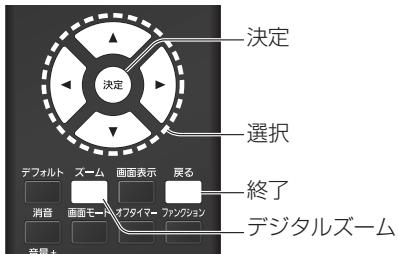
画面モード	説明
H フィット	 →   →  映像の水平方向を画面最大に拡大して表示します。 画面のアスペクトよりも縦長のアスペクト比を持つ信号は、画像の上下が切れて表示されます。
V フィット	 →   →  映像の垂直方向を画面最大に拡大して表示します。 画面のアスペクトよりも横長のアスペクト比を持つ信号は、画像の左右が切れて表示されます。
ズーム 1	 →  16:9 のレターボックス映像を縦方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。 映像の上下端はカットされます。
ズーム 2	 →  16:9 のレターボックス映像を縦および横方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。 映像の上下端および左右端はカットされます。

お知らせ

- テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択すると、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意のうえ、画面モードをお選びください。
- ディスプレイを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、画面モード切り換え機能を利用して画面の縮小や拡大等を行いますと、著作権法上の権利を侵害するおそれがあります。他人の著作物は、許諾なく営利目的で視聴せたり、改変したりすることができますのでご注意願います。
- ワイド映像でない 4 : 3 の映像をズーム・フルモードを利用して、ディスプレイの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルの映像は、ノーマルモードでご覧になります。

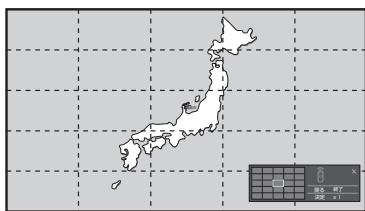
画面領域を拡大表示する (デジタルズーム)

拡大したい画面領域（25 領域）を選び、選んだ画像領域を 2 倍、3 倍、4 倍に拡大します。



1 デジタルズームモードにする

<ズーム> を押します。



画面のアスペクトは「フル」になり、デジタルズーム操作ガイドが表示されます。

2 拡大したい画像領域を選ぶ

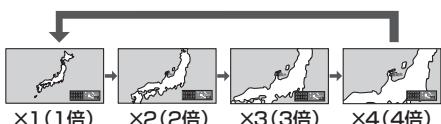
▼▲◀▶ を押して選びます。



デジタルズーム操作ガイド

3 画面領域の拡大率を切り換える

<決定> を押すごとに、切り換わります。



● 画面の拡大率が「× 1 (1倍)」の場合に、「メニュー表示時間」(☞ 79 ページ)で設定した時間(5 ~ 180 秒)操作をしないと、終了します。

● 画面の拡大率が「× 2 (2倍)」、「× 3 (3倍)」、「× 4 (4倍)」の場合に、約 3 秒間操作をしないとデジタルズーム操作ガイドの表示が消えます。

▼▲◀▶ のいずれかを押すと、再度表示します。

4 デジタルズームモードを終了する

<戻る> を押すと、終了します。

画面はデジタルズームモードに入る前の状態になります。デジタルズーム操作ガイドの表示が消えます。

- 以下のボタンを押すと、終了します。
その後、押されたボタンの動作を行います。

<位置調整> <画質調整>
<入力切換> <初期設定>
<音声調整> <デフォルト>
<画面表示> <消音>
<画面モード>
<オフタイマー>
<ファンクション> <音量 +> <音量 ->
<1> ~ <6>

- スクリーンセーバーのタイマー起動でデジタルズームモードが終了します。

- 電源を「切」にした場合には、強制終了します。

- リモコンの電源ボタンを押して電源を「切」にしたとき
- 本機の電源ボタンを「切」にしたとき
- オフタイマーで電源が「切」になったとき
- 無信号自動オフやパワーマネージメントなどで電源が「切」になったときなど

お知らせ

- 映像遅延軽減設定が「オン」の時、デジタルズームを使用することができません。デジタルズームを使用したい時は、「初期設定」 - 「映像遅延軽減設定」機能を「オフ」にしてください。(☞ 64 ページ)

- 下記の場合は、デジタルズームモードにはなりません。

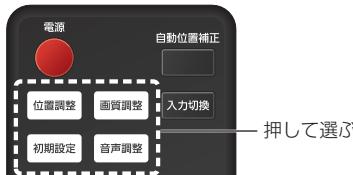
- 「マルチ画面設定」 - 「マルチスクリーン表示」を「オン」に設定しているとき
- スクリーンセーバー起動中のとき
- Screen Transfer / USB / MEMORY VIEWER 入力を選択しているとき

- 拡大した映像は元の映像より粗い表示になります。

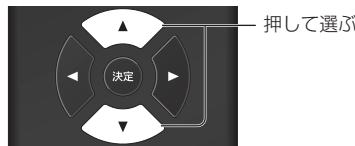
- マルチ画面の用途には「マルチ画面設定」の機能をご利用ください。(☞ 63 ページ)

オンスクリーンメニューについて

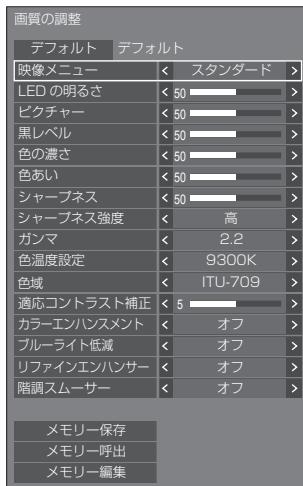
1 メニュー画面を表示する



2 設定項目を選択する

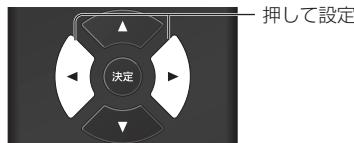


(例：画質の調整メニュー)



サブメニューを表示する場合、<決定>を押してください。

3 設定する



4 設定を終了する



<戻る>を押すと1つ前の画面に戻ります。

または、手順1で選んだボタンを押して設定を終了することができます。

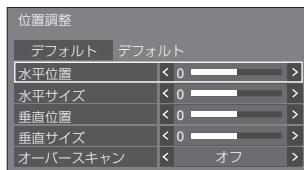
お知らせ

- 本機の設定変更時、一時的に映像、音声に乱れが発生することがあります。故障ではありません。

メニュー画面一覧

- 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力、メニューの設定により調整できる項目は変わります。

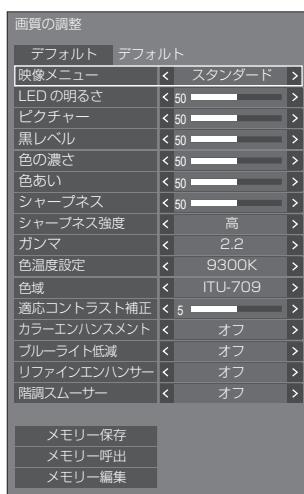
位置調整 (☞ 39 ページ)



音声の調整 (☞ 40 ページ)



画質の調整 (☞ 41 ~ 47 ページ)



初期設定 (☞ 48 ~ 84 ページ)

初期設定

信号モード	オフ	有効
起動設定	オフ	有効
入力信号サーチ	オフ	有効
ファイルオーバー / ファイルバック	オフ	有効
スクリーンセーバー	オフ	有効
入力表示書換設定	オフ	有効
入力切換スキップ設定	オフ	有効
パワーマネージメント設定	オフ	有効
音声入力切換	オフ	有効
外部機器連携設定	オフ	有効
HDMI-CEC 設定	オフ	有効
イメージ設定	オフ	有効
入力切換固定	オフ	有効
オプティマー機能	無効	有効
無操作自動オフ	無効	有効
表示言語切換	日本語	英語

1/3

初期設定

マルチ画面設定	オフ	有効
映像遅延軽減設定	オフ	有効
タイマー設定	オフ	有効
日付と時刻	オフ	有効
ネットワーク設定	オフ	有効
USB メディアプレーヤー設定	オフ	有効
メモリービューアー設定	オフ	有効
Screen Transfer 設定	オフ	有効
ワイヤレスプレゼンテーション設定	オフ	有効
ファンクション設定	オフ	有効
OSD 設定	オフ	有効

2/3

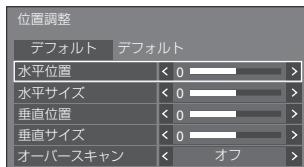
初期設定

オプション設定	オフ	有効
コントロール設定	オフ	有効
センサー設定	オフ	有効
パネル設定	オフ	有効
情報通知タイミング	オフ	有効
動作設定	オフ	有効
制限設定	オフ	有効
SLOT 設定	オフ	有効

3/3

位置調整

- 1 <位置調整>を押して「位置調整」メニュー画面を表示する



- 2 ▲▼で設定項目を選択する

- ・調整できない項目は、グレー表示になります。
信号、入力や、画面設定状態によって調整できる
項目は変わります。

- 3 ◀▶で設定をする

- 4 <位置調整>を押して
設定を終了する

■ 1つ前の画面に戻るには

<戻る>を押す。

■ デフォルトの設定値に戻すには

「デフォルト」を選んでいるときに<決定>を押すと表示されているメニューの調整値がすべて標準値に戻ります。

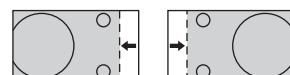
各項目を調整中に<デフォルト>を押すと、その項目のみ標準値に戻ります。

お知らせ

- ・映像遅延減設定が「オン」の時、「位置調整」はできません。「位置調整」を使用したい時は、「初期設定」-「映像遅延減設定」機能を「オフ」にしてください。(☞ 64 ページ)
- ・Screen Transfer 入力時、「位置調整」はできません。
- ・「位置調整」の各調整は入力信号ごとに記憶します。

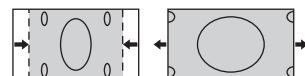
水平位置

- ◀▶で画面を左右に移動します。



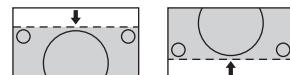
水平サイズ

- ◀▶で画面を左右に拡大／縮小します。



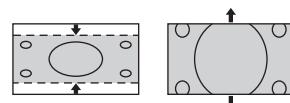
垂直位置

- ◀▶で画面を上下に移動します。



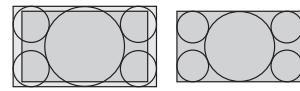
垂直サイズ

- ◀▶で画面を上下に拡大／縮小します。



オーバースキャン

- 画像のオーバースキャンをオフ／オンします。



お知らせ

- ・画面モードが「フル」、「ズーム 1」、「ズーム 2」の場合に有効となります。
ただし、USB / MEMORY VIEWER 入力時、マルチ画面の
マルチスクリーン表示、デジタル
ズームの場合は無効となります。

お知らせ

- ・調整のときに画像表示エリア外にノイズが出る場合
がありますが、異常ではありません。

音声の調整

- 1 <音声調整> を押して
「音声の調整」メニュー画面を表示する



- 2 ◀▶ で設定をする

- 3 <音声調整> を押して
設定を終了する

■ 1つ前の画面に戻るには

<戻る> を押す。

出力切換 音声出力を選びます。

AUDIO AUDIO OUT 端子出力
OUT :

DIGITAL DIGITAL AUDIO OUT
AUDIO 端子出力
OUT :

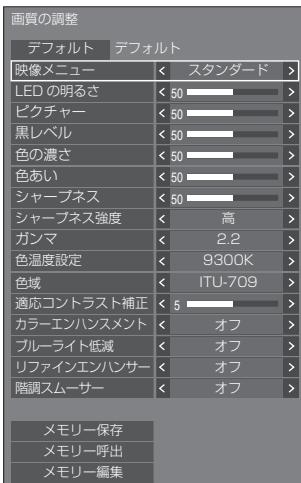
● 音量は、出力選択ごとに記憶します。

お知らせ

- ARC 対応機器に音声を出力する場合、「ARC 機能を使う」(☞ 131 ページ) をご覧ください。

画質の調整

1 <画質調整> を押して 「画質の調整」メニュー画面を表示する



2 ▲▼で設定項目を選択する

- ・調整できない項目は、グレー表示になります。

3 ◀▶で設定をする

4 <画質調整> を押して 設定を終了する

■ 1つ前の画面に戻るには

<戻る>を押す。

■ デフォルトの設定値に戻すには

「デフォルト」を選んでいるときに<決定>を押すと表示されているメニューの調整値がすべて標準値に戻ります。

各項目を調整中に<デフォルト>を押すと、その項目のみ標準値に戻ります。

お知らせ

- USB/Internal Memory 入力 (USB メディアプレーヤー) で静止画を表示する場合、または MEMORY VIEWER 入力 (メモリービューアー) のサムネイル画面やファイルリスト画面を表示する場合、次の設定項目のみ映像効果があります。

LED の明るさ、Gamma、色温度設定、ブルーライト低減

映像メニュー 映像ソースや本機を使用する場所の環境に適した見やすい映像に切り替えます。

ビビッド より鮮明でくっきりとした映像になり、店舗などの明るい環境下でのサイネージ用途に適しています。

ナチュラル 照明下でも色の再現性を重視した自然な色合いの映像になり、商品展示などのサイネージ用途に適しています。

スタンダード 原画を忠実に再現した画像になります。

監視 明るさを抑え階調性を重視、監視カメラからの入力に適した画像になります。

グラフィック パソコン入力に適した画像になります。

DICOM DICOM Part14 グレースケール規格に近い画像になります。

・設定は入力端子ごとに記憶します。

お知らせ

- DICOM とは「Digital Imaging and Communication in Medicine」の略称で医療用画像機器のための規格です。DICOM の名称を用いていますが、本機は医療機器ではありませんので表示画像を診断などの用途に使用しないでください。

LED の明るさ LED の明るさを調整します。
暗く ↔ 明るく

お知らせ

- ウォームアップ動作実行中は「LED の明るさ」はグレー表示になり設定できません。

ピクチャー 映像の明暗度を調整します。
暗く ↔ 明るく

黒レベル 画面の暗い部分(黒色)を調整します。
暗く ↔ 明るく

色の濃さ 淡く ↔ 濃く

色あい 肌色部分の色あいを調整します。
赤紫色がかった色に ↔ 緑色がかった色に

シャープネス 映像輪郭の鮮明度を調整します。
ソフト ↔ シャープ

シャープネス強度 シャープネスの効果のレンジを切り替えます。

高 : 効果大

低 : 効果小

ガンマ

明るさ感を調整します。

2.0、2.2、2.4、2.6 :

傾き小～傾き大

HDR(PQ) :

HDR (PQ (Perceptual Quantization)) に近い明るさ感に設定をします。

HDR(HLG) :

HDR (HLG (Hybrid Log Gamma)) に近い明るさ感に設定をします。

お知らせ

- 「映像メニュー」で「DICOM」を選択した場合、「ガンマ」は「DICOM」に固定されます。また、「映像メニュー」で「DICOM」以外を選択した場合、「ガンマ」に「DICOM」を設定できません。

色温度設定

画面の色調を調整します。

3200K、4000K、5000K、
6500K、7500K、9300K、
10700K、ネイティブ、ユーザー 1、
ユーザー 2

お知らせ

- 色温度の数値が小さいと赤色が強調され、大きいと青色が強調されます。
- 「ネイティブ」は、LED パネルの素の色調となります。その際、「ガンマ」は 2.2 相当に固定となり、調整できなくなります。

色温度のユーザー設定

「ユーザー 1」と「ユーザー 2」の 2 種類の色温度詳細設定を保存できます。

- 「色温度設定」を設定中に
<決定>を押す。

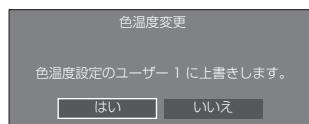
ガンマ	<	2.2	>
色温度設定	<	6500K	>

例：色温度設定が 6500K のとき、
6500K の設定値を、「ユーザー 1」および「ユーザー 2」のユーザー設定に反映させる
事ができます。

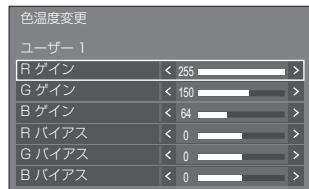
- ▲▼で設定を保存するユーザーを
選び<決定>を押す。

色温度変更
6500K への変換
ユーザー 1
ユーザー 2

- ◀▶で「はい」を選び<決定>を押す。



- 詳細設定画面で各種設定をする。



R ゲイン	赤色の明るい部分の強弱を微調整します。 0 ~ 255
G ゲイン	緑色の明るい部分の強弱を微調整します。 0 ~ 255
B ゲイン	青色の明るい部分の強弱を微調整します。 0 ~ 255
R バイアス	赤色の暗い部分の強弱を微調整します。 - 127 ~ 128
G バイアス	緑色の暗い部分の強弱を微調整します。 - 127 ~ 128
B バイアス	青色の暗い部分の強弱を微調整します。 - 127 ~ 128

設定した内容がユーザーに保存されます。

「画質の調整」メニューに戻ると、
「色温度設定」には設定したユーザーが選ばれています。

ガンマ	<	2.2	>
色温度設定	<	ユーザー 1	>

■バージョン 2.5000 未満(色域メニュー変更前)

色域

映像の色調に使用する色空間を設定します。画面上の色調を、R(赤色)・G(緑色)・B(青色)・補色(シアン、マゼンタ、黄色)ごとに調整ができます。「カスタム(12軸)」を選択した場合は、「カスタム(6軸)」の項目に加えて、その中間色についても調整ができます。

ネイティブ:

本機独自の色空間で表示します。

ITU-2020 emu.:

ITU-R BT.2020 規格に近い色空間で表示します。

ITU-709:

ITU-R BT.709 規格に準拠した色空間で表示します。

DCI-P3 emu.:

DCI-P3 に近い色空間で表示します。

Adobe RGB:

Adobe RGB 規格に近い色空間で表示します。

カスタム(6軸):

6 軸カラーマネージメント機能が有効になります。

カスタム(12軸):

12 軸カラーマネージメント機能が有効になります。

- 「色域」を「カスタム(6軸)」または「カスタム(12軸)」に切り換えた後、<決定>を押す。



- 詳細設定画面で各種設定をする。



色選択	<▶▷で調整する色を選択します。
色あい	色のバランスを調整します。 - 127 ~ + 127
色の濃さ	色の濃淡を調整します。 - 127 ~ + 127
明るさ	色の明るさを調整します。 - 127 ~ + 127
リセット	設定を初期状態に戻します。<▶▷で「はい」を選び、<決定>を押します。

お知らせ

- 「カスタム(6軸)」を選択した場合は、R(赤色)・G(緑色)・B(青色)および補色(シアン、マゼンタ、黄色)ごとに調整ができます。「カスタム(12軸)」を選択した場合は、「カスタム(6軸)」の項目に加えて、その中間色についても調整ができます。

■バージョン 2.5000 以降(色域メニュー変更後)

色域

映像の色調に使用する色空間を設定します。

ネイティブ:

本機独自の色空間で表示します。

ITU-2020 emu.:

ITU-R BT.2020 規格に近い色空間で表示します。

ITU-709:

ITU-R BT.709 規格に準拠した色空間で表示します。

DCI-P3 emu.:

DCI-P3 に近い色空間で表示します。

Adobe RGB:

Adobe RGB 規格に近い色空間で表示します。

VW-LCD:

ビデオウォール VF2 シリーズに近い色空間で表示します。

ユーザー 1:

色調の詳細設定を保存できます。

ユーザー 2:

色調の詳細設定を保存できます。

色域のユーザー設定

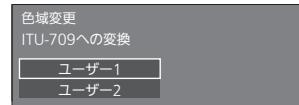
「ユーザー 1」と「ユーザー 2」の2種類の色域詳細設定を保存できます。

- 「色域」を設定中に<決定>を押す。

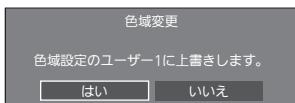


例：色域が ITU-709 のとき、ITU-709 の設定値を、「ユーザー 1」および「ユーザー 2」のユーザー設定に反映させる事ができます。

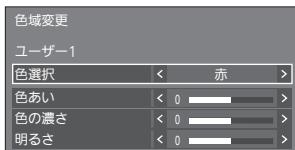
- ▲▼で設定を保存するユーザーを選び<決定>を押す。



- 3 ◀▶で「はい」を選び＜決定＞を押す。



- 4 詳細設定画面で各種設定をする。



色選択	◀▶で調整する色を選択します。
色あい	色のバランスを調整します。 - 127 ~ + 127
色の濃さ	色の濃淡を調整します。 - 127 ~ + 127
明るさ	色の明るさを調整します。 - 127 ~ + 127

設定した内容がユーザーに保存されます。
「画質の調整」メニューに戻ると、「色域」には設定したユーザーが選ばれています。



適応コントラスト補正 動画など変化していく映像に対して、色の使い方を判断してコントラストを自動的に調整します。

効果なし ↔ 効果大

カラーエンハンスマント 色を強調して表示します。
ブルーライト低減 映像のブルーライトを低減します。
オフ、低、中、高（効果小～効果大）

お知らせ

- 「オフ」以外に設定した場合、黄色味がかった映像になります。

リファインエンハンサー リサイズなどによって生じた不明瞭な映像の輪郭部を補正し、映像の解像感を高めます。

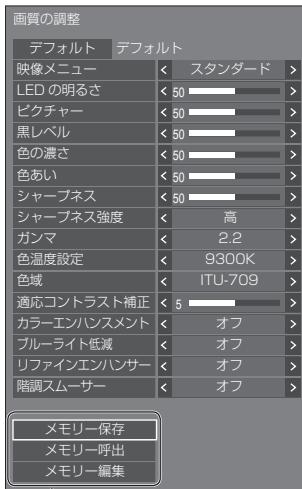
オフ、低、中、高（効果小～効果大）

階調スムーサー 入力された映像信号からノイズ成分だけを抽出・除去し、ノイズ感の少ない映像を表示します。

オフ、オン

メモリー機能を使う

6通りの映像調整値（「画質の調整」メニュー）をメモリーに保存し、必要なときに呼び出してお気に入りの映像をお楽しみいただけます。



- メモリー保存
(☞ 46 ページ)
- メモリー呼出
(☞ 46 ページ)
- メモリー編集
(☞ 47 ページ)

1. []	MEMORY1
2. [*]	MEMORY2
3. [*]	MEMORY3
4. []	MEMORY4
5. []	MEMORY5
6. []	MEMORY6

メモリー機能の概要

オリジナル映像



映像を調整する
(☞ 41 ~ 43
ページ)

カスタム映像



例)
映像調整値を
MEMORY1 に保存する
(メモリー保存)

オリジナル映像



例)
MEMORY1 を呼び出す
(メモリー呼出)

カスタム映像



メモリー編集画面

1. [*]	MEMORY1
2. [*]	MEMORY2
3. [*]	MEMORY3

例)
メモリーネームを「MY
PICTURE」に変更する
(メモリー編集)

1. [*]	MY PICTURE
2. [*]	MEMORY2
3. [*]	MEMORY3

メモリーに保存する

映像調整値をメモリーに保存します。

1 「画質の調整」メニューで、 画質を設定する

(☞ 41 ~ 43 ページ)

2 「画質の調整」メニューで ▲▼で「メモリー保存」を選んで <決定>を押す

メモリー保存
メモリー呼出
メモリー編集

3 ▲▼で映像調整値を保存するメモリーネ名 を選んで<決定>を押す

メモリー保存
1. [] MEMORY1
2. [*] MEMORY2
3. [*] MEMORY3
4. [] MEMORY4
5. [] MEMORY5
6. [] MEMORY6

すでに映像調整値が保存されているメモリーには
「*」が表示されます。

4 ◀▶で「はい」を選んで <決定>を押す

メモリー保存

'MEMORY1' に保存

[はい] [いいえ]

5 ▲▼◀▶でメモリーネ名を入力する

・文字の入力方法は「文字入力について」
(☞ 139 ページ) をご覧ください。

MEMORY1

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
A B C D E F G H I J
K L M N O P Q R S T
U V W X Y Z . - -
1 文字削除 全削除 a/A/@ キャンセル 確定

6 メモリーネ名の入力が終わったら

▲▼◀▶で「確定」を選び

<決定>を押す

MY MEMORY1

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	.	-	-	-

1 文字削除 全削除 a/A/@ キャンセル 確定

・「キャンセル」を選ぶとメモリーの保存をキャンセルします。

メモリーを呼び出す

メモリーを呼び出し、ディスプレイに映像調整値
適用します。

1 「画質の調整」メニューで ▲▼で「メモリー呼出」を選んで <決定>を押す

メモリー保存
メモリー呼出
メモリー編集

2 ▲▼で呼び出すメモリーを選んで <決定>を押す

メモリー呼出

1. [*] MEMORY1
2. [*] MEMORY2
3. [*] MEMORY3

リモコンの数字ボタンでメモリーを呼び出す

数字ボタン<1>～<6>にはそれぞれ
MEMORY1～MEMORY 6の呼び出し機能
が割り当てられています。

「ファンクション設定」(☞ 77 ページ)

1 <1>～<6>のいずれかを押す

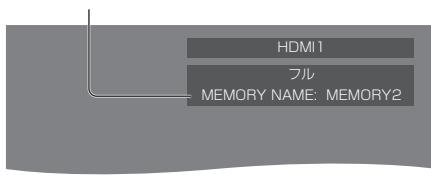
2 ◀▶で「はい」を選んで <決定>を押す

メモリー呼出

'MEMORY2' を呼出

[はい] [いいえ]

メモリーを呼び出しているときはメモリーナー
を表示します。



お知らせ

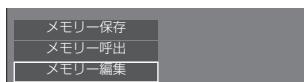
- 呼び出したメモリーは選択されている入力端子ごとに記憶されます。

メモリーを編集する

メモリーを削除またはメモリーナーを変更します。

■メモリーを削除する

- 1 「画質の調整」メニューで
▲▼で「メモリー編集」を選んで
<決定>を押す



- 2 ▲▼で「メモリー削除」を選んで
<決定>を押す



- 3 ▲▼で削除するメモリーを選んで
<決定>を押す



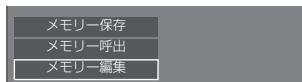
- すべてのメモリーを削除するには「メモリー全削除」を選びます。

- 4 ◀▶で「はい」を選んで
<決定>を押す



■メモリーナーを変更する

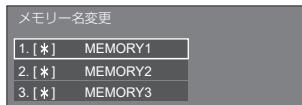
- 1 「画質の調整」メニューで
▲▼で「メモリー編集」を選んで
<決定>を押す



- 2 ▲▼で「メモリーナー変更」を選んで
<決定>を押す



- 3 ▲▼で名前を変更するメモリーを選んで
<決定>を押す



- 4 ▲▼◀▶でメモリーナーを入力する

- 文字の入力方法は「文字入力について」
(☞ 139 ページ) をご覧ください。



- 5 メモリーナーの入力が終わったら

- ▲▼◀▶で「確定」を選び
<決定>を押す

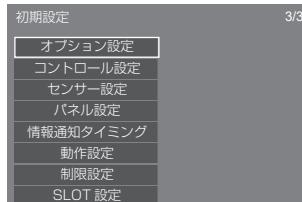
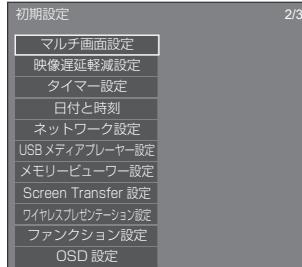
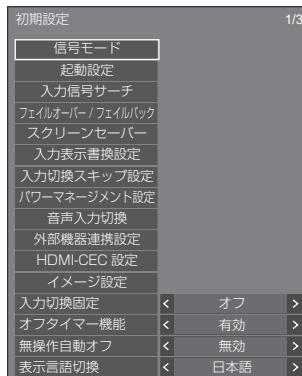


- 「キャンセル」を選ぶとメモリーナーの変更をキャンセルします。

初期設定

1 <初期設定> を押して

「初期設定」メニュー画面を表示する



信号モード

「信号モード」サブメニュー画面（例）

HDMI1 / HDMI2 / HDMI3 /
SLOT1 / SLOT2 選択時

信号モード		
入力	HDMI™ 1	
YUV/RGB 切換	<	YUV >
デジタルスマートリティ	<	オフ >
ノイズリダクション	<	オート >
MPEG ノイズリダクション	<	オフ >
信号レンジ	<	フル (0-255) >
EIDID 選択	<	4K/60p/HDR >
自動ダイナミックレンジ	<	オート >
自動色域	<	オート >
水平周波数	33.72	kHz
垂直周波数	60.00	Hz
ドットクロック周波数	74.18	MHz
信号フォーマット	1080/60i	
HDCP ステータス	無し	

Screen Transfer / USB/Internal Memory /
MEMORY VIEWER 選択時

信号モード		
入力	Screen Transfer	
ノイズリダクション	<	オート >
MPEG ノイズリダクション	<	オフ >

お知らせ

- 「信号モード」設定メニューは入力信号によって異なります。
- 「信号モード」の「入力」項目には選択した入力が表示されます。
- 調整できない項目はグレー表示になります。

2 ▲▼で設定項目を選択する

- ・調整できない項目は、グレー表示になります。
信号入力や、画面設定状態によって調整できる項目は変わります。

3 ◀▶で設定をする

4 <初期設定> を押して設定を終了する

■ 1つ前の画面に戻るには

<戻る> を押す。

■ YUV/RGB 切換

本メニューは HDMI IN 1、HDMI IN 2、HDMI IN 3、SLOT1 および SLOT2 入力時に表示されます。各端子の入力信号方式に合わせて設定します。

YUV : YUV 信号

RGB : RGB 信号

〔お知らせ〕

- 入力端子ごとに設定してください。

■ デジタルシネマリアリティー

映画フィルムで撮影された映像を忠実に再生します。通常は「オフ」に設定してください。

〔お知らせ〕

- 「デジタルシネマリアリティー」を「オン」にするごと、映画など、毎秒 24 コマで撮影された動きのある映像がより自然な再生映像でご覧になれます。
- 「オン」で不自然な映像になる場合は「オフ」でご覧ください。

■ ノイズリダクション

映像のノイズ（ざらつき感）を低減します。

オフ :

ノイズリダクションが無効になります。

弱、中、強 :

ノイズリダクションの強弱を設定します。

オート :

「ノイズリダクション」は「弱」、「中」、「強」から自動的に選択されます。

■ MPEG ノイズリダクション

MPEG 映像に特有なノイズを低減します。

オフ :

ノイズリダクションが無効になります。

弱、中、強 :

ノイズリダクションの強弱を設定します。

■ 信号レンジ

本メニューは HDMI IN 1、HDMI IN 2、HDMI IN 3、SLOT1 および SLOT2 入力時に表示されます。各端子の入力信号に応じてダイナミックレンジを切り替えます。

ビデオ (16-235) :

入力信号がビデオレンジの場合。

例：フルレイディスクプレイヤーの HDMI 端子
出力

フル (0-255) :

入力信号がフルレンジの場合。

例：パソコンの HDMI 端子出力

オート :

入力信号に応じて自動的にダイナミックレンジを「ビデオ (16-235)」または「フル (0-255)」に切り替えます。

■ EDID 選択

本メニューは HDMI IN 1、HDMI IN 2、HDMI IN 3、SLOT1 および SLOT2 入力時に表示されます。各端子の EDID のデータを切り替えます。

4K/60p/SDR :

4K 映像信号（最大 4 096 x 2 160 ドット、最大垂直走査周波数 60Hz）に対応した EDID にします。SDR (Standard Dynamic Range) に対応した EDID です。HDR (High Dynamic Range) には対応していません。

4K/60p/HDR :

4K 映像信号（最大 4 096 x 2 160 ドット、最大垂直走査周波数 60Hz）に対応した EDID に設定します。HDR (High Dynamic Range) に対応した EDID です。

4K/30p :

4K 映像信号（最大 4 096 x 2 160 ドット、最大垂直走査周波数 30Hz）に対応した EDID にします。

2K :

2K 映像信号（最大 1 920 x 1 200 ドット）に対応した EDID にします。

〔お知らせ〕

- HDMI IN 入力時の選択肢は、「4K/60p/SDR」、「4K/60p/HDR」、「4K/30p」、「2K」となります。
- 「4K/60p/SDR」または「4K/60p/HDR」に設定して 4K 映像信号を入力しているときに正常な映像が映らない場合は、設定を「4K/30p」に切り換えてください。
- 「4K/60p/SDR」、「4K/60p/HDR」または「4K/30p」に設定して 2K 映像以下の信号を入力しているときに正常な映像が映らない場合は、設定を「2K」に切り換えてください。
- 「4K/60p/SDR」、「4K/60p/HDR」、「4K/30p」、「2K」の EDID に記述している信号について、詳しくは「プリセット信号」（[P.140 ページ](#)）をご覧ください。

■自動ダイナミックレンジ

本メニューは HDMI IN 1、HDMI IN 2、HDMI IN 3、SLOT1 および SLOT2 入力時に表示されます。

AVInfoFrame の情報に従って、自動でダイナミックレンジを切り替えます。

無効：

自動ダイナミックレンジを無効にします。

有効：

自動ダイナミックレンジを有効にします。

■自動色域

本メニューは HDMI IN 1、HDMI IN 2、HDMI IN 3、SLOT1 および SLOT2 入力時に表示されます。

AVInfoFrame の BT2020 や AdobeRGB の情報に従って自動で色域を切り替えます。

無効：

自動色域を無効にします。

有効：

自動色域を有効にします。

■入力信号表示

現在入力している信号の周波数と信号の種類を表示します。

水平周波数	33.72	kHz
垂直周波数	60.00	Hz
ドットクロック周波数	74.18	MHz
信号フォーマット	1080/60i	
HDCP ステータス	無し	

表示範囲：

水平走査周波数（15 kHz ~ 135 kHz）

垂直走査周波数（24 Hz ~ 120 Hz）

デジタル信号入力時には、ドットクロック周波数、HDCP ステータス情報を表示します。

起動設定

電源「入」時の各種設定を行います。

「起動設定」サブメニュー画面

起動設定		
スタート入力設定	<	オフ >
電源復帰モード	<	ラストメモリー >
スタート音量設定機能	<	オフ >
スタート音量設定	< 0 >	
起動遅延制御	<	オフ >
お知らせ(無操作自動オフ)	<	オフ >
お知らせ(ワームメッセージ)	<	オフ >
クイック起動	<	オフ >
ウォームアップ動作	<	オン >
ウォームアップ確認メッセージ	<	オン >

■スタート入力設定

電源「入」時の入力を設定します。

オフ / HDMI1 / HDMI2 / HDMI3 /
SLOT1 / SLOT2 / Screen Transfer /
USB/Internal Memory /
MEMORY VIEWER

お知らせ

- 「入力切換固定」が「オフ」以外の場合は、グレー表示になり設定できません。（[62 ページ](#)）

■電源復帰モード

電源プラグの抜き差し時や、停電などで電源が瞬断した後、再度電源が復帰したときの本機の電源状態を設定します。

ラストメモリー：電源が切れる前の状態で復帰します。

オン：電源「入」の状態で復帰します
(電源ランプ：緑色点灯)。

スタンバイ：電源「スタンバイ」の状態で復帰します（電源ランプ：赤色 / 橙色点灯）。

お知らせ

- 本機を複数台設置されている場合は、電源が復帰したときの負担を軽減するために「スタンバイ」に設定されることをおすすめします。

■スタート音量設定機能

電源「入」時の音量設定機能の有効／無効を設定します。

オフ：電源「切」前の状態の音量になります。

オン：「スタート音量設定」で設定した音量になります。

■スタート音量設定

スタート音量設定機能有効時の音量を設定します。

お知らせ

●メニューの「スタート音量設定機能」が「オン」の状態のときは、設定されている音量で出力します。

●「最大音量設定機能」が「オン」のときは「最大音量設定」で設定した音量以上には設定できません。

■起動遅延制御

複数台のディスプレイを設置し、同時に電源「入」にしたとき、各ディスプレイの電源が入るタイミングを遅らせて電源負荷を分散します。ディスプレイごとに設定してください。

オフ： 電源「入」と同時に電源が入ります。

オート： ディスプレイ ID で設定された番号に合わせて、遅延時間を自動で設定します。

ディスプレイ ID に 0.3 秒を掛けることで遅延時間が決定します。

例：ディスプレイ ID が 3 の場合→ 0.9 秒

1～30：遅延時間（秒）を設定します。電源を「入」にしてから設定した時間だけ遅れてディスプレイの電源が入ります。

お知らせ

●遅延動作開始から終了までの間は、電源ランプが緑色点滅します。

●電源プラグの抜き差し時や、停電などで電源が瞬断した後、再度電源が復帰したときにもこの機能は働きます。

■お知らせ（無操作自動オフ）

電源「入」時の無操作自動オフ警告メッセージの表示／非表示を設定します。

オン：電源「入」時に警告メッセージを表示します。

オフ：電源「入」時に警告メッセージを表示しません。

お知らせ

●本設定は、「無操作自動オフ」が「有効」の場合に有効になります。（[\[参考\] 62 ページ](#)）

■お知らせ（パワーマネージメント）

電源「入」時、パワーマネージメントによって電源オフされた事をお知らせするメッセージの表示／非表示を設定します。

オン：電源「入」時にお知らせメッセージを表示します。

オフ：電源「入」時にお知らせメッセージを表示しません。

お知らせ

●本設定は、「パワーマネージメント」機能が「オン」の場合に有効になります。（[\[参考\] 57 ページ](#)）

■クリック起動

電源「入」時、素早く電源オンさせる機能です。

オン：電源「入」時に素早く電源オンします。

オフ：電源「入」時に通常通り電源オンします。

お知らせ

●本設定が「オン」の場合、スタンバイ時の消費電力が高くなります。

■ウォームアップ動作

スタンバイ経過時間と湿度センサーから読み取った値からバックライトの輝度を抑えて起動します。（ウォームアップ動作）。

なお、ウォームアップ動作時間は、湿度センサーから読み取った値と、スタンバイ経過時間から算出します。

オフ： ウォームアップ動作は行いません。

オン： 湿度センサーを使用せずにウォームアップ動作を行います。

オート： 湿度センサーを使用してウォームアップ動作を行います。

お知らせ

●LED ディスプレイは、湿度が高い環境で輝度 100% で起動すると空気中の水分により故障率が高くなる恐れがあります。そのため、故障率を下げるために起動時にウォームアップ動作を行うことをお勧めします。

●ウォームアップ動作実行中、入力が「HDMI 1」、「HDMI 2」、「HDMI 3」の時に映像信号がない状態になった場合、「無信号」が約 30 秒間表示されて、その後ウォームアップイメージ（全白）が表示されます。

●「スクリーンセーバー」を表示する、「ディスプレイ ID / ディスプレイ名」を表示する、「マルチ画面設定」で「オフ」に設定する、または「テロップ」を表示すると、表示中のウォームアップイメージ（全白）が消去されます。

■ウォームアップ確認メッセージ

「ウォームアップ動作」設定が「オフ」の時、ウォームアップ動作の実行を促すメッセージの表示／非表示を設定します。

オン：ウォームアップ動作の実行を促すメッセージを表示します。

オフ：ウォームアップ動作の実行を促すメッセージを表示しません。

入力信号サーチ

無信号になったとき、信号のある他の入力に自動で切り替えます。

お知らせ

- MEMORY VIEWER および Screen Transfer 入力は、本機能の対象外です。
- 入力を USB に設定時、USB メモリーが接続されていない場合に無信号と判断します。
また、USB メモリーを接続していても、再生できない場合は無信号と判断します。
- 次の場合、本メニューはグレー表示になり設定できません。
 - 「ファイルオーバー / ファイルバック」が「オフ」以外の場合。(☞ 53 ページ)
 - 「パワーマネジメントモード」が「入力信号検出」の場合。(☞ 57 ページ)
 - 「入力切換固定」が「オフ」以外の場合。(☞ 62 ページ)
 - 「初期設定」-「イメージ設定」で「無信号イメージ設定」-「表示設定」が「オン」の場合。(☞ 61 ページ)
 - 「SLOT1 電源連動」または「SLOT2 電源連動」が「オン」の場合。(☞ 84 ページ)

- 本機能で入力が切り換わった場合、次回電源「入」時はその入力になります。
電源「入」時に元の入力にするには「スタート入力設定」を元の入力に設定してください。
(☞ 50 ページ)
- 「ウォームアップ動作」が実行中の時に本機能が動作した場合、ウォームアップイメージ(全白)は表示されません。

「入力信号サーチ」サブメニュー画面



■入力信号サーチ

オフ： 無信号時、入力の自動切り換えをしません。

全入力： 全入力をサーチして、信号のある入力に切り替えます。

下記の順で入力をサーチします。

例：現在の入力が HDMI1 の場合

HDMI2 → HDMI3 → SLOT1 → SLOT2
→ USB または Internal Memory →
HDMI1 →

お知らせ

- 「入力切換スキップ設定」(☞ 56 ページ) で「オン」に設定している入力は飛び越してサーチします。

カスタム： 「現在の入力」、「プライマリーサーチ入力」、「セカンダリーサーチ入力」の順にサーチを繰り返して、信号のある入力に切り替えます。

入力信号検出： 「オン」に設定した入力を監視し、入力信号が無信号状態から信号ありの状態に変化したことを検出して、その入力に切り換える機能です。



入力サーチ中は「サーチ中」と表示します。

■入力信号サーチ：カスタム

プライマリーサーチ入力、セカンダリーサーチ入力「カスタム」のときにサーチする入力を設定します。

HDMI1 / HDMI2 / HDMI3 / SLOT1 / SLOT2 /
USB/Internal Memory / (無し)

■入力信号サーチ：入力信号検出

入力信号サーチ		
入力信号サーチ	<	入力信号検出 >
HDMI1	<	オフ >
HDMI2	<	オフ >
HDMI3	<	オフ >
SLOT1	<	オフ >
SLOT2	<	オフ >
切換遅延	<	オフ >

「入力信号検出」のときに監視する入力を設定します。

HDMI1 / HDMI2 / HDMI3 / SLOT1 / SLOT2

オフ： 監視しません。

オン： 監視します。

■切換遅延

「入力信号検出」のときに入力を切り換えるまでの遅延時間を設定します。

オフ： 短い期間、信号が途絶えた場合でも入力を切り替えます。

1 ~ 10： 遅延時間(秒)を設定します。無信号を検出してから設定した時間だけ遅れて入力を切り替えます。ただし、設定した遅延時間より無信号を検出した期間が短い場合は、入力を切りえません。

お知らせ

- 「入力信号検出」は、設定された入力に対して、信号有無を監視し、次のように自動で入力を切り換える機能です。

- 表示していない設定入力に映像信号が入力されると（無信号から信号ありとなった場合）、その入力に切り替えます。
- 表示している入力が無信号になると、信号が入力されている設定入力に切り替えます。電源オン時や入力切り換え時に、表示された入力が無信号の場合も、信号が入力されている設定入力に切り替えます。複数の設定入力に信号が入力されている場合の優先順位は、初期値（電源「入」直後）は、優先順位が高い順番に、HDMI1、HDMI2、HDMI3 の順番になります。それ以外（電源「入」後に、入力が切り換えられた場合）は、直近に表示されていた入力が優先されます。

- 「切換遅延」は、「入力信号検出」動作時に入力信号の周波数変化時などの短い期間に、信号が途絶えた場合に、入力が意図せず切り換わってしまうことを防ぐための機能です。

設定時間（秒）以内の期間に、信号を再度検出した場合は、入力を切り替えません。

- 「入力信号検出」は、映像再生機器によっては、正しく動作しない場合があります。

フェイルオーバー / フェイルバック

映像信号の中断が発生した場合にバックアップ入力に自動的に切り替えます。

お知らせ

- 「SLOT1」または「SLOT2」は、DIGITAL LINK端子ボードが取り付けられている場合に有効です。
- MEMORY VIEWER および Screen Transfer 入力は、本機能の対象外です。
- 映像再生機器あるいは映像信号によっては、画面上にノイズが発生したり動作しない場合があります。

1. 入力切換方法の設定

■ 入力切換方法

オフ： バックアップ入力機能を無効にします。



オン： 映像信号の中断が発生した場合にバックアップ入力に切り替えます。

バックアップ入力の映像信号は、表示に使用するメイン入力と同じ形式である必要はありません。

バックアップ入力に切り換えたときには、バックアップ入力の映像信号と音声の調整値が使用されます。

フェイルオーバー / フェイルバック	
入力切換方法	< オン >
プライマリー入力	< (無し) >
セカンダリーアクセス	< (無し) >
自動復帰モード	< 有効 >
バックアップ入力ステータス	切換不可
メイン入力	HDMI1
入力選択状態	メイン入力

入力切換方法：オンの詳細設定

映像信号の中断が発生した場合にバックアップ入力に切り替えます。

お知らせ

- この機能は、表示に使用する入力とバックアップ入力の両方で映像信号が検出されると開始され、「バックアップ入力ステータス」に「切換可能」と表示されます。

■ プライマリー入力

最も優先順位が高いバックアップ入力を設定します。

(無し) / HDMI1 / HDMI2 / HDMI3 / SLOT1 / SLOT2 / USB/Internal Memory

表示に使用する入力と同じ入力がグレー表示になります。

■ セカンダリーアクセス

2番目に優先順位が高いバックアップ入力を設定します。

(無し) / HDMI1 / HDMI2 / HDMI3 / SLOT1 / SLOT2 / USB/Internal Memory

表示に使用する入力と同じ入力がグレー表示になります。

■ 自動復帰モード

バックアップ入力機能によって有効になったバックアップ入力の映像の表示中に最初に表示されていた入力映像が回復した場合に前の（メイン）入力に自動的に戻るかどうかを設定します。

無効： 戻りません

有効： 戻ります

■ バックアップ入力ステータス

バックアップ入力機能の実行条件を満たしているかどうかを表示します。

切換不可： 条件を満たしていないことを示します。

バックアップ入力機能は無効になります。

切換可能： 条件を満たしていることを示します。バックアップ入力機能は有効になります。

■ メイン入力

入力切り換えて設定した（メイン）入力を表示します。

■ 入力選択状態

現在表示に使用されている入力が入力切り換えて設定した（メイン）入力かバックアップ入力かを表示します。

設定の条件

次の表に各設定項目の制限（使用可能な組み合わせ）を示します。

		メイン	
		HDMI1	USB/ Internal Memory
バック アップ	HDMI1	○	○
	HDMI2	○	○
	HDMI3	○	○
	SLOT1	○	×
	SLOT2	○	×
	USB/ Internal Memory	○	×

○：バックアップのプライマリー / セカンダリー両方に選択可能

×：バックアップのプライマリー / セカンダリーいずれにも選択不可

お知らせ

- プライマリー / セカンダリーに同じ入力を選択すると、セカンダリーは無効になります。プライマリー / セカンダリーにメイン入力と同じ入力を選択すると、無効になります。

画面表示

<画面表示> を押すと次のいずれかが表示されます。

- メイン入力を表示に使用し、バックアップ入力機能の実行条件を満たしている場合。



- バックアップ入力機能の実行によって有効になったバックアップ入力を使用して表示している場合。



バックアップ入力機能の条件を満たした場合、以下が表示されます。

バックアップモード OK

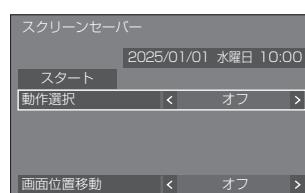
お知らせ

- 次の場合、本メニューはグレー表示になり設定できません。
 - ・「入力信号サーチ」が「オフ」以外の場合。（[P25 52 ページ](#)）
 - ・「初期設定」 - 「イメージ設定」で「無信号イメージ設定」 - 「表示設定」が「オン」の場合。（[P25 61 ページ](#)）
 - ・「パワーマネジメントモード」が「入力信号検出」の場合。（[P25 57 ページ](#)）
 - ・「SLOT1 電源連動」または「SLOT2 電源連動」が「オン」の場合。（[P25 84 ページ](#)）
- USB 入力に設定時、USB 端子に USB メモリーが接続されていないと判断された場合に映像信号の中断として扱います。
- 映像再生機器によっては、正しく動作しない場合があります。

スクリーンセーバー

静止画や 4 : 3 表示画像を長時間映す場合に残像の発生を軽減します。

「スクリーンセーバー」サブメニュー画面



■ スクリーンセーバーの設定

スクリーンセーバーの動作

スクリーンセーバー動作中は、次の 5 パターンを全画面に 5 秒毎に順次表示し、それを繰り返します。

黒→濃い灰色→灰色→薄い灰色→白→薄い灰色→
灰色→濃い灰色

今すぐスクリーンセーバーをスタートする

- ①「動作選択」で「オン」を選択。
- ②「スタート」を選んで＜決定＞を押す。
 - ・スクリーンセーバーが開始します。



お知らせ

- スクリーンセーバー動作中に以下のボタンを押すとスクリーンセーバーが解除されます。
<戻る>
 - ・本機の電源を「切」にすると、スクリーンセーバーは解除されます。

一定の周期ごとにスクリーンセーバーをオフ／オンする

- ①「動作選択」で「周期指定」を選択。
- ②「周期時間」を設定する。
 - ・◀▶を押すたびに15分ずつ変わります。
- ③「動作時間」を設定する。
 - ・◀▶を一度押すと1分ずつ変わります。
押し続けると15分ずつ変わります。

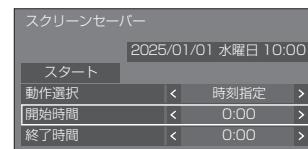


お知らせ

- 「動作時間」は「周期時間」より長い時間には設定できません。

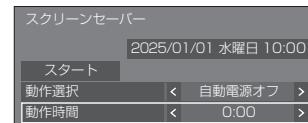
指定した時刻にスクリーンセーバーをオフ／オンする

- ①「動作選択」で「時刻指定」を選択。
- ②「開始時間」と「終了時間」を設定する。
 - ・◀▶を一度押すと1分ずつ変わります。
押し続けると15分ずつ変わります。



スクリーンセーバーの後に電源を切る

- ①「動作選択」で「自動電源オフ」を選択。
- ②「動作時間」を設定する。
 - ・◀▶を一度押すと1分ずつ変わります。
押し続けると15分ずつ変わります。
- ③「スタート」を選んで＜決定＞を押す。
 - ・スクリーンセーバーが開始し、設定時間後に電源が「切」(スタンバイ)になります。



お知らせ

- 「動作時間」は0:00～23:59まで設定できます。
「0:00」に設定したとき、「自動電源オフ」は動作しません。

画面位置移動

LEDパネルの残像軽減のため、画面位置を移動させて表示します。

「オン」に設定すると、一定の時間間隔で画面位置を移動させて表示します。

お知らせ

- 画面の設定状態により、画面の一部が欠けて見える場合があります。
- 映像遅延軽減設定が「オン」の時、「画面位置移動」機能は使用することができません。「画面位置移動」機能を使用したい時は、「初期設定」-「映像遅延軽減設定」機能を「オフ」にしてください。(☞ 64ページ)

入力表示書換設定

入力端子に接続した機器に合わせて表示名を変更します。

「入力表示書換設定」サブメニュー画面

入力表示書換設定		
HDMI1	<	HDMI1 >
HDMI2	<	HDMI2 >
HDMI3	<	HDMI3 >
SLOT1	<	SLOT1 >
SLOT2	<	SLOT2 >

HDMI1	HDMI1 / Blu-ray / CATV / STB / PressIT / USER
HDMI2	HDMI2 / Blu-ray / CATV / STB / PressIT / USER
HDMI3	HDMI3 / Blu-ray / CATV / STB / PressIT / USER
SLOT1	SLOT1 / PressIT / USER
SLOT2	SLOT2 / PressIT / USER

「USER」を選択することにより、表示名を設定することができます。

「USER」の設定

- ①▲▼で入力を選ぶ。
- ②◀▶で「USER」を選んで<決定>を押す。
- ③▲▼◀▶で入力表示名を入力する。
 - ・文字の入力方法は「文字入力について」
([139 ページ](#)) をご覧ください。

入力切換スキップ設定

すべての入力に対して、<入力切換>ボタンを押した時に、その入力をスキップするかどうかを設定します。

「入力切換スキップ設定」サブメニュー画面

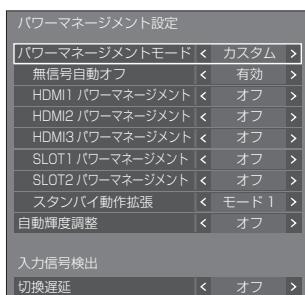
入力切換スキップ設定		
HDMI1	<	オフ >
HDMI2	<	オフ >
HDMI3	<	オフ >
SLOT1	<	オフ >
SLOT2	<	オフ >
Screen Transfer	<	オフ >
USB/Internal Memory	<	オフ >
MEMORY VIEWER	<	オフ >

オフ：<入力切換>ボタンを押した時に、該当入力に切り替え選択できます。

オン：<入力切換>ボタンを押した時に、該当入力をスキップします（切り替えできません）。

パワーマネージメント設定

消費電力を低減するための各種設定を行います。
本機能は、選択中の入力端子にのみ機能します。
「パワーマネージメント設定」サブメニュー画面



お知らせ

- 各入力のパワーマネージメントは「クリック起動」が「オン」の場合、映像（同期信号）が検知されないときの電源「切」までの動作時間は約 20 秒になります。

1. パワーマネージメントモードの設定

お知らせ

- 機能動作させる端子は、パワーマネージメント機能を「オン」に設定してください。
- 「入力信号サーチ」が「全入力」または「カスタム」の場合は、「入力信号サーチ」機能動作が優先となります。（各端子におけるパワーマネージメント機能は動作しません。）（「入力信号サーチ」機能について [\[52 ページ\]](#)）
- 「フェイルオーバー / フェイルバック」の「入力切換方法」が「オフ」以外の場合は、「フェイルオーバー / フェイルバック」機能動作が優先となります。（各端子におけるパワーマネージメント機能は動作しません。）（「フェイルオーバー / フェイルバック」機能について [\[53 ページ\]](#)）

1-1 パワーマネージメントモード：オン

消費電力低減のメニューを次の固定値に設定します。個別に設定はできません。

無信号自動オフ：有効

HDMI1 パワーマネージメント：オン

HDMI2 パワーマネージメント：オン

HDMI3 パワーマネージメント：オン

SLOT1 パワーマネージメント：オン

SLOT2 パワーマネージメント：オン

1-2 パワーマネージメントモード：カスタム

消費電力低減のメニューを個別に設定します。「パワーマネージメントモード」が「カスタム」のとき、設定が有効になります。

1-3 パワーマネージメントモード：入力信号検出

消費電力低減のメニューを個別設定します。「パワーマネージメントモード」が「入力信号検出」のとき設定が有効になり、パワーマネージメント動作と入力検出機能を連動させて動作させるモードです。このモードでは、入力信号を監視して、入力信号が信号なしの状態から信号ありの状態に変化したことを検出すると、入力信号検出機能が動作して、その入力に自動的に切り換えます。また、現在の入力信号が無くなると、ほかの入力に自動的に切り換わります。すべての入力信号が無くなるとパワーマネージメント機能が動作して、自動的に電源を切／入します。この動作は、選択された端子間で動作します。

お知らせ

- 「スタンバイ動作拡張」設定は、「モード2」となりグレー表示となります。

■ 無信号自動オフ

「有効」にすると、約 10 分間無操作で入力同期信号がないと自動的に電源が切れます（スタンバイ）。

お知らせ

- USB 入力に設定時、USB 端子に USB メモリーが接続されていない場合、または接続された USB メモリーに再生可能なファイルがない場合、無信号と判断します。
- Screen Transfer 入力では、待ち受け状態でパソコンが Screen Transfer に未接続状態の場合、無信号と判断します。
- 本機能は「無信号イメージ設定」の「オフ」/「オン」設定に関係なく動作します。
- 映像出力機器によっては、本機能が動作しない場合があります。
- 「ウォームアップ動作」をご使用になる時は、信号を入れるか、「無信号自動オフ」を「無効」に設定してください。

■ HDMI1 パワーマネージメント

「オン」にすると、次の条件で本機能が動作し、自動的に電源を切／入します。

HDMI1 入力時に約 60 秒間、映像（同期信号）が検知されないとき：

電源「切」（スタンバイ）/ 電源ランプ：橙色点灯

その後、HDMI1 入力で映像（同期信号）が検知されるとき：

電源「入」/ 電源ランプ：緑色点灯

お知らせ

- 映像出力機器によっては、本機能が動作しない場合があります。

■HDMI2 パワーマネージメント

「オン」にすると、次の条件で本機能が動作し、自動的に電源を切／入します。

HDMI2 入力時に約 60 秒間、映像（同期信号）が検知されないと：

電源「切」（スタンバイ）／電源ランプ：橙色点灯

その後、HDMI2 入力で映像（同期信号）が検知されるとき：

電源「入」／電源ランプ：緑色点灯

お知らせ

● 映像出力機器によっては、本機能が動作しない場合があります。

● 本機能は、機能拡張用スロット（SLOT2）に DIGITAL LINK 端子ボードが取り付けられている場合のみに有効です。

■スタンバイ動作拡張

パワーマネージメント機能を「オン」に設定している入力端子について、パワーマネージメント機能によるスタンバイ時の動作を設定します。

モード1:スタンバイ動作したときの入力端子で映像（同期信号）が検知されるとその入力で電源「入」になります。

モード2:パワーマネージメント機能を「オン」に設定しているいずれかの入力端子で映像（同期信号）が検知されると電源「入」になり、その入力に切り換わります。

モード3:リモコンで電源オフに操作した場合についても、パワーマネージメント機能を「オン」に設定しているいずれかの入力端子で新たに映像（同期信号）が検知されると電源「入」になり、その入力に切り換わります。

■自動輝度調整

現在表示している画像によって LED の明るさを調整して消費電力を低減します。

オフ : 自動輝度調整機能は動作しません。

低 : 平均輝度レベル (APL)80% から段階的に LED の明るさを調整します。
(最大 10% の電力削減)

中 : 平均輝度レベル (APL)60% から段階的に LED の明るさを調整します。
(最大 20% の電力削減)

高 : 平均輝度レベル (APL)40% から段階的に LED の明るさを調整します。
(最大 30% の電力削減)

■切換遅延

「パワーマネージメントモード」が「入力信号検出」のときに入力を切り換えるまでの遅延時間を設定します。

オフ : 短い期間、信号が途絶えた場合でも入力を切り換えます。

1 ~ 10 :遅延時間（秒）を設定します。無信号を検出してから設定した時間だけ遅れて入力を切り換えます。ただし、設定した遅延時間より無信号を検出した期間が短い場合は、入力を切り換えません。

お知らせ

● 「入力信号検出」に設定時の動作は、「入力信号サーチ」が「入力信号検出」の時の動作と同じです。
([P.52 ページ](#))

■HDMI3 パワーマネージメント

■SLOT1 パワーマネージメント

「オン」にすると、次の条件で本機能が動作し、自動的に電源を切／入します。

SLOT1 入力時に約 60 秒間、映像（同期信号）が検知されないと：

電源「切」（スタンバイ）／電源ランプ：橙色点灯
その後、SLOT1 入力で映像（同期信号）が検知されるとき：

電源「入」／電源ランプ：緑色点灯

お知らせ

● 映像出力機器によっては、本機能が動作しない場合があります。

■SLOT2 パワーマネージメント

「オン」にすると、次の条件で本機能が動作し、自動的に電源を切／入します。

SLOT2 入力時に約 60 秒間、映像（同期信号）が検知されないと：

電源「切」（スタンバイ）／電源ランプ：橙色点灯
その後、SLOT2 入力で映像（同期信号）が検知されるとき：

電源「入」／電源ランプ：緑色点灯

お知らせ

● 映像出力機器によっては、本機能が動作しない場合があります。

● 本機能は、機能拡張用スロット（SLOT1）に DIGITAL LINK 端子ボードが取り付けられている場合のみに有効です。

■SLOT2 パワーマネージメント

「オン」にすると、次の条件で本機能が動作し、自動的に電源を切／入します。

SLOT2 入力時に約 60 秒間、映像（同期信号）が検知されないと：

電源「切」（スタンバイ）／電源ランプ：橙色点灯

その後、SLOT2 入力で映像（同期信号）が検知されるとき：

電源「入」／電源ランプ：緑色点灯

音声入力切換

「音声入力切換」サブメニュー画面

音声入力切換		
HDMI1	<♪	HDMI1 >
HDMI2	<♪	HDMI2 >
HDMI3	<♪	HDMI3 >
SLOT1	<♪	SLOT1 >
SLOT2	<♪	SLOT2 >
Screen Transfer	<♪	Screen Transfer >

映像入力	音声入力
HDMI1	HDMI1 / AUDIO IN / 音声入力無し
HDMI2	HDMI2 / AUDIO IN / 音声入力無し
HDMI3	HDMI3 / AUDIO IN / 音声入力無し
SLOT1	SLOT1 / AUDIO IN / 音声入力無し
SLOT2	SLOT2 / AUDIO IN / 音声入力無し
Screen Transfer	Screen Transfer / AUDIO IN / 音声入力無し

- ・音声入力無し：音声入力なし（ミュート）

音声入力の設定が工場出荷状態から変更されている場合、以下のように音声入力が表示されます。

HDMI1
フル
♪ AUDIO IN

外部機器連携設定

外部接続機器との連携について設定します。

「外部機器連携設定」サブメニュー画面

外部機器連携設定		
接続機器情報表示	< オン >	
ワイヤレスプレゼンテーション連携	< オン >	

■接続機器情報表示

HDMI 端子または SLOT 端子に接続されている機器情報の表示 / 非表示を設定します。

オフ：接続機器情報が表示されません。

オン：以下のように、接続機器情報が表示されます。

HDMI1
フル
Player1

お知らせ

- ・信号の情報または HDMI-CEC の情報のうち取得できた内容を表示します。
- ・取得できた先頭の 16 文字までを表示します。

■ワイヤレスプレゼンテーション連携

ワイヤレスプレゼンテーションシステム接続時の設定を行うメニューです。

詳細は下記のサポートサイトの取扱説明書を参照してください。

(<https://archives.connect.panasonic.com/prodisplays/pressit/>)

HDMI-CEC 設定

HDMI-CEC 機能について設定します。

HDMI-CEC 機能について詳しくは「HDMI-CEC 機能を使う」(☞ 129 ページ) をご覧ください。
「HDMI-CEC 設定」サブメニュー画面

HDMI-CEC 設定		
HDMI-CEC 制御	< 有効 >	
HDMI1	< --- >	
HDMI2	< --- >	
HDMI3	< --- >	
SLOT1	< --- >	
SLOT2	< --- >	
HDMI-CEC 操作		
MENU コード	< 1 >	
連動機能		
ディスプレイ → 機器	< 電源オフ >	
機器 → ディスプレイ	< 電源オン >	
ARC	< オート >	

■HDMI-CEC 制御

HDMI-CEC 機能の有効 / 無効を設定します。

無効：HDMI-CEC 制御を無効にします。

有効：HDMI-CEC 制御を有効にします。

お知らせ

- 「有効」に設定する事で、本機のリモコンで、HDMI-CEC 対応機器の操作が可能になります。

■ HDMI1

HDMI IN 1 端子に HDMI-CEC 対応機器がつながっている場合に、操作する機器を表示します。

◀▶で制御対象を変更することができます。

お知らせ

- 機器がつながっていない場合は「---」を表示します。

■ HDMI2

HDMI IN 2 端子に HDMI-CEC 対応機器がつながっている場合に、操作する機器を表示します。

◀▶で制御対象を変更することができます。

お知らせ

- 機器がつながっていない場合は「---」を表示します。

■ HDMI3

HDMI IN 3 端子に HDMI-CEC 対応機器がつながっている場合に、操作する機器を表示します。

◀▶で制御対象を変更することができます。

お知らせ

- 機器がつながっていない場合は「---」を表示します。

■ SLOT1

SLOT1 端子に HDMI-CEC 対応機器がつながっている場合に、操作する機器を表示します。

お知らせ

- 「SLOT1」の項目は SLOT1 にファンクションボードが挿入されている場合のみ表示されます。HDMI-CEC 対応 SLOT がつながっていない場合は「---」を表示します。

■ SLOT2

SLOT2 端子に HDMI-CEC 対応機器がつながっている場合に、操作する機器を表示します。

お知らせ

- 「SLOT2」の項目は SLOT2 にファンクションボードが挿入されている場合のみ表示されます。HDMI-CEC 対応 SLOT がつながっていない場合は「---」を表示します。

■ HDMI-CEC 操作

HDMI-CEC 対応機器の操作画面を表示します。

<戻る> を押すと操作画面が消えます。

■ MENU コード

HDMI-CEC 操作画面の「MENU」操作時に割り当てるコードを変更します。接続される HDMI-CEC 対応機器に合わせてください。

■ ディスプレイ → 機器

本機から HDMI-CEC 対応機器への連動制御の有効 / 無効を設定します。

無効：本機から機器への連動制御を無効にします。

本機の電源状態の変化で機器の電源状態は変化しません。

電源オフ：本機の電源オフ（スタンバイ）により、HDMI IN 1、HDMI IN 2、HDMI IN 3、SLOT1 または SLOT2 端子に接続されているすべての機器を電源オフ（スタンバイ）にします。電源オン動作には連動しません。

電源オフ / オン

本機の電源オフ（スタンバイ） / オン動作に機器が連動してオフ（スタンバイ） / オンになります。

お知らせ

- 動作の詳細については「HDMI-CEC 機能を使う」（[129 ページ](#)）をご覧ください。

■ 機器 → ディスプレイ

HDMI-CEC 対応機器から本機への連動制御の有効 / 無効を設定します。

無効：機器から本機への連動制御を無効にします。
機器の電源状態の変化で本機の電源状態は変化しません。

電源オン：機器の電源オンで本機の電源をオンし、その機器の入力（HDMI1/HDMI2/HDMI3/SLOT1/SLOT2）に切り換えます。

電源オフ / オン：機器の電源オフ / オンに本機の電源が連動します。

お知らせ

- 動作の詳細については「HDMI-CEC 機能を使う」（[129 ページ](#)）をご覧ください。
- 「初期設定」 - 「入力切換固定」が設定されている場合は、入力は切り換わりません。

■ ARC

HDMI IN 2 (ARC) 端子の音声出力について設定します。

オート：アンプ接続時、自動で HDMI IN 2 端子から音声出力します。

オフ：常に AUDIO OUT または DIGITAL AUDIO OUT 端子から音声出力します。

オン：常に HDMI IN 2 端子から音声出力します。

お知らせ

- 動作の詳細については「ARC 機能を使う」（[131 ページ](#)）をご覧ください。

イメージ設定

無信号入力時に、画面に表示するイメージを設定します。

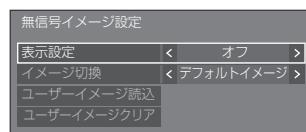
「イメージ設定」サブメニュー画面



■ 無信号イメージ設定

選択した入力端子に信号入力がないときに表示するイメージを設定します。

「無信号イメージ設定」サブメニュー画面



表示設定

無信号時のイメージ表示を設定します。

オフ：各イメージ設定機能を無効にします。

オン：各イメージ設定機能を有効にします。

お知らせ

- 無信号イメージ表示時は、LED パネルの残像軽減のため、一定の時間間隔で画面位置を移動させてイメージを表示します。
- 「画面位置移動」(☞ 55 ページ) の設定に関わらず表示位置を移動させます。
- 画面の設定状態により、画面の一部が欠けて見える場合があります。

イメージ切換

表示するイメージを選択します。

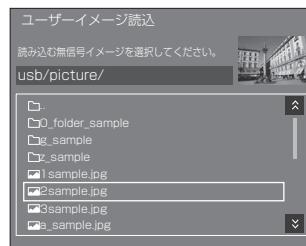
デフォルトイメージ：Panasonic ロゴ（黒背景）

ユーザーイメージ：ユーザーが登録したイメージ

ユーザーイメージ読込

USB メモリーから読み込んだイメージを登録します。

「ユーザーイメージ読込」サブメニュー画面



お知らせ

「ユーザーイメージ読込」で設定できる画像の条件

- 画像サイズは 1920 x 1080 のみ
- jpg ファイル /bmp ファイル（USB メディアプレーヤーで再生不可能なものは除く (☞ 113 ページ)）

ファイルリストに表示されるものは、USB 直下にファイル、フォルダを置く場合以下の通りになります。

- ファイル名は 246 文字（拡張子を含む）まで正常に表示されます。ただし、オンスクリーンメニューの表示時間により、ファイル名の全体表示が完了する前にファイルリストが消えることがあります。
- フォルダ名は 244 文字まで正常に表示されます。
※ フォルダを階層的に置く場合、ファイルパス（フォルダ情報）分、文字数は少くなります。
 - ・ 制御コードを除く ASCII 文字で記述されたファイル名をもつファイルしか表示されません。

お知らせ

- 無信号イメージは、「LED の明るさ」、「ガンマ」、「色温度設定」と「ブルーライト低減」のみ調整できます。
- 無信号イメージで表示される画像は、パソコン上で確認した画像と若干異なる場合があります。
- 「無信号イメージ設定」を「オン」に設定すると、「入力信号サーチ」と「フェイルオーバー / フェイルバック」は無効となり、メニューはグレー表示になります。
- 入力を USB および MEMORY VIEWER 以外に設定してイメージ読み込みを実行してください。
- 登録できるユーザーイメージは「無信号イメージ設定」の機能で 1 つだけです。
- ユーザーイメージ読み込みの処理中は電源を切らないでください。
- 「ユーザーイメージ読み込み」サブメニュー画面に、選択している画像のプレビュー表示を行います。
- USB 端子に USB メモリーが接続されていない場合、「ユーザーイメージ読み込み」はグレー表示になり選択できません。
- プレビュー画像作成中に読み込みを開始するとアクセスエラーとなり画像ファイルと認識されない場合があります。
プレビュー画像の表示を確認のうえ、読み込み処理を開始してください。
- 表示されるファイル名には以下の制限があります。
 - ・拡張子が jpg, jpe, jpeg, bmp のいずれかであること
 - ・ファイル名がドット(.) で始まる「.jpg」「.jpe」「.jpeg」「.bmp」ではないこと

- OS の設定により、お使いのコンピューターでは見えない USB メモリー内のフォルダやファイルが、本機で表示される場合があります。
- 「使用メモリー選択」で「内蔵メモリー」を選択時も USB メモリーからイメージ読み込みを行います。(内蔵メモリーからのイメージ読み込みはできません。)

ユーザーイメージクリア

「ユーザーイメージ読み込み」で読み込んだ画像を消去します。

「設定」サブメニュー画面



お知らせ

- 読み込んだユーザーイメージがない場合、「ユーザーイメージクリア」はグレー表示になり選択できません。
- 「イメージ切換」が「ユーザーイメージ」に設定されているときに、「ユーザーイメージクリア」を実行すると、「イメージ切換」は、「デフォルトイメージ」に変更されます。

入力切換固定

入力を固定して「入力切換」操作をできなくします。

オフ / HDMI1 / HDMI2 / HDMI3 /
SLOT1 / SLOT2 / Screen Transfer /
USB/Internal Memory / MEMORY VIEWER

お知らせ

- 「オフ」以外に設定すると、すぐに入力切り替え操作ができなくなります。

オフタイマー機能

オフタイマー機能を有効 / 無効の設定をします。

有効： オフタイマー機能を有効にします。

無効： オフタイマー機能を無効にします。

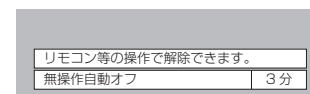
お知らせ

- オフタイマー設定時は「無効」にするとオフタイマーが解除されます。

無操作自動オフ

「有効」にすると、本機を約 4 時間以上操作しないとき、自動的に電源が切れます（スタンバイ）。

電源が切れる 3 分前から、切れるまでの残り時間を表示します。



本機能が働いて電源が切れた場合、次回電源を入れたときに「無操作自動オフが働きました。」と表示します。

無信号イメージ（[61 ページ](#)）が表示される場合は、電源が切れる 3 分前になんでも残り時間の表示は行わず、電源が切れるまで無信号イメージを表示します。

お知らせ

- スクリーンセーバー動作中に、本機能は動作しません。

表示言語切換

選択された言語で各種メニュー設定、調整画面、操作ボタン名などを表示します。

選択できる言語

バージョン 2.0000 未満（多言語対応前）

English(UK) : 英語（イギリス）

日本語 : 日本語

バージョン 2.0000 以降 (多言語対応後)

English(UK) :	英語 (イギリス)
Deutsch :	ドイツ語
Français :	フランス語
Italiano :	イタリア語
Español :	スペイン語
ENGLISH(US) :	英語 (アメリカ)
日本語 :	日本語
Русский :	ロシア語

マルチ画面設定

画面の表示モードを設定します。

お知らせ

- 入力を Screen Transfer / MEMORY VIEWER 以外に設定して「マルチ画面設定」を設定してください。
- 本メニューを表示中は画面モードが「フル」になります。

1. マルチ画面の設定

■ マルチスクリーン表示

オフ：拡大分割画面にしない。

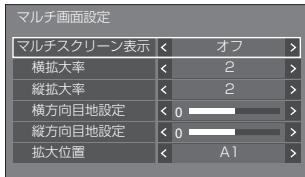
オン：拡大分割画面にする。

「オン」のときは、画面のアスペクトは「フル」になります。

2. マルチスクリーン表示

縦方向に 1 ~ 10 台と 縦方向に 1 ~ 10 台を並べた LED ディスプレイを 1 つのグループとして、拡大した映像を映します。

「マルチ画面設定」サブメニュー画面
(マルチスクリーン表示)



お知らせ

- 設定は入力端子ごとに記憶します。
- 「マルチスクリーン表示」が「オフ」時に「位置調整」(☞ 39 ページ) で、同一画角に調整後、「マルチスクリーン表示」を「オン」にして再度、「位置調整」で画角を微調整してください。
- 「位置調整」メニューは、マルチスクリーン表示の状態で調整できます。
- マルチスクリーン時、アスペクトは「フル」になります。

● USB/Internal Memory 入力時、「横拡大率」と「縦拡大率」の設定は、下記の組み合わせのみとなります。

1 × 2, 1 × 3, 1 × 4, 2 × 1, 2 × 2,
3 × 1, 4 × 1

● 映像遅延軽減設定が「オン」の時、「マルチ画面設定」はできません。「マルチ画面設定」を使用したい時は、「初期設定」 - 「映像遅延軽減設定」機能を「オフ」にしてください。(☞ 64 ページ)

■ 横拡大率

マルチスクリーン表示の横方向の拡大率を設定します。

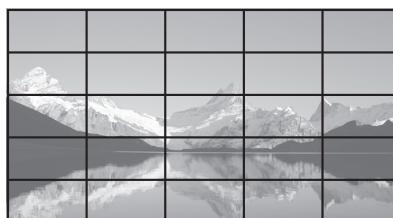
1 ~ 10

■ 縦拡大率

マルチスクリーン表示の縦方向の拡大率を設定します。

1 ~ 10

例) 横拡大率「5」と縦拡大率「5」に設定のマルチスクリーン表示画面



■ 横方向目地設定 / 縦方向目地設定

目地部分に隠れる映像の領域を、縦方向と横方向でそれぞれ調整します。

0 ~ 100

表示例)

設定値 0



目地部分を含むすべての映像を表示します。(パソコンなどで文字情報を表示する場合に適しています)

設定値 100



目地部分の映像を表示しません。(動画など動きのある映像を表示する場合に適しています)

■拡大位置

マルチスクリーンの画面位置を割り当てます。

例) 横拡大率「10」、縦拡大率「10」の場合

A1	A2	A9	A10
B1	B2	B9	B10
....
I1	I2	I9	I10
J1	J2	J9	J10

A1～J10 から選ぶ。

- 「横拡大率」「縦拡大率」の設定により、設定の表示内容は変わります。

- 「マルチスクリーン表示」を「オフ」にしておくと、設定メニューを表示中、画面上で拡大位置を確認できます。

お知らせ

- 横拡大率「1」／縦拡大率「1」には設定できません。

映像遅延軽減設定

各入力から LED ディスプレイへの映像表示までの遅延時間を短くします。それに伴い、映像のサイズや位置を変更する機能が使用できなくなります。

「映像遅延軽減設定」サブメニュー画面

映像遅延軽減設定		
HDMI1	<	オフ
HDMI2	<	オフ
HDMI3	<	オフ
SLOT1	<	オフ
SLOT2	<	オフ

HDMI1：「オン」にすると、HDMI IN 1 端子からの入力に対して映像遅延軽減機能が動作します。

HDMI2：「オン」にすると、HDMI IN 2 端子からの入力に対して映像遅延軽減機能が動作します。

HDMI3：「オン」にすると、HDMI IN 3 端子からの入力に対して映像遅延軽減機能が動作します。

SLOT1：「オン」にすると、SLOT1 端子からの入力に対して映像遅延軽減機能が動作します。

SLOT2：「オン」にすると、SLOT2 端子からの入力に対して映像遅延軽減機能が動作します。

お知らせ

- アスペクトが「フル」になります。
- 「位置調整」メニューの調整値が無効になります。
- 以下の機能が使用できなくなります。
 - ・デジタルズーム
 - ・「スクリーンセーバー」 - 「画面位置移動」
 - ・「マルチ画面設定」

タイマー設定

指定したタイマー条件で特定の動作を実行させるためのプログラムを設定します。プログラムは20通り設定できます。

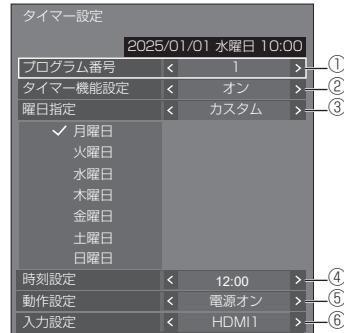
お知らせ

- 同じ時刻に複数のプログラムが設定されている場合、プログラム番号の最も小さいものが有効になります。
- 「動作設定」が「電源オン」に設定されている場合、電源「入」時にプログラムが実行されると、「入力設定」で設定した入力に切り換わります。
- 「動作設定」が「再起動」に設定されている場合、設定されているタイマー条件（曜日、時刻）にしたがってコントロールボックスを再起動します。
- 「動作設定」が「パネルチェック」に設定されている場合、設定されている条件（曜日、時刻）にしたがってLEDパネルの不灯情報取得処理を行います。なお、LEDパネルの不灯情報取得処理中、LEDディスプレイの画面が一時的にブラックアウトすることがあります。

「タイマー設定」サブメニュー画面

【設定例】

プログラム 1 毎週月曜日 12:00
電源入 入力：HDMI1



- ① プログラム番号を設定する。
- ② プログラムを実行する場合は「オン」に設定する。
プログラムは「オフ」が設定されると無効になります。
- ③ 曜日を設定する。
毎日：プログラムを毎日実行します。
平日：月曜日～金曜日にプログラムを実行します。
週末：土曜日と日曜日にプログラムを実行します。
カスタム：選択した曜日にプログラムを実行します。（「曜日のカスタム設定」を参照）
- ④ 時刻を設定する。
◀▶を一度押すと1分ずつ変わります。
押し続けると15分ずつ変わります。

⑤ 動作設定を設定する。

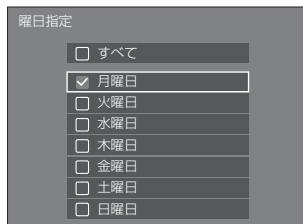
- 電源オン：設定したタイマー条件に従ってコントロールボックスの電源を「オン」する。
- 電源オフ：設定したタイマー条件に従ってコントロールボックスの電源を「オフ」する。
- 再起動：設定したタイマー条件に従ってコントロールボックスを「再起動」する。

- パネルチェック：設定したタイマー条件に従ってLEDパネルの不灯情報取得処理を実行する。

⑥ 入力を設定する。

■ 曜日のカスタム設定

- ① 「曜日指定」を「カスタム」にする。
- ② 「曜日指定」を選択中に<決定>を押す。
「曜日指定」画面に進みます。



▲▼◀▶ フォーカスを移動

- <音量+> 曜日を選択（曜日にチェックを付ける）
<音量-> 曜日の選択を解除（曜日にチェックがついていた場合に、チェックを消去）
<決定> 現在の設定を保存し、タイマー設定画面に戻る。
<戻る> 現在の設定を保存せずに、タイマー設定画面に戻る。

- ③ 設定を変更し、<決定>を押して、タイマー設定画面に戻る

・「すべて」は、すべての曜日を選択／解除します。

お知らせ

- 「曜日のカスタム設定」の操作にはリモコンをご使用ください。
- <決定>を押さずに「曜日指定」画面を消去した場合は設定は保存されません。

日付と時刻

日付と時刻を設定します。
「日付と時刻」サブメニュー画面

日付と時刻			
2025/01/01 水曜日 10:00			
年	<	2025	>
月	<	1	>
日	<	1	>
時	<	10	>
分	<	0	>
設定			
時計表示設定	<	オフ	>
時計補正設定	<	オン	>
補正值	< 0	0	>
ディスプレイ間同期設定			
ディスプレイ間同期	<	オフ	>
同期親子設定	<	子	>
NTPステータス			
NTP同期	オフ		
タイムゾーン	(GMT + 00:00)		

■ 日付と時刻を設定する

①「年／月／日／時／分」を選択。

②選んだ項目を設定する。



日付と時刻			
2025/01/01 水曜日 10:00			
年	<	2025	>
月	<	1	>
日	<	1	>
時	<	10	>
分	<	0	>
設定			

③「設定」を選んで <決定> を押す。

日付と時刻			
2025/02/06 木曜日 18:00			
年	<	2025	>
月	<	2	>
日	<	6	>
時	<	18	>
分	<	0	>
設定			

〔お知らせ〕

- 現在日時を設定しないとタイマー設定やスクリーンセーバーなどの時間設定はできません。
- 現在日時の設定は、下記の場合にリセットされます。
 - ・本機の電源ボタンを「切」にしたり、電源プラグを抜いたり、停電などで約 7 日間以上放置したとき。
※長期間あるいは高温環境でご使用の場合は 7 日間よりも短くなることがあります。
 - ・現在日時がリセットされた場合、「年／月／日／時／分」が「--」と表示されます。
- 「年／月／日／時／分」を「- -」以外に設定しないと、日付と時刻の設定はできません。
- 日付と時刻で設定できる上限値は 2035 年 12 月 31 日 23 時 59 分までとなります。

■ 時計表示設定

時計表示の表示／非表示を設定します

オフ：時計を表示しません。

オン：時計を表示します。

〔お知らせ〕

- 時計表示は、<画面表示> を押したとき、ディスプレイの左下に表示されます。表示時間は、約 5 秒です。
- 現在日時が未設定の場合、「時計表示設定」を「オン」に設定しても時計は表示されません。

■ 時計補正設定

時刻ずれの調整機能を設定します。

オフ：時刻ずれを調整しません。

オン：時刻ずれを調整します。

■補正值

時刻ずれの補正量を設定します。

時計遅れ補正の目安

設定値	1か月当たりの補正值	6か月当たりの補正值	1年当たりの補正值
0	補正無し		
+1	約10秒	約1分	約2分
+2	約20秒	約2分	約4分
+3	約30秒	約3分	約6分
+4	約40秒	約4分	約8分
+5	約50秒	約5分	約10分
+6	約60秒	約6分	約12分
+7	約70秒	約7分	約14分
+8	約80秒	約8分	約16分
+9	約90秒	約9分	約18分
+10	約100秒	約10分	約20分

時計進み補正の目安

設定値	1か月当たりの補正值	6か月当たりの補正值	1年当たりの補正值
0	補正無し		
-1	約10秒	約1分	約2分
-2	約20秒	約2分	約4分
-3	約30秒	約3分	約6分
-4	約40秒	約4分	約8分
-5	約50秒	約5分	約10分
-6	約60秒	約6分	約12分
-7	約70秒	約7分	約14分
-8	約80秒	約8分	約16分
-9	約90秒	約9分	約18分
-10	約100秒	約10分	約20分

■ディスプレイ間同期設定

ネットワークでつながったディスプレイ同士の時刻を同期させます。

お知らせ

- 本機能は時刻を同期したいディスプレイ同士がLANでつながっていないと動作しません。
- 本機能はLANでつながっている機器同士が異なるIPアドレスで接続されていないと動作しません。
- 時刻の同期は、電源オン状態またはスケジュール待機スタンバイ中のみ動作します。
- 本機同士でディスプレイ間同期の機能を有効にした場合のみ、正常動作します。
他の機器が同一ネットワークに接続されている場合は正常動作しない場合があります。

ディスプレイ間同期：

ディスプレイ間同期の機能を有効または無効に設定します。

同期親子設定：

本機をディスプレイ間同期設定の「親」または「子」に設定します。

「ディスプレイ間同期」が「オン」のときに動作します。

親：同期する元になる時刻の設定が必要です。

子：親の時刻に同期します。

お知らせ

- 「ディスプレイ間同期」が「オン」、「同期親子設定」が「子」の場合、日付と時刻は設定できません。
- 「ディスプレイ間同期」が「オン」、「同期親子設定」が「子」の場合、「NTP同期」はオフ動作となります。
- 1つのネットワーク上で複数の「親」設定のディスプレイがあると、ディスプレイ間同期設定は正しく動作しません。
- 1つのネットワーク上に「親」設定のディスプレイがない場合は時刻は同期しません。
- ネットワーク上の「親」設定のディスプレイの時刻が設定されていない場合、時刻同期はしません。
- ネットワークの環境によっては、同期が大きくずれる可能性があります。
- 親機と子機の間にルーターを置くと同期はできません。
- 無線LANでは、同期はできません。
- IPv6設定で通信している場合、本機能は無効となります。

■NTPステータス

現在のNTP同期とタイムゾーン（☞96ページ）の設定を表示します。

お知らせ

- 「NTP同期」が「オン」表示のときに「ディスプレイ間同期」を「オン」、「同期親子設定」を「子」に設定した場合、「NTP同期」は「-」表示となりオフ動作となります。
- 「NTP同期」が「オン」のときは、日付と時刻は設定できません。
- 本メニューでNTP同期とタイムゾーンの設定は変更できません。設定の変更はWEBブラウザーで行ってください。（☞96ページ）
- NTP同期は、電源オン状態またはスケジュール待機スタンバイ中のみ動作します。

ネットワーク設定

コンピューターとネットワーク通信するときに設定します。

お知らせ

- DIGITAL LINK 関連のメニューは、機能拡張用スロット (SLOT) に DIGITAL LINK 端子ボードが取り付けられている場合に表示します。

「ネットワーク設定」サブメニューが表示されます。



管理者アカウント設定

管理者アカウントを設定します。



パスワード入力に関する注意点

本項目のパスワード設定に関する注意点が別ウインドウで表示されます。

ユーザー名

ユーザー名設定のキーボードが表示されます。ユーザー名を入力してください。

- 文字の入力方法は「文字入力について」(☞ 139 ページ) をご覧ください。

パスワード

パスワード設定のキーボードが表示されます。パスワードを入力後に「確定」を選択すると確認画面が表示されます。再度パスワードを入力して「確定」を選択するとパスワードが決定されます。

保存

上記で設定したユーザー名およびパスワードをコントロールボックス本体に保存します。

お知らせ

- 一度設定すると、本設定を表示するにはユーザー名とパスワードの入力が必要です。

■ネットワークコントロール

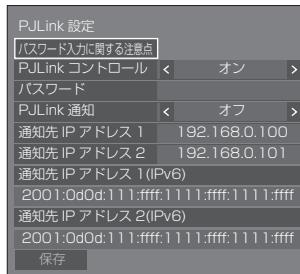
本機の LAN 端子で制御する場合に設定します。

- オフ：** LAN 端子での制御を無効にします。
(この場合、リモコンで電源を「切」にしたとき (スタンバイ) の消費電力を少し低減します。)
- オン：** LAN 端子で LAN 制御します。リモコンで電源を「切」にしたとき (スタンバイ)、電源ランプが橙色点灯します。

お知らせ

- 「ネットワーク機能を使う」(☞ 85 ~ 89 ページ) に記載の LAN により制御する機能を使用する場合は、「オン」に設定してください。
- 設定が「オフ」の場合でも、WEB ブラウザーコントロールの本機を制御しない画面 (ディスプレイ情報 [Status]、詳細設定 [Detailed set up]、パスワード変更 [Change password]) は、動作します。

■PJLink 設定



パスワード入力に関する注意点

本項目のパスワード設定に関する注意点が別ウインドウで表示されます。

PJLink コントロール

PJ Link での通信を行う場合に設定します。

- オフ：** PJLink での制御を無効にします。
- オン：** PJLink での制御を有効にします。

パスワード

パスワード設定のキーボードが表示されます。パスワードを入力後に「確定」を選択すると確認画面が表示されます。再度パスワードを入力して「確定」を選択するとパスワードが決定されます。

- 文字の入力方法は「文字入力について」(☞ 139 ページ) をご覧ください。

PJLink 通知

PJLink 通知を使用する場合に設定します。

- オフ：** 通知を無効にします。
- オン：** 通知を有効にします。

通知先 IP アドレス 1、通知先 IP アドレス 2

本機のステータスを通知するパソコンの IP アドレスを設定します。

通知先 IP アドレス 1 (IPv6)、通知先 IP アドレス 2 (IPv6)

本機のステータスを通知するパソコンの IP アドレス (IPv6) を設定します。

お知らせ

- IPv6 の IP アドレス入力方法は、「数値の入力方法」(☞ 70 ページ) をご覧ください。
- IPv6 の通知先 IP アドレスの初期値は空欄になります。

保存

上記で設定したパスワードをコントロールボックス本体に保存します。

お知らせ

- 一度設定すると、本設定を表示するにはパスワードの入力が必要です。
- 本設定を「オン」に設定する場合、「管理者アカウント設定」を設定しておく必要があります。
- PJLink での制御を行う場合、本設定を「オン」にする以外に、「ネットワークコントロール」を「オン」に設定する必要があります。
- 本設定のパスワードは、「LAN 設定」のパスワードとは別の独立したものになります。

■ AMX D. D.

AMX デバイスディスカバリーで検知するかを設定します。

オフ： AMX デバイスディスカバリーによる検知を無効にします。

オン： AMX デバイスディスカバリーによる検知を有効にします。

- ・ 詳細は下記の WEB サイトを参照してください。
<http://www.amx.com/>

お知らせ

- 本設定を「オン」に設定する場合、「管理者アカウント設定」を設定しておく必要があります。
- IPv6 設定で通信している場合、本機能は無効になります。

■ Crestron Connected

この機能を「オン」に設定すると、Crestron Electronics, Inc. 製の機器やアプリケーションソフトを使用して、ネットワーク経由で本機の監視や制御を行うことができます。

本機は Crestron Electronics, Inc. 社の下記アプリケーションソフトに対応しています。

- Crestron Fusion

Crestron Connected は、ネットワークに接続された複数の様々な機器を、管理・制御する Crestron Electronics, Inc. 製のシステムに接続できる機能です。

- Crestron Connected の詳細については、Crestron Electronics, Inc の WEB サイトを参照してください。(英語表示のみとなります。)
URL <http://www.crestron.com/>

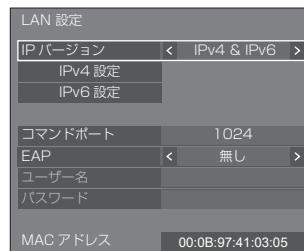
お知らせ

- IPv6 設定で通信している場合、本機能は無効になります。

■ LAN 設定

IPv4/IPv6 の設定を行います。

▲▼で「LAN 設定」を選び、<決定>を押します。



IP バージョン

LAN の動作モードを設定します。

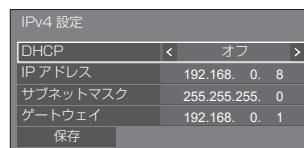
IPv4： IPv4 モードで動作します。

IPv6： IPv6 モードで動作します。

IPv4 & IPv6 : IPv4・IPv6 モードの両方で動作します。

IPv4 設定

IPv4 の詳細なネットワーク設定ができます。



DHCP / IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイ

① ▲▼で「DHCP」の「オン」「オフ」を設定する
「オフ」を選択すると IP アドレスなどを手動で設定できます。

DHCP :

(DHCP クライアント機能)

オン： ディスプレイを接続するネットワークに DHCP サーバーが存在する場合、自動的に IP アドレスを取得します。

オフ： ディスプレイを接続するネットワークに DHCP サーバーが存在しない場合、「IP アドレス」「サブネットマスク」「ゲートウェイ」を手動で設定してください。

IP アドレス :

(IP アドレスの表示および設定)

DHCP サーバーを利用しない場合に IP アドレスを入力します。

サブネットマスク :

(サブネットマスクの表示および設定)

DHCP サーバーを利用しない場合にサブネットマスクを入力します。

ゲートウェイ :

(ゲートウェイアドレスの表示および設定)

DHCP サーバーを利用しない場合にゲートウェイアドレスを入力します。

お知らせ

- 「DHCP」を「オン」に設定すると IP アドレスなどはグレー表示になります。

数値の入力方法

IP アドレス
192.168.0.000.008

- 1) 設定するアドレスを選んで <決定> を押す
- 2) ◀▶ で桁を選ぶ。
- 3) ▲▼ で数値を変更する。
- 4) <決定> を押す。
<戻る> を押すと数値の変更をキャンセルできます。

② 「保存」を選んで <決定> を押す

現在のネットワーク設定を保存します。

お知らせ

- DHCP サーバーを利用する場合、DHCP サーバーが立ち上がっていることを確認してください。
- IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 工場出荷時、あらかじめ下記のように設定されています。

DHCP : オフ

IP アドレス : 192.168.0.8

サブネットマスク : 255.255.255.0

ゲートウェイ : 192.168.0.1

IPv6 設定

IPv6 の詳細なネットワーク設定ができます。

- ① ◀▶ で「自動設定」・「一時アドレス」の「オン」「オフ」を設定する

IPv6 設定
自動設定 < オフ >
一時アドレス < オフ >
IP アドレス 2001:0d0d:1111:ffff:1111:ffff:1111:ffff
プレフィックス長 < 64 >
ゲートウェイ 2001:0d0d:1111:ffff:1111:ffff:1111:aaaa
保存

自動設定

IPv6 での IP 自動設定を行うかどうかを設定します。

オン : IP アドレスを自動的に取得します。

オフ : IP アドレスを手動で設定します。

一時アドレス

「自動設定」が「オン」のときに、一時 IP アドレスを使用するかどうかを設定します。

オン : 一時アドレスを使用します。

オフ : 一時アドレスを使用しません。

IP アドレス

(IPv6 アドレスの表示および設定)

「自動設定」が「オフ」のときに、IP アドレスを入力します。

プレフィックス長

「自動設定」が「オフ」のときに、プレフィックス長（ネットマスク）を設定します。

ゲートウェイ

(ゲートウェイアドレスの表示および設定)

「自動設定」が「オフ」のときに、ゲートウェイアドレスを入力します。

お知らせ

- IPv6 設定での IP アドレス、ゲートウェイの初期値は空欄になります。

- 「自動設定」を「オン」に設定すると IP アドレスなどはグレー表示になります。

数値の入力方法

- IPv6 アドレス設定時

IP アドレス				
1 2 3 a b				
4 5 6 c d				
7 8 9 e f				
:	0	1 文字削除	全削除	確定

- 1) 設定するアドレスを選んで <決定> を押す。
- 2) 設定する数値を ▲▼◀▶ で選んで <決定> を押す。
- 3) 「確定」を選んで <決定> を押す。

② 「保存」を選んで <決定> を押す

現在のネットワーク設定を保存します。

コマンドポート

コマンドコントロールで使用するポート番号を設定します。

「コマンドポート」を選んで <決定> を押し、数値を設定する

- 設定できる範囲は 1024 ~ 65535 です。

- 数値の入力方法については「数値の入力方法」(☞ 70 ページ) を参照してください。

お知らせ

- PJLink プロトコルを使用する場合は、ポートの設定は必要ありません。

EAP

RADIUS サーバーに設定されている EAP を選択します。EAP が設定されていない場合は「無し」に設定してください。

設定可能な EAP の種類は次のとおりです。

「PEAP(MS-CHAPv2)」、「PEAP(GTC)」、「EAP-TTLS(MD5)」、「EAP-TTLS(MS-CHAPv2)」、「EAP-FAST(MS-CHAPv2)」、「EAP-FAST(GTC)」、「EAP-TLS」

ユーザー名

認証に使用するユーザー名を半角英数字（スペースを除く）で入力します。（最大 64 文字）

「EAP」が「無し」または「EAP-TLS」以外の場合に設定できます。

パスワード

認証に使用するパスワードを半角英数字で入力します。（最大 64 文字）

「EAP」が「無し」または「EAP-TLS」以外の場合に設定できます。

お知らせ

- EAP を使用する場合、RADIUS サーバーの設定に合わせて本機を設定する必要があります。
RADIUS サーバーの設定についてはネットワーク管理者にご確認ください。
- 「EAP」が「EAP-TLS」の場合、「日付と時刻」の設定（[66 ページ](#)）と、WEB ブラウザーコントロールから証明書の登録を行ってください。
([95 ページ](#))

MAC アドレス

本機の MAC アドレスを表示します。

■ ネットワークステータス (IPv4)

現在の IPv4 ネットワークの設定状態を確認します。

ネットワークステータス (IPv4)	
DHCP	オフ
IP アドレス	192.168.0.8
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.0.1
EAP	無し
MAC アドレス	12:34:56:78:9A:BC

■ ネットワークステータス (IPv6)

現在の IPv6 ネットワークの設定状態を確認します。

お知らせ

- 「IPv6 設定」 - 「自動設定」の「オン」「オフ」によって表示項目が変わります。

自動設定：オフ時

ネットワークステータス (IPv6)	
自動設定	オフ
リンクローカルアドレス	fe80::20b:97ff:fe41:305/64
IP アドレス	2001:db8:222:ffff:1111:ffff:1111:ffff/64
ゲートウェイ	2001:db8:222:ffff::1
DNS1	2001:db8:222:ffff::1
DNS2	2001:db8:222:ffff::2
MAC アドレス	00:0B:97:41:03:05

自動設定：オン時

ネットワークステータス (IPv6)	
自動設定	オン
リンクローカルアドレス	fe80::20b:97ff:fe41:305/64
ステートフルアドレス	2001:db8:222:ffff:1111:ffff:1111:ffff/64
ステートレスアドレス	2001:db8:111:ffff:20b:97ff:fe41:305/64
一時アドレス	2001:db8:111:ffff:1111:ffff:1111:aaa1/64
ゲートウェイ	2001:db8:222:ffff::1
DNS1	2001:db8:222:ffff::1
DNS2	2001:db8:222:ffff::2
MAC アドレス	00:0B:97:41:03:05

リンクローカルアドレス

IPv6 でのリンクローカルの IP アドレスを表示します。

DNS1/2

IPv6 でのリンクローカルの IP アドレスを表示します。

ステートフルアドレス

IPv6 でのステートフルの IP アドレスを表示します。

ステートレスアドレス

IPv6 でのステートレスの IP アドレスを表示します。

一時アドレス

IPv6 での一時 IP アドレスを表示します。

お知らせ

- 「IPv6 設定」 - 「自動設定」が「オン」のときに「ステートレスアドレス」または「一時アドレス」を選択してく決定>を押すと一覧表示画面が表示されます。(最大 8 個表示)

ステートレスアドレス一覧画面

ステートレスアドレス	
2001:db8:1111:ffff:20b:97ff:fe41:305/64	
2001:db8:1111:eeee:20b:97ff:fe41:305/64	
2001:db8:1111:dddd:20b:97ff:fe41:305/64	
2001:db8:1111:cccc:20b:97ff:fe41:305/64	
2001:db8:1111:bbbb:20b:97ff:fe41:305/64	
2001:db8:1111:aaaa:20b:97ff:fe41:305/64	
2001:db8:1111:9999:20b:97ff:fe41:305/64	
2001:db8:1111:8888:20b:97ff:fe41:305/64	

一時アドレス一覧画面

一時アドレス	
2001:db8:1111:ffff:1111:ffff:1111:aaa1/64	
2001:db8:1111:eeee:1111:ffff:1111:aaa2/64	
2001:db8:1111:dddd:1111:ffff:1111:aaa3/64	
2001:db8:1111:cccc:1111:ffff:1111:aaa4/64	
2001:db8:1111:bbbb:1111:ffff:1111:aaa5/64	
2001:db8:1111:aaaa:1111:ffff:1111:aaa6/64	
2001:db8:1111:9999:1111:ffff:1111:aaa7/64	
2001:db8:1111:8888:1111:ffff:1111:aaa8/64	

■ DIGITAL LINK モード

DIGITAL LINK 端子の通信方式を切り換えることができます。

- オート :** 通信方式が自動的に選択されます。HDMI / LAN / シリアル通信を使用することができます。
イーサネット接続を行うことができます。
- DIGITAL LINK :** HDMI / LAN / シリアル通信は、ツイストペアケーブル伝送器を介して使用することができます。
- イーサネット :** LAN 通信を行います。
- ロングリーチ :** 通信方式がロングリーチに固定されます。

通信可能なモードについて

✓ : 通信可能

— : 通信不可

設定	通信可否			
	映像伝送 (100 m)	イーサ (150 m)	RS-232C	
オート	DIGITAL LINK の場合	✓	—	✓
	ロングリーチの場合	—	✓	✓
	イーサネットの場合	—	—	✓
DIGITAL LINK	DIGITAL LINK	✓	—	✓
	ロングリーチ	—	✓	✓
	イーサネット	—	—	✓

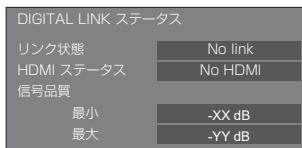
お知らせ

- 「ロングリーチ」の通信方式で接続した場合の最長伝送距離は 150 m です。ただし、その場合に本機が受像できる信号は 1080/60p (148.5 MHz) までになります。
- ツイストペアケーブル伝送器側の通信方式が「ロングリーチ」に設定されている場合、「DIGITAL LINK モード」を「オート」に設定すると、「ロングリーチ」の通信方式で接続します。別売品のデジタルリンクスイッチャー (ET-YFB200) との間を「ロングリーチ」の通信方式で接続する場合は、「DIGITAL LINK モード」を「ロングリーチ」に設定してください。
- 「DIGITAL LINK モード」を「ロングリーチ」に設定しても、ツイストペアケーブル伝送器が「ロングリーチ」の通信方式に対応していない場合は正常に接続できません。
- 「LAN 制御端子設定」が「LAN 端子」の場合は、「DIGITAL LINK モード」を「イーサネット」に設定しても動作しません。

■ DIGITAL LINK ステータス

DIGITAL LINK の接続環境を表示します。

▲▼で「DIGITAL LINK ステータス」を選んで
<決定>を押します。



リンク状態：

「No link」、「DIGITAL LINK」、「ロングリーチ」、「イーサネット」のいずれかが表示されます。

No link : LAN 接続無しなど

DIGITAL LINK : DIGITAL LINK 機器と LAN 接続中

ロングリーチ : 通信方式を「ロングリーチ」に設定した状態で、DIGITAL LINK 機器と LAN 接続中

イーサネット : 本機 DIGITAL LINK / LAN 端子にパソコンを接続して LAN 接続中

HDMI ステータス：

HDMI フォーマットの接続状況を表示します。

「No HDMI」、「HDMI ON」、「HDCP ON」のいずれかが表示されます。

No HDMI : DIGITAL LINK 非接続

HDMI ON : DIGITAL LINK 接続中

HDCP ON : HDCP 有りの信号が DIGITAL LINK 接続で流れています。

信号品質：

エラー発生量の最小値と最大値を数値化したもので、その数値によって表示色が赤／黄／青に変わります。

信号品質	表示色	受信状態
-12dB 以下	青色	正常に受信しています
-11 ~ -8dB	黄色	受信データの一部が破損しています
-7dB 以上	赤色	受信異常です

・ LAN ケーブルが断線している、またはケーブルがシールドされていない場合などは黄色または赤色の数値となります。

・ この信号品質は接続されたツイストペアケーブル伝送器とディスプレイとの間のものを表しています。

■ DIGITAL LINK メニュー

デジタルインターフェースボックスの設定メニューを表示します。

▲▼で「DIGITAL LINK メニュー」を選んで<決定>を押します。

お知らせ

● この機能は、当社製の DIGITAL LINK 出力対応機器（ET-YFB100, ET-YFB200）が DIGITAL LINK IN 端子に接続されていて、その電源が入っているときのみ選択することができます。

● 詳しくは、DIGITAL LINK 出力対応機器の取扱説明書をご覧ください。

■ Extron XTP

Extron 社製の「XTP トランシミッター」を DIGITAL LINK IN 端子に接続するときに「オン」に設定します。

- Extronについての情報は、下記の WEB サイトを参照してください。
<http://www.extron.co.jp/>

お知らせ

- 本項目を「オン」に設定する場合、「管理者アカウント設定」を設定しておく必要があります。

■ 自動ディスプレイ名

ディスプレイ名を自動的に変更するかどうかを設定します。

オフ：自動的にディスプレイ名は変更しません。

オン：ディスプレイ ID の設定値に従い自動的にディスプレイ名を変更します。

■ ディスプレイ名設定

ネットワーク上で、表示される本機の名前を変更することができます。

お知らせ

- 「自動ディスプレイ名」が「オフ」の場合のみ、名前の変更を行うことができます。
- 「ネットワーク設定」 - 「リセット」では、ディスプレイ ID は、初期値に設定されません。

■ USB メモリーでのネットワーク設定

USB メモリーを使用したネットワークの設定を許可するかを設定します。（☞ 136 ページ）

許可：USB メモリーでのネットワーク設定を許可します。

禁止：USB メモリーでのネットワーク設定を禁止します。

お知らせ

- 工場出荷時、本機能は「許可」に設定されています。
- 一度 USB メモリーでネットワーク設定を行うと、本機能は「禁止」に設定されます。

■ LAN 制御プロトコル

LAN 制御のプロトコルを選択します。

プロトコル 1 Panasonic ディスプレイのシーケンスで制御します。

プロトコル 2 Panasonic プロジェクターと互換性のあるシーケンスで制御します。

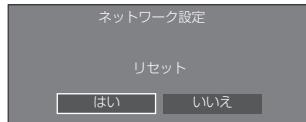
お知らせ

- PJLink と WEB ブラウザーコントロールについては、設定に関わらず動作可能です。
- 複数台監視制御ソフトウェアを動作させる場合には、「プロトコル 2」を選択してください。

■ リセット

ネットワークの設定を工場出荷状態に戻します。

◀▶ で「はい」を選び、<決定>を押します。



お知らせ

- 「NTP 同期」、「NTP サーバー」、「タイムゾーン」の設定も工場出荷状態に戻ります。
- 「セキュリティーパスワード」 - 「セキュリティーパスワード」が「オン」の場合は、「リセット」を実行する際にパスワードを入力する必要があります。

USB メディアプレーヤー設定

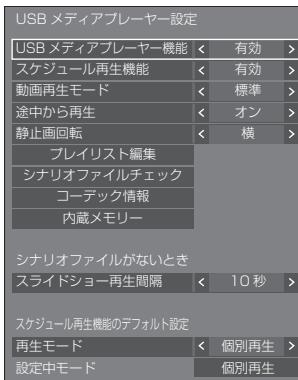
USB メディアプレーヤー機能について設定します。

USB メディアプレーヤー機能について詳しくは、「USB メディアプレーヤーを使う」(☞ 112 ページ) をご覧ください。

お知らせ

- 「使用メモリー選択」の設定内容により、アクセスするデバイスが異なります。「USB」が選択されている場合は、USB 端子に挿入されている USB メモリーを、「内蔵メモリー」が選択されている場合は、内蔵のメモリーを使用します。

「USB メディアプレーヤー設定」サブメニュー画面



■ USB メディアプレーヤー機能

USB メディアプレーヤーの機能を有効または無効に設定します。

■ スケジュール再生機能

コンテンツマネジメントソフトウェアによるスケジュール再生機能を有効または無効に設定します。

お知らせ

- 「スケジュール再生機能」が「有効」のとき、USB メモリーに、従来の USB メディアプレーヤーのシナリオファイルと、本機能のスケジュールファイルがどちらも存在する場合、「スケジュール再生機能」の動作が優先されます。
- スケジュール再生モード中は「USB メディアプレーヤー機能」の変更はできません。

■ 動画再生モード

動画再生モードを設定します。

「標準」モードでの再生時、動画ファイル間のつなぎ目で映像の乱れ等が発生する場合は、「補正」モードに切り換えてご使用ください。

標準： 動画ファイル間のつなぎ目を黒画無しで再生します。

補正： 動画ファイル間のつなぎ目に黒画（約 2 秒）を挿入して再生します。

お知らせ

- マルチメディアプレーヤー時は、「動画再生モード」の設定に関係なく動画ファイル間のつなぎ目に黒画面が一定時間表示されます。
- 標準再生時、ファイルのつなぎ目で画面が乱れることがあります。
- コンテンツマネージメントソフトウェアでのスケジュール再生中の場合、シングルモードとマルチモードどちらの場合でも、「動画再生モード」の切り換えが有効となります。

■途中から再生

途中から再生機能をオフまたはオンに設定します。

■静止画回転

USB/Internal Memory 入力の静止画について、表示方法を設定します。

横：静止画を横向きに表示します。

縦：静止画を縦向きに表示します。

Exif 情報：ファイルの情報に従って回転表示します。

お知らせ

- 「Exif 情報」は Exif 情報が付加された JPEG フォーマットでのみ回転動作します。
Exif 情報が検出されない JPEG フォーマット時、あるいは BMP フォーマット時には、「横」選択時の動作をします。

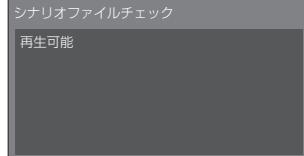
■プレイリスト編集

シナリオファイル (scenario.dat) を作成・編集します。プレイリスト編集の詳細については、「プレイリスト編集機能」(☞ 119 ページ) をご覧ください。

■シナリオファイルチェック

「使用メモリー選択」で選択されているメモリーのチェックを実行します。エラーが検出された場合は、エラーコードとファイル名が表示されます。
エラーコードの詳細については「USB メモリー内容チェック」(☞ 117 ページ) をご覧ください。

▲▼で「シナリオファイルチェック」を選び、<決定>を押します。



お知らせ

- コンテンツマネージメントソフトウェアでのスケジュール再生中の場合、「シナリオファイルチェック」は無効となります。

■コーデック情報

USB メディアプレーヤーで再生中の動画・静止画ファイルのコーデック情報を表示します。

実行するとファイルを解析し、解析完了後にコーデック情報が表示されます。

お知らせ

- ファイルの解析には、USB メモリー内のファイルの数に比例した解析時間がかかります。
- 解析中は、再生を停止するため黒画面になります。
- スケジュール再生モードには非対応です。

■内蔵メモリー

内蔵メモリー内のデータ操作を行います。

お知らせ

- 操作の対象になる「内蔵メモリー」は、USB メディアプレーヤーで使用されるものです。
- 内蔵メモリーを使用される場合は、「使用メモリー選択」を参照してください。(☞ 83 ページ)
- 内蔵メモリーの容量は、約 3 GB です。

「内蔵メモリー」サブメニュー画面



USB メモリーからコピー :

USB メモリーから内蔵メモリーにデータをコピーします。

データ全消去 :

内蔵メモリー内のデータを消去します。

■スライドショー再生間隔

静止画像の表示時間を選択します。

10 秒～600 秒

お知らせ

- コンテンツマネージメントソフトウェアでのスケジュール再生中の場合、「スライドショー再生間隔」は無効となります。

■再生モード

「スケジュール再生機能」で動作中の再生モードの指定を行います。スケジュール再生の動作に反映するためには、本機の再起動が必要です。

また、スケジュール再生中に、コンテンツマネージメントソフトウェアのスケジュールデータに再生モードの指定があった場合は、そちらを優先して動作します。

個別再生：個別再生モードで再生します。

コンテンツはディスプレイ1台での単独再生となります。

同期再生：同期再生モードで再生します。

複数台のディスプレイで同期して再生します。

ただし、再生タイミングを合わせるために、コンテンツの切り換わり時に約5秒間の準備時間が追加されます。

お知らせ

- 同期再生は「日付と時刻」・「ディスプレイ間同期」が「オン」で、時刻が同期している場合のみ正しく動作します。
- 設定中モードは、本機によるスケジュール再生時の再生モードを表示します。
- IPv6 設定で通信している場合、同期再生はできません。

メモリービューアー設定

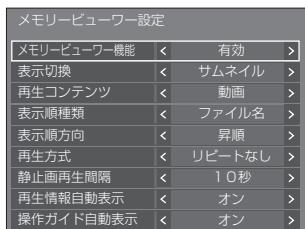
メモリービューアー機能について設定します。

メモリービューアー機能について詳しくは、「メモリービューアーを使う」(☞124ページ)をご覧ください。

お知らせ

- 「使用メモリー選択」の設定内容により、アクセスするデバイスが異なります。「USB」が選択されている場合は、USB端子に挿入されているUSBメモリーを、「内蔵メモリー」が選択されている場合は、内蔵のメモリーを使用します。

「メモリービューアー設定」サブメニュー画面



■メモリービューアー機能

メモリービューアーの機能を有効または無効に設定します。

■表示切換

USBメモリーまたは内蔵メモリー内のコンテンツ表示形式をサムネイルまたはリストに設定します。

■再生コンテンツ

表示するコンテンツの種類を設定します。

オール：静止画、動画、音楽すべてのファイルを表示します。

静止画／動画：静止画ファイルと動画ファイルを表示します。

静止画／音楽：静止画ファイルと音楽ファイルを表示します。

動画／音楽：動画ファイルと音楽ファイルを表示します。

静止画：静止画ファイルのみ表示します。

動画：動画ファイルのみ表示します。

音楽：音楽ファイルのみ表示します。

■表示順種類

「表示順方向」と組み合わせてコンテンツの並び順を設定します。

■表示順方向

「表示順種類」と組み合わせてコンテンツの並び順を設定します。

■再生方式

コンテンツの再生方式を設定します。

リピートなし：選択ファイルの再生が終了するとコンテンツ表示画面に自動的に戻ります。

1ファイル繰り返し：選択ファイルを連続再生します。

全ファイル繰り返し：コンテンツ表示画面に表示されたコンテンツを表示された順に連続再生します。

ランダム：コンテンツ表示画面に表示されたコンテンツをランダムに再生します。

選択：選択したファイルをコンテンツ表示画面内の並び順に再生します。

プログラム：選択したファイルを選択した順に再生します。

■静止画再生間隔

静止画ファイルの表示時間を設定します。

10秒～600秒

■再生情報自動表示

「オン」の場合、コンテンツ再生開始時にコンテンツ情報を自動表示し、一定時間経過後に自動消去します。

■操作ガイド自動表示

「オン」の場合、コンテンツ再生開始時に操作ガイドを自動表示し、一定時間経過後に自動消去します。また、再生中の制御(☞127ページ)は操作ガイド表示中のみ動作し、操作ガイドが表示されていない場合は再生制御を行わずに操作ガイドを表示します。「オフ」の場合、コンテンツ再生開始時に操作ガイドを表示しません。また、操作ガイドの表示／非表示に関わらず再生制御を行います。

お知らせ

- 「再生方式」が「1 ファイル繰り返し」の場合、再生情報や操作ガイドが自動表示されるのは 1 回目のコンテンツ再生開始時のみとなります。
- 「再生方式」が「選択」または「プログラム」の場合、選択できるファイルは 99 個までとなります。
- コンテンツ再生中は本メニューはグレー表示になり設定できません。

Screen Transfer 設定

「Screen Transfer 設定」サブメニュー画面

Screen Transfer 設定		
Screen Transfer 機能	< 有効 >	
割り込み	< オフ >	
PIN コード	< オン >	

■ Screen Transfer 機能

当社の専用アプリケーション「Screen Transfer」を使用して映像を表示する機能を有効または無効に設定します。

■ 割り込み

Screen Transfer を使用して映像表示中に、他のユーザーによる映像の割り込みを許可するかどうかを設定します。

オフ：映像の割り込みを無効にします。

オン：映像の割り込みを有効にします。

■ PIN コード

Screen Transfer を使用して本機に接続しようとしたりときに、PIN コードの入力を必要とするかどうかを設定します。

オフ：PIN コードの入力を不要にします。

オン：PIN コードの入力を必要にします。

お知らせ

- IPv6 設定で通信している場合、本機能は動作しません。

ワイヤレスプレゼンテーション設定

ワイヤレスプレゼンテーションシステム接続時の設定を行うメニューです。

詳細は下記のサポートサイトの取扱説明書を参照してください。

(<https://archives.connect.panasonic.com/prodisplays/pressit/>)

「ワイヤレスプレゼンテーション設定」サブメニュー画面

ワイヤレスプレゼンテーション設定		
背景色設定	< 黒 >	
日時表示設定	< Y/M/D >	
言語連動	< 有効 >	

ファンクション設定

リモコンの数字ボタン（<1>～<6>）の機能を設定します。よく使う操作をボタンに割り当てることで、ショートカットボタンとして使用できます。

1 ▲▼ で数字ボタンを選び、<決定>を押す

「ファンクション設定」サブメニュー画面

ファンクション設定		
ファンクション 1	HDMI1	
ファンクション 2	HDMI2	
ファンクション 3	HDMI3	
ファンクション 4	Screen Transfer	
ファンクション 5	USB/Internal Memory	
ファンクション 6	MEMORY VIEWER	
ファンクションガイド	< オン >	

2 ◀▶ で「グループ」を切り換える

ファンクション 1		
グループ	< 入力切換 >	
入力切換	< HDMI1 >	

3 ▲▼ で機能（入力切換 / メモリー呼出 / ショートカット）を選び、◀▶ で割り当てる機能を設定する

数字ボタンに割り当てる機能

入力切換（ダイレクト入力選択）

入力をワンタッチで選択できます。

HDMI1 / HDMI2 / HDMI3 / SLOT1 / SLOT2 / Screen Transfer / USB/Internal Memory / MEMORY VIEWER / ---

メモリー呼出

メモリーをワンタッチで呼び出します。

「メモリーを呼び出す」（[46 ページ](#)）をご覧ください。

MEMORY1 / MEMORY2 / MEMORY3 / MEMORY4 / MEMORY5 / MEMORY6 / ---

（お知らせ）

- 選択肢は、「メモリー保存」で設定した名称で表示されます。（[46 ページ](#)）

ショートカット（アクション・メニュー画面表示）

信号モード、スクリーンセーバー、タイマー設定、パワーマネージメント設定、ネットワーク設定、マルチ画面設定、---

• 数字ボタンを押すとメニュー画面を表示します。
もう一度数字ボタンを押すとメニュー画面が消えます。

電源オフ

- 数字ボタンを押すと電源を「切」にします。

電源オン

- 数字ボタンを押すと電源を「入」にします。

AV ミュート

- ・ 数字ボタンを押すと音声や映像をミュートします。解除するにはリモコンの電源ボタン以外を押してください。

デジタルズーム

- ・ 数字ボタンを押すとデジタルズームモードになります。(☞ 36 ページ)

ディスプレイ ID / ディスプレイ名

- ・ 数字ボタンを押すとディスプレイ ID とディスプレイ名を拡大表示します。

HDMI-CEC 操作

- ・ 数字ボタンを押すと HDMI-CEC 対応機器の操作画面を表示します。

プレイリスト編集

- ・ 数字ボタンを押すとプレイリスト編集画面を表示します。(☞ 119 ページ)

マルチ画面切換

- ・ 数字ボタンを押すと「マルチ画面設定」 - 「マルチスクリーン表示」の「オン」「オフ」を切り替えます。

USB 接続切換

- ・ 数字ボタンを押すと USB 端子の接続先を「内部」、「SLOT1」または「SLOT2」に切り替えます。

お知らせ

- ファンクション「USB 接続切換」で設定した接続先は、電源オフ / 入力切換の操作で「動作設定」 - 「USB 接続先設定」(☞ 83 ページ) の設定値に戻ります。
- 本機能は、HDMI1 / HDMI2 / HDMI3 / Screen Transfer / USB / Internal Memory / MEMORY VIEWER 入力では動作しません。

工場出荷時の設定

工場出荷時は次のように数字ボタンに機能が設定されています。

入力切換	
1	HDMI1
2	HDMI2
3	HDMI3
4	Screen Transfer
5	USB /Internal Memory
6	MEMORY VIEWER

■ ファンクションガイド

数字ボタンを押したときの機能表示を設定します。ファンクショングループごとに設定してください。

オン： 数字ボタンの機能一覧を表示します。

オフ： 機能一覧を表示しません。数字ボタンを押すと動作を行います。

お知らせ

- <ファンクション> を押したときは、設定のオフ／オンにかかわらずファンクションガイドを表示します。

ショートカットボタン（数字ボタン）の使い方

1 <ファンクション> または <1> ~ <6> を押す

ファンクションガイドが表示されます。

ファンクションガイド：オフのときは、数字ボタンを押すと機能が働きます。

例：入力切換

ファンクション	
1	HDMI1
2	HDMI2
3	HDMI3
4	Screen Transfer
5	USB/Internal Memory
6	MEMORY VIEWER

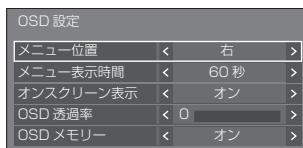
2 <1> ~ <6> を押す

押したボタンの機能が働きます。

OSD 設定

オンスクリーンメニューについて各種設定を行います。

「OSD 設定」サブメニュー画面



■ メニュー位置

オンスクリーンメニューの表示位置を設定します。

◀または▶を押すたびにオンスクリーンメニューの表示位置が変わります。

表示例：



左



中央

■ メニュー表示時間

オンスクリーンメニューの表示時間を設定します。

5 秒～180 秒

■ オンスクリーン表示

電源オン表示、入力切り換え表示、無信号表示、外部メディア無し表示（USB 入力時）、メニュー画面表示後の消音表示、オフタイマー3 分前の残時間表示、また、外部制御からのコマンド応答時の表示を行わなくすることができます。

オン：表示にします。

オフ：非表示にします。

■ OSD 透過率

オンスクリーンメニュー表示の背景の透過率を設定します。

0～100

お知らせ

- ウォームアップ動作実行中は「OSD 透過率」機能が「無効（オフ）」となります。

■ OSD メモリー

メニュー画面のカーソル位置を保持するかどうかを設定します。

オフ：カーソル位置を保持しません。

オン：カーソル位置を保持します。

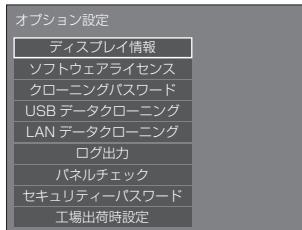
お知らせ

- 「オン」に設定している場合でも、本機の電源をオフにすると、カーソル位置は保持されません。

オプション設定

本機の情報を表示したり、データを工場出荷時の状態に戻したりするメニューです。

「オプション設定」サブメニュー画面



■ディスプレイ情報

本機のシリアル番号、ソフトウェアバージョンと使用時間を表示します。

■ソフトウェアライセンス

ソフトウェアライセンスを表示します。

■クローニングパスワード

クローニング機能のパスワードを設定します。

詳しい設定方法については、「クローニングパスワードを変更する」(☞ 135 ページ) をご覧ください。

お知らせ

- 工場出荷時の初期パスワードは、「AAAA」です。
- パスワードは定期的に変更し、推測されにくいものにしてください。
- クローニングパスワードの初期化方法については、販売店にご相談ください。

■USB データクローニング、LAN データクローニング

USB メモリーを使用または LAN 経由で、1 台のディスプレイのデータを複数台のディスプレイにコピーします。詳しい設定方法については「データクローニングを使う」(☞ 132 ページ) をご覧ください。

■ログ出力

USB メモリーにサービス用ログを保存します。

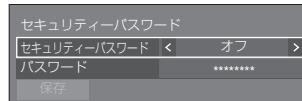
■パネルチェック

LED パネルの不灯数情報を取得します。

お知らせ

- LED パネルの不灯情報取得処理中、LED ディスプレイの画面が一時的にブラックアウトすることがあります。

■セキュリティーパスワード



セキュリティーパスワード

オフ：セキュリティーパスワードの制御を無効にします。

オン：セキュリティーパスワードの制御を有効にします。

パスワード

パスワード設定のキーボードが表示されます。パスワードを入力後に「確定」を選択すると確認画面が表示されます。再度パスワードを入力して「確定」を選択するとパスワードが決定されます。

- 文字の入力方法は「文字入力について」(☞ 139 ページ) をご覧ください。

保存

上記で設定した内容をコントロールボックス本体に保存します。

お知らせ

- 工場出荷時の初期パスワードは、「1111」です。
- セキュリティーパスワードは「工場出荷時設定」および「ネットワーク設定」 - 「リセット」を行う際に用いられます。
- パスワードは定期的に変更し、推測されにくいものにしてください。
- セキュリティーパスワードの初期化方法については、販売店にご相談ください。

■工場出荷時設定

本機のデータを工場出荷時の状態に戻します。詳しい設定方法については「工場出荷時の設定に戻すには」(☞ 143 ページ) をご覧ください。

コントロール設定

複数台のディスプレイを同時に、または個別に制御する機能について各種設定を行います。

お知らせ

- DIGITAL LINK 関連のメニューは、機能拡張用スロット (SLOT1 または SLOT2) に DIGITAL LINK 端子ボードが取り付けられている場合に表示します。

「コントロール設定」サブメニュー画面

コントロール設定		
シリアル制御	< SERIAL IN >	
ディスプレイ ID	< 0 >	
リモコン ID 機能	< オフ >	
シリアル ID 機能	< オフ >	
応答（通常制御）	< オン >	
応答（シリアル ID オール）	< オフ >	
シリアル ID グループ	< A >	
応答（シリアル ID グループ）	< オフ >	
シリアルデイジーチェーン接続位置	< -- >	

■シリアル制御

RS-232C での制御端子を選択します。

SERIAL IN : 本機の SERIAL IN 端子を使って制御します。

SLOT1 : 本機の SLOT1 に挿入したファンクションボードを経由して制御します。

SLOT2 : 本機の SLOT2 に挿入したファンクションボードを経由して制御します。

■ディスプレイ ID

「リモコン ID 機能」「シリアル ID 機能」でディスプレイ本体の制御を行うときの ID 番号を設定します。

0 ~ 100 (標準値: 0)

■リモコン ID 機能

リモコン ID 機能の有効 / 無効を設定します。

オフ : リモコン ID 機能を無効にします。(通常のリモコンとして操作できます)

オン : リモコン ID 機能を有効にします。「オン」に切り替えと同時に有効になります。

お知らせ

- リモコン ID 機能を使うときは、リモコンの ID 番号とディスプレイ本体の ID 番号の設定が必要です。リモコンの ID 番号の設定は 138 ページをご覧ください。

- 設定を標準値に戻す方法については、「リモコン操作制限の設定を標準値に戻すには」(☞ 143 ページ) をご覧ください。

■シリアル ID 機能

SERIAL (シリアル) 端子に接続したパソコンからの外部制御をディスプレイの ID 番号により制御する設定をします。

オフ : ID による外部制御を無効にします。

オン : ID による外部制御を有効にします。

■応答（通常制御）

ID なしの通常のコマンドに対して応答コマンドを返すかどうかを設定します。

オフ : 応答を返しません。(問い合わせコマンドを含む)

オン : 応答を返します。

■応答（シリアル ID オール）

ID 番号「0」のシリアルコマンドを受信したときに応答コマンドを返すかどうかを設定します。

オフ : 応答を返しません。

オン : 応答を返します。

■シリアル ID グループ

マルチ画面などで複数のディスプレイをシリアル通信で同時に制御する場合に、ディスプレイを 1 つのグループに設定します。

A ~ G (7 グループ)

■応答（シリアル ID グループ）

グループ指定のシリアルコマンドを受信したときに応答コマンドを返すかどうかを設定します。

オフ : 応答を返しません。

オン : 応答を返します。

■シリアルデイジーチェーン 接続位置

本機を DIGITAL LINK 経由デイジーチェーン接続でシリアル制御する場合、デイジーチェーン接続の先頭と終端を設定します。

-- : 本機を単体でシリアル制御する場合またはデイジーチェーンの先頭・終端以外の場合。

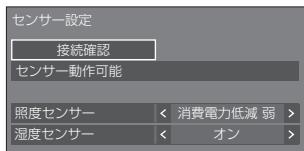
先頭 : デイジーチェーンの先頭に接続する場合。

終端 : デイジーチェーンの終端に接続する場合。

センサー設定

電源ボックスに接続しているセンサーモジュールの接続確認・設定を行います。

「センサー設定」サブメニュー画面



■接続確認

センサーの接続確認を実施します。

状態により、次のメッセージを表示します。

状態	表示
接続	センサー動作可能
接続していない	センサーの接続を確認してください。
場合	

お知らせ

- 「センサー動作可能」と表示されてから設定を行ってください。

■照度センサー

照度センサーの動作を設定します。

オフ：動作しません。

消費電力低減 弱、強：

視聴環境に応じて LED の明るさを自動調整します。

強：明るい環境に適した調整をします。

弱：暗い環境に適した調整をします。

■湿度センサー

湿度センサーの動作を設定します。

オフ：動作しません。

オン：動作します。

パネル設定

LED パネルの焼き付き現象に対して、均一に映像が見えるように LED パネルの劣化度合を推定し自動補正を行います。



ピクセルキャリブレーション：

LED パネルの劣化度合の算出と自動補正を行います。

ピクセルキャリブレーションレベル：

自動補正処理における補正度合を設定します。

オフ：自動補正処理は行いません。(LED パネルの劣化度合のみ算出します。)

低：算出した劣化度合に対して -4% の補正值で自動補正を行います。

中：算出した劣化度合に対して -2% の補正值で自動補正を行います。

高：算出した劣化度合にしたがって自動補正を行います。

情報通知タイミング

無信号時の警告・エラーや周囲温度の上昇をお知らせする機能を設定します。

RS-232C 制御：

警告・エラー情報を本機から自動で発信します。

LAN 制御：

警告・エラー情報を本機から取得できます。

「情報通知タイミング」サブメニュー画面



■無信号警告

「オン」に設定すると無信号警告を通知します。

■無信号警告タイミング

無信号警告の検出時間を設定します。

(範囲：01～60、間隔：1 分)

■無信号エラー

「オン」に設定すると無信号エラーを通知します。

■無信号エラータイミング

無信号エラーの検出時間を設定します。

(範囲：01～90、間隔：1分)

- 次の機能のいずれかが働いて無信号を検出した場合は、「無信号警告」と「無信号エラー」による警告・エラーは通知されません。

無信号自動オフ、各入力のパワーマネージメント
([57 ページ](#)をご覧ください。)

設定例)

- HDMI1 入力時に無信号を検出すると「HDMI1 パワーマネージメント」が先に働いてスタンバイになります。

無信号警告タイミング：5 分

無信号エラータイミング：10 分

HDMI1 パワーマネージメント：オン（60 秒）

お知らせ

- 「無信号エラータイミング」は「無信号警告タイミング」より短く設定できません。
- USB メモリーまたは内蔵メモリーを接続していても、再生できない場合は無信号と判断します。

■温度警告

「オン」に設定すると本機の温度警告を通知します。

動作設定

各種動作を設定します。

「動作設定」サブメニュー画面

動作設定		
使用メモリー選択	<	USB >
USB 接続先設定	< オート >	
LAN 制御端子設定	< LAN 端子 >	

■使用メモリー選択

使用するメモリーを選択します。

USB： USB メモリーを使用します。

内蔵メモリー： 内蔵メモリーを使用します。

■USB 接続先設定

USB 端子の接続先を設定します。

オート： 入力設定より接続先を切り替えます。

SLOT1： SLOT1 に接続

SLOT2： SLOT2 に接続

その他の入力： 本機内部システムに接続

SLOT1： SLOT1 に接続します。

SLOT2： SLOT2 に接続します。

内部： 本機内部システムに接続します。USB 端子と同じ動作となります。

お知らせ

- ファンクション「USB 接続切換」実行時、本設定は無効になります。再設定することで有効になります。

■LAN 制御端子設定

LAN 制御をする端子を選択します。

LAN 端子： 本体の LAN 端子より、制御を行います。

SLOT1：

SLOT1 の LAN 制御端子より、制御を行います。

SLOT2：

SLOT2 の LAN 制御端子より、制御を行います。

お知らせ

- DIGITAL LINK 端子ボードの LAN 制御端子は、LAN 制御のデイジーチェーン接続には対応していません。

制限設定

各種動作制限を設定します。

「制限設定」サブメニュー画面

制限設定		
最大音量設定機能	<	オフ >
最大音量設定	< 0 >	
リモコン操作制限	< オフ >	

■最大音量設定機能

最大音量設定機能の有効／無効を設定します。

オフ： 音量を「100」（最大値）まで設定できます。

オン： 「最大音量設定」で設定した音量以上にはなりません。

■最大音量設定

最大音量設定機能有効時の音量を設定します。

お知らせ

- メニューの「最大音量設定」を選択中で「オン」の状態のときは、設定されている音量で出力します。
- 「最大音量設定機能」を「オフ」から「オン」にしたとき、「最大音量設定」で設定した音量が「スタート音量設定」で設定した音量以下では強制的に「スタート音量設定」で設定した音量は「最大音量設定」で設定した音量になります。

■リモコン操作制限

リモコンのボタン操作を制限します。

オフ： ボタン操作を制限しません。

ユーザー1： 電源ボタン < 入力切換 > < 画面表示 > < 消音 > < 音量 -> < 音量 +> 以外のボタン操作はできません。

ユーザー2： 電源ボタン以外のボタン操作はできません。

ユーザー3： すべてのボタン操作はできません。

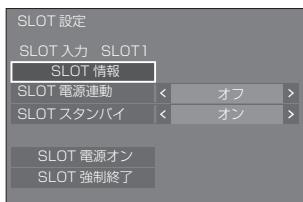
お知らせ

- 設定を標準値に戻す方法については、「リモコン操作制限の設定を標準値に戻すには」([143 ページ](#))をご覧ください。

SLOT 設定

SLOT1 および SLOT2 について、設定します。なお、本メニューは入力切換で直前に選択された SLOT 入力に対して情報表示または設定・制御を行います。

例) 入力切換で SLOT1 が直前に選択されていた場合のサブメニュー画面



■ SLOT 入力

「SLOT 入力」に表示している SLOT に挿入したファンクションボードの情報を表示します。

■ SLOT 情報

「SLOT 入力」に表示している SLOT に挿入したファンクションボードの情報を表示します。

■ SLOT 電源運動

「SLOT 入力」に表示している SLOT の電源動作と本機の電源動作を連動させます。

オフ：連動しません。

オン：「SLOT 入力」に表示している SLOT に入力切換した時に、挿入されているファンクションボードの電源がオフされたり、パワーセーブモードになると、本機の電源が切れます。その後、ファンクションボードの電源がオンされたり、パワーセーブモードから復帰すると本機の電源がります。

お知らせ

- 「HDMI-CEC 制御」が「有効」の場合、本メニューはグレー表示になり設定できません。(☞ 59 ページ)
- SLOT 電源運動に対応していないボード(例えば、DIGITAL LINK 端子ボードなど)が装着されている場合は、「SLOT 電源運動」がグレー表示になり設定できません。

■ SLOT スタンバイ

スタンバイ時、「SLOT 入力」に表示している SLOT への電源供給状態を設定します。

オフ：リモコンなどで電源オフ時、「SLOT 入力」に表示している SLOT に電源を供給しません。

オン：リモコンなどで電源オフ時、「SLOT 入力」に表示している SLOT に電源を供給します。

お知らせ

- 「SLOT スタンバイ」が「オン」の場合は、スタンバイ状態時の電源ランプは、橙色に点灯します。
- 「HDMI-CEC 制御」が「有効」の場合、本メニューはグレー表示になり設定できません。(☞ 59 ページ)
- DIGITAL LINK 端子ボードをご使用の場合は、「SLOT スタンバイ」を「オン」に設定してください。

■ SLOT 電源オン

「SLOT 入力」に表示している SLOT の電源を起動します。

■ SLOT 強制終了

「SLOT 入力」に表示している SLOT の電源を強制的に切ります。オペレーティングシステムの問題などにより手動で電源を切ることができない場合のみに使用してください。

ネットワーク機能を使う

本機はネットワーク機能を備えており、ネットワークに接続されたディスプレイをパソコンで制御することができます。

接続に必要なパソコン環境

はじめに、お使いのパソコンに LAN 機能が装備されているかどうかご確認ください。

本機とパソコンを接続する前に、必ず以下の設定をご確認ください。

チェック 1: LAN ケーブルについて

- ケーブルを正しく接続してください。
- LAN ケーブルは、カテゴリ 5e 以上に対応したものを使用してください。

チェック 2: 有線 LAN の設定

有線 LAN 機能が内蔵されているパソコン

- 有線 LAN を有効にしてください。

有線 LAN 機能が内蔵されていないパソコン

- 有線 LAN アダプターが正しく認識され、有効になっていることを確認してください。
- 事前に有線 LAN アダプターのドライバーをインストールしてください。
ドライバーのインストール方法は、有線 LAN アダプターの取扱説明書を参照してください。

■ WEB ブラウザーについて

WEB 制御を行うには WEB ブラウザーが必要です。

- 対応 OS : Windows、Mac OS
- 対応ブラウザー : Microsoft Edge (Windows)
Safari 10.0/11.0/12.0/13.0/
14.0 (Mac OS)

ネットワーク接続例

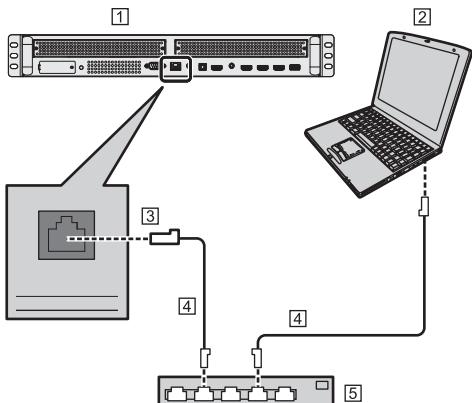
お知らせ

- ネットワーク機能をご利用になる場合は、「ネットワーク設定」の各設定を行い、「ネットワークコントロール」を必ず「オン」に設定してください。
(☞ 68 ページ)

「オン」に設定すると、リモコンで電源を「切」にしたとき（スタンバイ）、電源ランプが橙色点灯します。

- DIGITAL LINK IN / LAN 端子を LAN 制御に使用する場合は、「初期設定」 - 「動作設定」メニューの「[LAN 制御端子設定]」を DIGITAL LINK IN / LAN 端子が装着している SLOT を設定してください。

■ LAN 端子接続



① コントロールボックス（前面）

② パソコン

③ LAN 端子

④ LAN ケーブル（市販品）

⑤ ハブまたはブロードバンドルーター

お知らせ

- LAN ケーブルにはシールドケーブルをご使用ください。シールドケーブルをご使用にならない場合、映像にノイズが発生することがあります。
- ブロードバンドルーターやハブは、10BASE-T/100BASE-TX に対応していることをご確認ください。
- 静電気を帯びた手（体）で LAN 端子に触ると静電気の放電により故障の原因になります。
LAN 端子および LAN ケーブルの金属部に触れないようにしてください。
- 接続方法についてはネットワーク管理者にご相談ください。

コマンドコントロール

本機のネットワーク機能は、ネットワークからシリアル制御と同等に本機を制御することができます。

対応コマンド

シリアル制御で使用しているコマンドに対応しています。(☞ 23 ページ)

LAN 経由の制御コマンドについて

「初期設定」 - 「ネットワーク設定」メニューの「LAN 制御プロトコル」の設定が「プロトコル 1」か「プロトコル 2」かによって通信内容が異なります。

1. 「LAN 制御プロトコル」が 「プロトコル 1」の場合

ディスプレイ専用のプロトコルで通信を行います。

接続方法

- ディスプレイの IP アドレスとポート番号（初期設定値 = 1024）を取得してディスプレイへ接続を要求してください。
IP アドレスとポート番号は次のメニューから取得できます。
 - IP アドレス：「初期設定」 → 「ネットワーク設定」 → 「LAN 設定」または「ネットワークステータス」
 - ポート番号：「初期設定」 → 「ネットワーク設定」 → 「LAN 設定」
- 詳しい設定方法については 69 ページをご覧ください。

2 ディスプレイからの応答があります。

応答データ

データ部	空白	モード	空白	乱数部	終端記号
「PDPCONTROL」 (ASCII 文字列)	「」 0x20	「1」 0x31	「」 0x20	「zzzzzzzz」 (ASCII コード 16 進数) 10 バイト	(CR) 0x0d 1 バイト
				8 バイト	1 バイト

モード：1 = プロテクトモード

3 MD5 アルゴリズムを用いて、以下のデータから 32 バイトのハッシュ値を生成してください。

『zzzzzzzzyyyy』

zzzzzzzz : 手順 2 で取得した 8 バイトの乱数

yyyy : 「管理者アカウント設定」で設定したパスワード

コマンド送信方法

以下のコマンド形式にて送信してください。

送信データ

ヘッダー	制御記号	データ部	制御記号	終端記号
ハッシュ値 (「接続方法」 参照)	(STX) 0x02	制御コマ ンド (ASCII 文 字列)	(ETX) 0x03	(CR) 0x0d
32 バイト	1 バイト	不定長	1 バイト	1 バイト

受信データ

制御記号	データ部	制御記号	終端記号
(STX) 0x02	制御コマンド (ASCII 文 字列)	(ETX) 0x03	(CR) 0x0d
1 バイト	不定長	1 バイト	1 バイト

エラー応答

エラーメッセージ	終端記号
“ERR1”	未定義の制御コマンド (CR) 0x0d
“ERR2”	パラメーター範囲外
“ERR3”	ビジー状態または受け付け不可期間
“ERR4”	タイムアウトまたは受け付け不可期間
“ERR5”	誤ったデータの長さ
“PDPCONTROL”	パスワード不一致
“ERRA”	4 バイトまたは 15 バイト

2. 「LAN 制御プロトコル」が 「プロトコル 2」の場合

当社プロジェクターと同じプロトコルで通信を行います。

接続方法

- ディスプレイの IP アドレスとポート番号（初期設定値 = 1024）を取得してディスプレイへ接続を要求してください。
IP アドレスとポート番号は次のメニューから取得できます。
 - IP アドレス：「初期設定」 → 「ネットワーク設定」 → 「LAN 設定」または「ネットワークステータス」
 - ポート番号：「初期設定」 → 「ネットワーク設定」 → 「LAN 設定」
- 詳しい設定方法については 69 ページをご覧ください。

2 ディスプレイからの応答があります。

応答データ

データ部	空白	モード	空白	乱数部	終端記号
[INTCONTROL] (ASCII 文字列)	「」 0x20	「1」 0x31	「」 0x20	「zzzzzzz」 (ASCII コード 16進数)	(CR) 0x0d
9バイト	1バイト	1バイト	1バイト	8バイト	1バイト
モード：1 = プロテクトモード					

3 MD5 アルゴリズムを用いて、以下のデータから 32 バイトのハッシュ値を生成してください。

『xxxxxxxx:yyyyy:zzzzzzzz』

xxxxxx : 「管理者アカウント設定」で設定した
ユーザー名

yyyyy : 上記「管理者アカウント設定」で設定
したパスワード

zzzzzzzz: 手順2で取得した8バイトの乱数

コマンド送信方法

以下のコマンド形式にて送信してください。

送信データ

ヘッダー	データ部		終端記号
ハッシュ値 〔接続方法 参照〕	'0' 0x30	'0' 0x30	制御コマ ンド (ASCII 文 字列) (CR) 0x0d
32 バイト	1 バイト	1 バイト	不定長

受信データ

ヘッダー	データ部		終端記号
'0' 0x30	'0' 0x30	制御コマンド (ASCII 文字 列)	(CR) 0x0d
1 バイト	1 バイト	不定長	1 バイト

エラー応答

エラーメッセージ	終端記号
"ERR1"	未定義の制御コマンド
"ERR2"	パラメーター範囲外
"ERR3"	ビジー状態または受け付け不可期間
"ERR4"	タイムアウトまたは受け付け不可期間
"ERR5"	誤ったデータの長さ
"ERRA"	パスワード不一致
4 バイト	1 バイト

お知らせ

- いくつかのコマンドでは受信データに送信データの文字列の一部が含まれないものがあります。

- コマンドの詳細については販売店にご相談ください。
または、以下のサポートサイトをご参照ください。
パナソニック業務用ディスプレイホームページ
(<https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays>)

PJLink プロトコル

本機のネットワーク機能は PJLink クラス 1 およびクラス 2 に対応しており、PJLink プロトコルを使用してパソコンから下記のような操作ができます。

- ディスプレイの設定
- ディスプレイの状態問い合わせ

対応コマンド

PJLink プロトコルで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

クラス	コマンド	制御内容
1	POWR	電源制御 0: スタンバイ 1: 電源「入」
1	POWR?	電源状態問い合わせ 0: スタンバイ 1: 電源「入」
1,2	INPT	入力切り換え ※コマンド INST? のパラメーターを参照。
1,2	INPT?	入力切り換え問い合わせ ※コマンド INST? のパラメーターを参照。
1	AVMT	シャッター制御 10: 映像オン (映像ミュート解除) 11: 映像オフ (映像ミュート) 20: 音声オン (音声ミュート解除) 21: 音声オフ (音声ミュート) 30: シャッターモードオフ (映像ミュート、音声ミュート解除) 31: シャッターモードオン (映像ミュート、音声ミュート)
1	AVMT?	シャッター制御問い合わせ 11: 映像オフ (映像ミュート) 21: 音声オフ (音声ミュート) 30: シャッターモードオフ (映像ミュート、音声ミュート解除) 31: シャッターモードオン (映像ミュート、音声ミュート)

1	ERST?	エラー状態問い合わせ 1 バイト目: 0 2 バイト目: 0 3 バイト目: 0 4 バイト目: 0 5 バイト目: 0 6 バイト目: その他のエラーを意味し、0 または 2 のいずれか • 0、2 の各意味は以下の通り 0 = エラーを検知していない、 2 = エラー	2	INNM?	入力端子名称問い合わせ 入力端子名称を応答します。 31: HDMI1 32: HDMI2 33: HDMI3 34: SLOT1 35: SLOT2 41: USB / Internal Memory 42: MEMORY VIEWER 51: Screen Transfer
1,2	INST?	入力切り替え一覧問い合わせ 31: HDMI IN 1 入力 (HDMI1) 32: HDMI IN 2 入力 (HDMI2) 33: HDMI IN 3 入力 (HDMI3) 34: SLOT1 入力 (SLOT1) 35: SLOT2 入力 (SLOT2) 41: USB / Internal Memory 入力 (USB / 内蔵メモリー) 42: MEMORY VIEWER 入力 (MEMORY VIEWER) 51: Screen Transfer 入力 (Screen Transfer)	2	IRES?	入力信号解像度問い合わせ 入力信号解像度を応答します。
1	NAME?	ディスプレイ名問い合わせ ネットワーク設定のディスプレイ名設定の内容を応答します。	2	RRES?	推奨解像度問い合わせ “1920x1080”と応答します。
1	INF1?	メーカー名問い合わせ “Panasonic”と応答します。	2	SVOL	AUDIO OUT の音量または DIGITAL AUDIO OUT の音量 0 : 音を小さくします。 1 : 音を大きくします。
1	INF2?	機種名問い合わせ “110AD12AJ”と応答します。 (110V 型 AD12A の場合)	2	LKUP	リンクアップ通知 PJLink の通信が可能になったときに、MAC アドレスを応答します。
1	INFO?	その他情報問い合わせ バージョン番号を応答します。	2	SRCH	ディスプレイ検索 同一ネットワーク内に接続されている、PJLink クラス 2 の通信が可能な機器が、その MAC アドレスを応答します。
1	CLSS?	クラス情報問い合わせ “2”と応答します。			
2	SNUM?	シリアル番号 (コントロールボックス)問い合わせ コントロールボックスのシリアル番号を応答します。			
2	SVER?	ソフトウェアバージョン問い合わせ バージョン番号を応答します。			

PJLink セキュリティ認証

PJLink で使用するパスワードは、「PJLink 設定」 - 「パスワード」で設定してください。(☞ 68 ページ)
認証なしで使用する場合は、パスワードはなし（空欄）にしてください。

- PJLink に関する仕様については（社）ビジネス機械・情報システム産業協会の WEB サイトを参照してください。
URL <http://pjlink.jbmia.or.jp/>

複数台監視制御ソフトウェアについて

本機は、インターネット内にある機材（プロジェクターやディスプレイ）に対して、監視および制御を行う「複数台監視制御ソフトウェア」(Multi Monitoring & Control Software)に対応しています。

- ・詳細は下記のWEBサイトを参照してください。

([https://connect.panasonic.com/jp-ja/
prodisplays](https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays))

コンテンツマネージメントソフトウェアについて

本機は、静止画や動画を再生するために必要なスケジュールのデータを、パソコン上で作成するためのソフトウェア「コンテンツマネージメントソフトウェア」に対応しています。(Ver4.0.2以降に対応しています。)

- ・詳細は下記のWEBサイトを参照してください。

([https://connect.panasonic.com/jp-ja/
prodisplays](https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays))

Screen Transferについて

本機は、パソコンの画面をディスプレイへLANで送信するソフトウェア「Screen Transfer」に対応しています。

「Screen Transfer」はWEBブラウザーコントロールのダウンロード[Download]からダウンロードすることができます。

( 111ページ)

- ・詳細は下記のWEBサイトを参照してください。

([https://connect.panasonic.com/jp-ja/
prodisplays](https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays))

LAN で接続する

お知らせ

- ネットワーク機能をご利用になる場合は「ネットワーク設定」の各設定を行い、「ネットワークコントロール」を必ず「オン」に設定してください。
(☞ 68 ページ)

パソコンの操作

1 パソコンの電源をオンにする

2 ネットワーク管理者の指示に従い、ネットワークの設定を行う

本機の設定が工場出荷の状態 (☞ 143 ページ) であれば、パソコン側は下記ネットワーク設定でお使いいただけます。

IP アドレス	192.168.0.9
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.0.1

WEB ブラウザーコントロールを使う

WEB ブラウザーを使用して、本機の制御、ネットワーク設定、パスワード設定ができます。

WEB ブラウザーコントロールを使う前に

WEB ブラウザーコントロールを使うためには、本機の設定とパソコンの設定が必要になります。

■ WEB ブラウザーについて

本機の「ネットワーク設定」で各設定を行い、「ネットワークコントロール」を必ず「オン」に設定してください。
(☞ 68 ページ)

お知らせ

- 設定が「オフ」の場合でも、WEB ブラウザーコントロールの本機を制御しない画面（ディスプレイ情報 [Status]、詳細設定 [Detailed set up]、パスワード変更 [Change password]）は、動作します。

■ パソコンの設定

プロキシサーバーの設定を解除し、JavaScript を有効にしてください。

- 設定方法はバージョンにより異なります。各ソフトウェアのヘルプなどの説明を参照してください。
(Windows)

Windows 10 を例に説明しています。

プロキシサーバーの設定を解除する

- 1 [インターネットのプロパティ] ウィンドウを表示する。
[スタート] → [設定] → [ネットワークとインターネット] → [イーサネット] → [ネットワークと共有センター] → [インターネットオプション] をクリックする。
- 2 [接続] タブの [LAN の設定] をクリックする。
- 3 [自動構成スクリプトを使用する] と [LAN にプロキシサーバーを使用する] のチェックを外す。
- 4 [OK] をクリック

JavaScript を有効にする

- 1 [インターネットのプロパティ] ウィンドウを表示する。
[スタート] → [設定] → [ネットワークとインターネット] → [イーサネット] → [ネットワークと共有センター] → [インターネットオプション] をクリックする。
- 2 [セキュリティ] タブのセキュリティーレベルを [既定のレベル] にする。または [レベルのカスタマイズ] から [アクティブスクリプト] を有効にする。

(Mac)

プロキシサーバーの設定を解除する

- 1 [Safari] メニューの [環境設定...] をクリックする。
「設定」画面が表示されます。
- 2 [詳細] タブの [プロキシ] の [設定を変更...] をクリックする。
「プロキシ」をクリックし、プロキシサーバーを設定してください。
- 3 [web プロキシ] と [自動プロキシ] のチェックを外す。
- 4 [今すぐ適用] をクリックする。

JavaScript を有効にする

- 1 Safari の [セキュリティ] を表示する。
- 2 [web コンテンツ] の [JavaScript を有効にする] にチェックを入れる。

WEB ブラウザからのアクセス

WEB ブラウザを使用して、WEB ブラウザコントロールの TOP 画面にアクセスします。

- 1 WEB ブラウザを起動させる
- 2 本機の「LAN 設定」で設定した IP アドレスを入力する

(☞ 69 ページ)

 <http://192.168.0.8>

「管理者アカウント設定」(☞ 30・68 ページ) または WEB 制御機能で、すでにユーザー名とパスワードを設定されている場合は手順 3 へ進んでください。設定されない場合に初めて WEB 制御機能を使用する場合には、手順 4 に進んでください。ユーザー権限の場合も同様です。

- 3 認証画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力する

手順 7 へ進んでください。

なお、User (ユーザー) 権限でパスワードを設定していない場合は、「OK」をクリックして手順 4 に進んでください。

このサイトにアクセスするにはサインインしてください

<http://192.168.0.8> では認証が必要となります
このサイトへの接続は安全ではありません

ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
<input type="button" value="サインイン"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

- 4 ユーザー名とパスワードを設定する

ユーザー名パスワード変更ページが表示されます。

Administrator (アドミニストレーター) の場合

Please input new user name and password.

Account : Administrator	
New	User name Password Password(Retype)
<input type="button" value="Change"/>	

User (ユーザー) の場合

Please input new password.

New Password Retype	<input type="password"/> <input type="password"/>
<input type="button" value="Change"/>	

5 新しいユーザー名やパスワードを入力し、「変更」をクリックする

手順 3 の画面が再度表示されます。

6 新しいユーザー名やパスワードを入力する

手順 5 で設定した、新しいユーザー名やパスワードを入力してください。

7 「OK」をクリックする

お知らせ

- ここで使用するパスワードは、「ネットワーク設定」 - 「管理者アカウント設定」で使用するパスワードと共通です。(☞ 68 ページ)

- 出荷時の設定は以下の通りです。

- アドミニストレーター権限

「管理者アカウント設定」で設定したユーザー名とパスワードを設定してください。(☞ 68 ページ)

- ユーザー権限

ユーザー名 : dispuser

パスワード : なし

最初にパスワードの変更を行ってください。

- 本機の「ネットワーク設定」の「リセット」を実行した際にもログイン後、パスワードの変更を求められます。(☞ 74 ページ)

- パスワードはログイン後、パスワード設定画面で変更できます(☞ 98 ページ)。ユーザー名は、アドミニストレーター権限によるログインで接続する場合に変更できます。

- ログイン時にユーザー名 / パスワードを 3 回続けて間違えると、数分間ロックされます。

- 詳細設定 [Detailed set up] (☞ 94 ページ)をご利用になる場合は、アドミニストレーター権限でログインしてください。

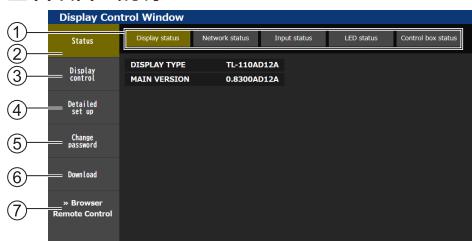
- ご使用になる WEB ブラウザーにより表示動作が変わることがあります。

- パナソニック プロジェクター & ディスプレイ株式会社のお客様に対して直接パスワードを照会することはございません。

直接問い合わせがありましても、パスワードを答えないでください。

WEB ブラウザーで操作する

■ 各項目の説明



① ページタブ

クリックすると、ページが切り換わります。

② ディスプレイ情報 [Status]

この項目をクリックすると、ディスプレイの状態が表示されます。

③ ディスプレイコントロール [Display control]

この項目をクリックすると、ディスプレイコントロールページが表示されます。

④ 詳細設定 [Detailed set up]

この項目をクリックすると、詳細設定ページが表示されます。

⑤ パスワード変更 [Change password]

⑥ ダウンロード [Download]

この項目をクリックすると専用アプリケーション「Screen Transfer」のダウンロードページが表示されます。

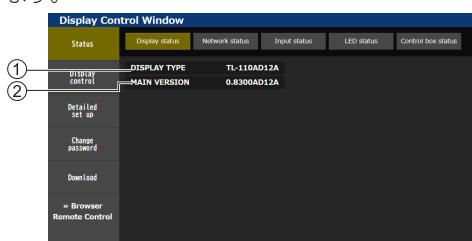
⑦ ブラウザーリモコン [Browser Remote Control]

この項目をクリックすると、WEB ブラウザー上に付属品のリモコンと同様のブラウザーリモコンが表示されます。

■ ディスプレイ情報ページ

本機の状態を表示します。

[Status] → [Display status] をクリックします。



① ディスプレイの種類を表示します。

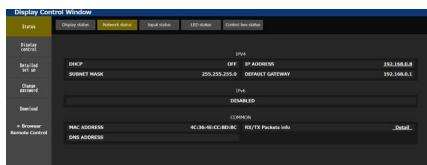
② ディスプレイのファームウェアバージョンを表示します。

■ ネットワーク情報ページ

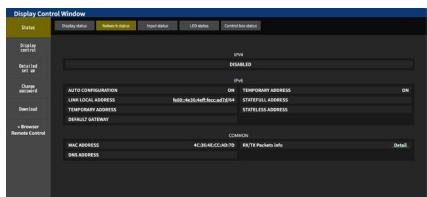
現在のネットワーク（有線 LAN）の設定情報を表示します。

[Status] → [Network status] をクリックします。

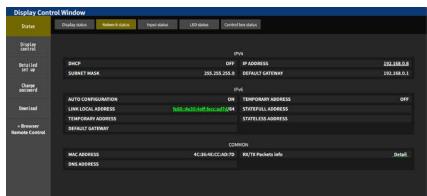
(1) IPv4 設定時



(2) IPv6 設定時



(3) IPv4 & IPv6 設定時



■ 入力情報ページ

本機の入力の情報を表示します。

[Status] → [Input status] をクリックします。



① 入力端子の情報を表示します。

② 入力信号の情報を表示します。

③ 入力映像を画像で簡易表示します。

お知らせ

- USB/Internal Memory 入力および MEMORY VIEWER 入力以外の場合は、入力されている信号名を表示します。
- USB/Internal Memory 入力および MEMORY VIEWER 入力の場合は、再生されているファイル名を表示します。
- スタンバイ中は「---」を表示します。
- HDCP 保護映像の場合、画像は表示されません。
- ディスプレイ本機の設定によっては、表示される画像が元映像と異なる場合があります。

■ LED パネル情報ページ

現在の LED パネルのステータス情報を表示します。

[Status] → [LED status] をクリックします。

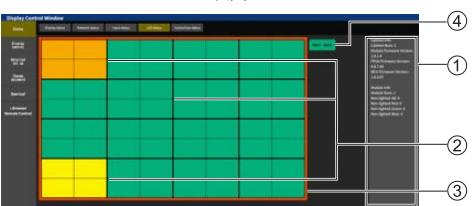
バージョン 3.0000 未満



① LED キャビネット、LED モジュールのステータス情報を表示します。

② LED パネルあるいは LED キャビネットのステータス情報を色で表示します。（正常：緑色、警告：黄色、異常：赤色）

バージョン 3.0000 以降



① LED キャビネット、LED モジュールのステータス情報を表示します。

② LED キャビネット別の不灯情報ステータス情報を色で表示します。（正常：緑色、警告：黄色、橙色）

③ LED ディスプレイ全体 (AIO) の不灯情報ステータス情報を色で表示します。（正常：緑色、警告：黄色、エラー：赤色）

④ パネルチェック：LED ディスプレイおよび LED キャビネットの不灯情報を取得します。

([80 ページ](#))

バージョン 5.0000 以降



- ① LED キャビネット、LED モジュールのステータス情報を表示します。
- ② LED モジュール別のステータス情報を色で表示します。(正常: 緑色、警告: 黄色、橙色、桃色)

お知らせ

- 発生しているステータス情報の警告内容により以下の通り警告色を区別して表示します。
 - 黄色: LED モジュールの温度、電圧などのステータス情報に警告が発生している
 - 橙色: LED モジュールの不灯情報ステータス情報に警告が発生している
 - 桃色: LED モジュールの不灯情報と温度、電圧などのステータス情報に警告が発生している
- ③ LED ディスプレイ全体 (AIO) の不灯情報ステータス情報を色で表示します。(正常: 緑色、警告: 黄色、エラー: 赤色)
- ④ パネルチェック: LED ディスプレイおよび LED キャビネットの不灯情報を取得します。
(☞ 80 ページ)
- ⑤ LED モジュール別の温度、電圧などのステータス情報を表示します。(正常: 緑色、警告: 黄色、エラー: 赤色)
- ⑥ LED モジュール別の不灯情報ステータス情報を表示します。(正常: 白色、警告: 橙色)

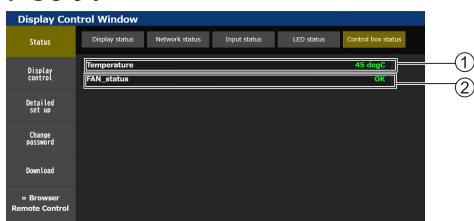
お知らせ

- 通信エラーなどで情報が読み取れなかった場合は、ステータスが不定状態として灰色で表示します。

■ コントロールボックス情報ページ

コントロールボックスのステータス情報を表示します。

[Status] → [Control box status] をクリックします。



- ① コントロールボックス内の温度を表示します。
- ② コントロールボックス内のステータス情報を表示します。

■ 基本制御ページ

本機の基本的な機能が操作できます。

[Display control] → [Basic control] をクリックします。



- ① 電源の「切」 / 「入」の操作

- ② 入力切り換え

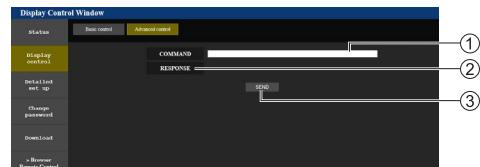
- ③ AUDIO ミュート

- ④ 画面モードの切り換え

■ 詳細制御ページ

本機の詳細な機能が操作できます。

[Display control] → [Advanced control] をクリックします。



- ① コマンドを入力します。シリアル制御で使用しているコマンドと同じコマンドを使います。

- ② 本機からの応答が表示されます。

- ③ コマンドが送信され、実行されます。

お知らせ

- 設定変更後、ディスプレイの状態が表示されるまでに、時間がかかる場合があります。
- 当社製のデジタルリンクスイッチャー(ET-YFB200)の入力切換ボタンは、デジタルリンクスイッチャーが接続されている SLOT に入力を切り替えた場合のみ表示されます。

■ 詳細設定

アドミニストレーター権限によるログインで接続する場合に、ディスプレイに関するネットワークの詳細設定を行うことができます。

■ LAN 設定ページ

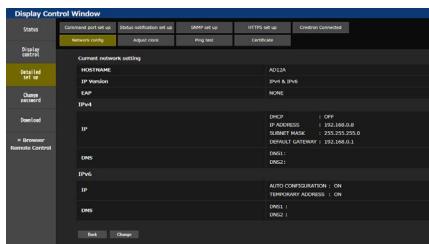
1 メインメニューの [Detailed set up] をクリックする。



2 [Next] をクリックする。

設定画面が表示され、現在の設定が表示されます。

- [Change] をクリックすると LAN 設定の変更ができます。
- [Back] をクリックすると元の画面に戻ります。

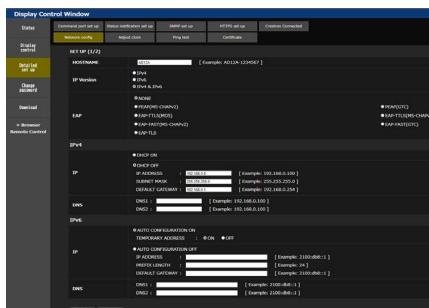


3 詳細を設定し、[Next] をクリックする。

ここで設定は、ディスプレイの「LAN 設定」メニューで設定するアドレス情報に加え、DNS サーバーおよび HOSTNAME (最大 20 文字) の設定を行なることができます。

必要な項目の入力がすべて完了した後、[Next] をクリックすると、[EAP] を [NONE] に設定した場合は入力内容の確認画面が表示されます。

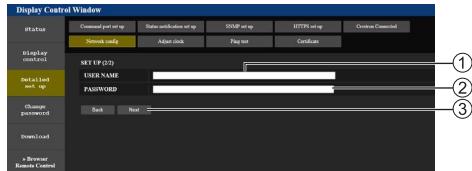
[EAP] を [NONE] 以外に設定した場合は次のページへ進みます。



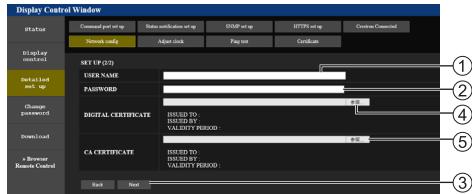
お知らせ

- [DHCP ON] のとき、DHCP サーバーから DNS サーバーのアドレスを取得した場合は、そのアドレスが有効となります。

EAP が「NONE」「EAP-TLS」以外の場合



EAP が「EAP-TLS」の場合



① USER NAME

認証に使用するユーザー名を半角英数字（スペースを除く）で入力します。（最大 64 文字）

② PASSWORD

認証に使用するパスワードを半角英数字で入力します。（最大 64 文字）

③ Back、Next

[Back] をクリックすると、元の画面に戻ります。
[Next] をクリックすると、設定内容を確認する画面が表示されます。

④ DIGITAL CERTIFICATE

認証に使用する電子証明書（拡張子：PFX）を登録します。

⑤ CA CERTIFICATE

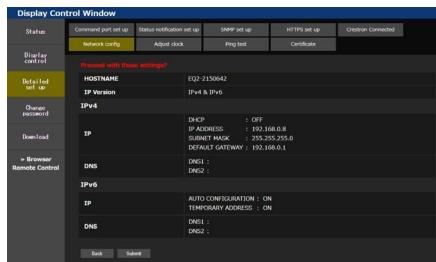
認証に使用する CA 証明書（拡張子：CER）を登録します。

お知らせ

- EAP が「EAP-TLS」の場合、時刻設定ページで日付と時刻が設定されている必要があります。
([96 ページ](#))

4 [Submit] をクリックする。

設定した内容が登録されます。



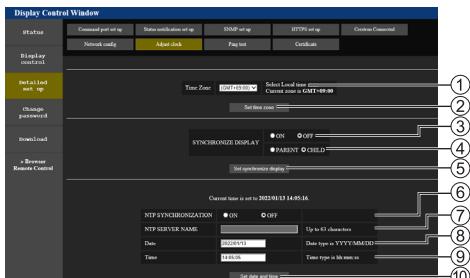
お知らせ

- LAN で接続中に LAN 設定を変更したとき、接続が途切れる場合があります。
- 「LAN 設定」および「自動設定」の設定によって、画面の表示内容が変わります。

■ 時刻設定ページ

本機の時刻関係の項目を設定します。

[Detailed set up] → [Adjust clock] をクリックします。



① タイムゾーンの選択欄

(日本は、GMT + 09:00)

② タイムゾーンの設定更新ボタン

③ ディスプレイ間同期の選択欄

④ ディスプレイ間同期親子設定の選択欄

⑤ ディスプレイ間同期の設定更新ボタン

⑥ NTP 同期の選択欄

⑦ NTP サーバーの入力欄

(NTP 同期で日時設定する場合は、IP アドレスかサーバー名を入力します。サーバー名を入力する場合は DNS サーバーの設定が必要です。)

⑧ 日付の入力欄

⑨ 時刻の入力欄

⑩ NTP 同期の設定および日時設定の更新ボタン

お知らせ

- 未設定の場合、日付と時刻は「- -」と表示されます。
- 「ネットワークコントロール」が「オン」でスタンバイ状態の場合、日付と時刻は空白表示になり設定できません。また、タイムゾーン、ディスプレイ間同期、NTP 同期設定も設定できません。
- [SYNCHRONIZE DISPLAY] が、[ON]/[CHILD] の場合は、[NTP SYNCHRONIZATION] の設定および [Date]・[Time] の設定はできません。
- [NTP SYNCHRONIZATION] が [ON] の場合は、[Date]・[Time] の設定はできません。
- 時刻を設定してもすぐに時刻が合わなくなる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- NTP 同期は、電源オン状態もしくはスケジュール待機スタンバイ中のみ動作します。

■ 接続テストページ

DNS サーバーなどとネットワークが接続しているかを確認できます。

[Detailed set up] → [Ping test] をクリックします。



① テストするサーバーの IP アドレスの入力

② テストの実行ボタン

接続できた場合の表示例

```
PING 192.168.0.60 (192.168.0.60): 56 data bytes
64 bytes from 192.168.0.60: seq=0 ttl=128 time=1.474 ms
64 bytes from 192.168.0.60: seq=1 ttl=128 time=1.255 ms
64 bytes from 192.168.0.60: seq=2 ttl=128 time=1.146 ms
64 bytes from 192.168.0.60: seq=3 ttl=128 time=1.052 ms
...
--- 192.168.0.60 ping statistics ---
4 packets transmitted, 4 packets received, 0% packet loss
round-trip min/avg/max = 1.052/1.231/1.474 ms
```

接続できなかった場合の表示例

```
PING 192.168.0.100 (192.168.0.100): 56 data bytes
...
--- 192.168.0.100 ping statistics ---
4 packets transmitted, 0 packets received, 100% packet loss
```

■ コマンドポート設定ページ

コマンドコントロールで使用するポート番号を設定します。

[Detailed set up] → [Command port set up] をクリックします。



① コマンドコントロールで使用するポート番号の入力

② 設定の更新ボタン

■ 状態通知設定ページ

複数台監視制御ソフトウェア (☞ 89 ページ) が動作しているパソコンに本機の状態を通知する場合に、その IP アドレスとポート番号を設定します。

[Detailed set up] → [Status notification set up] をクリックします。

状態通知の設定をしておくと、本機が故障して電源ランプが赤色点滅している場合に、電源ランプを直接確認できない離れた場所からでも故障を把握することができます。



- ① 状態通知の選択欄
- ② 通知先パソコンのIPアドレスの入力欄
- ③ 通知先パソコンのポート番号の入力欄
- ④ 設定の更新ボタン

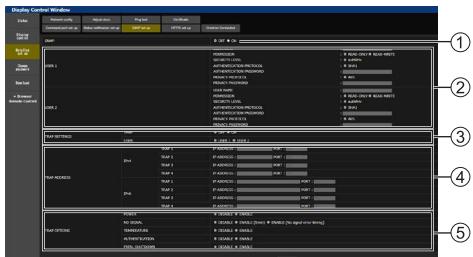
■ SNMP 設定ページ

SNMP の各種項目を設定します。

SNMP (Simple Network Management Protocol) は、ネットワークに接続された機器を管理するためのプロトコルです。

SNMP マネージャーを使用して接続すると、対象機器の情報取得、設定変更ができます。

[Detailed set up] → [SNMP set up] をクリックします。



- ① SNMP : SNMP機能の使用を選択します。
- ② USER1, USER2 : SNMPv3を使用するための各種設定を行います。

USER NAME : ユーザー名を入力します。

PERMISSION : 情報取得のみか、情報取得と設定を両方行うかを選択します。

SECURITY LEVEL : 本モデルでは、authPrivとなります。

AUTHENTICATION PROTOCOL :

本モデルの認証方式は、SHA1となります。

AUTHENTICATION PASSWORD :

認証パスワードを設定します。

PRIVACY PROTOCOL :

本モデルでの暗号化方式は、AESとなります。

PRIVACY PASSWORD :

暗号化パスワードを設定します。

③ TRAP SETTINGS

TRAP : TRAP機能の使用を設定します。

COMMUNITY/USER :

TRAP送信時に使用する COMMUNITY/USER を選択します。

本機では、USER1/2 設定が使用されます。

④ TRAP ADDRESS

TRAP ADDRESS	TRAP 1	IP ADDRESS	PORT
	TRAP 2	IP ADDRESS	PORT
IPv4	TRAP 3	IP ADDRESS	PORT
	TRAP 4	IP ADDRESS	PORT
IPv6	TRAP 5	IP ADDRESS	PORT
	TRAP 6	IP ADDRESS	PORT
IPv6	TRAP 7	IP ADDRESS	PORT
	TRAP 8	IP ADDRESS	PORT

IPV4-ADDRESS : TRAPを通知するSNMPマネージャーのIPv4用アドレスを設定します。

IPV4-PORT : TRAPを通知するSNMPマネージャーのTRAP IPv4用受信ポート番号を設定します。

IPV6-ADDRESS : TRAPを通知するSNMPマネージャーのIPv6用アドレスを設定します。

IPV6-PORT : TRAPを通知するSNMPマネージャーのTRAP IPv6用受信ポート番号を設定します。

⑤ TRAP OPTIONS

POWER : パワーマネジメント、無信号自動オフ、無操作自動オフによりスタンバイになった場合にTRAPを送信します。

NO SIGNAL : 無信号が以下の条件で続いた場合にTRAPを送信します。

ENABLE(5min) 設定時 :

無信号が5分続いた場合にTRAPを送信します。

ENABLE(No signal error timing) 設定時 :

「初期設定」 - 「情報通知タイミング」で設定した無信号エラーが発生した場合にTRAPを送信します。(☞ 82 ページ)

TEMPERTURE : 温度エラーが発生した場合にTRAPを送信します。

AUTHENTICATION :

SNMPの認証失敗時にTRAPを送信します

FATAL SHUTDOWN :

強制的に電源オフする必要のある致命的なエラーが発生した場合にTRAPを送信します。ただし、すべての致命的なエラーがTRAPに対応しているわけではありません。

お知らせ

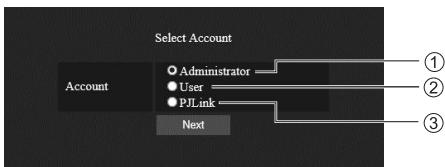
- 本機はSNMPv3のみに対応しています。
- コミュニティ名で使用できる文字数は半角英数字記号で32文字以内です。
- ユーザー名とパスワードで使用できる文字数は半角英数字記号で32文字以内です。
但し、パスワードは、8文字以上設定する必要があります。

- パスワードは、定期的に変更し推測されにくいものにしてください。
- お使いのシステム構成の中で、SNMP マネージャーが稼働している必要があります。
- 本機の MIB (Management Information Base) については、下記の WEB サイトより取得してください。
パナソニック業務用ディスプレイホームページ
(<https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays>)
- SNMP マネージャーの設定については、ネットワーク管理者にご確認ください。

■ ユーザー名パスワード変更ページ

パスワードを設定します。

[Change password] をクリックします。

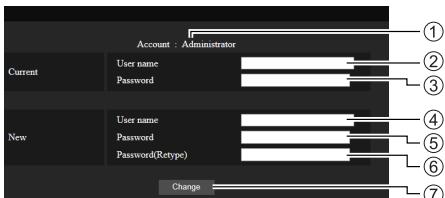


① Administrator (アドミニストレーター) を選択

② User (ユーザー) を選択

③ PJLink を選択

Administrator (アドミニストレーター) について



① 変更を行うアカウントの表示

② 変更前のユーザー名入力欄

③ 変更前のパスワード入力欄

④ 変更後のユーザー名入力欄

⑤ 変更後のパスワード入力欄

⑥ 変更後のパスワード (確認) 入力欄

⑦ パスワード変更実行ボタン

お知らせ

- 複数台監視制御ソフトウェアなど、LAN 経由の通信制御を使用したアプリケーションソフトに本機をすでに登録している場合、Administrator のユーザー名またはパスワードを変更すると、本機との通信ができなくなります。Administrator のユーザー名またはパスワードを変更した場合は、ご使用のアプリケーションソフトの登録情報を更新してください。

User (ユーザー) について



① 変更を行うアカウントの表示

② 変更後のユーザー名入力欄

③ 変更後のパスワード入力欄

④ 変更後のパスワード (確認) 入力欄

⑤ パスワード変更実行ボタン

パスワード変更 (ユーザー権限)

ユーザー権限時はパスワードの変更のみ有効です。



① 旧パスワード入力欄

② 新パスワード入力欄

③ 新パスワード (確認) 入力欄

④ パスワード変更実行ボタン

お知らせ

- ユーザー名で使用できる文字は、半角英数字です。
 - ユーザー名とパスワードで使用できる文字数は 16 文字以内です。
 - 管理者アカウント変更時は「変更前のユーザー名」、「変更前のパスワード」の入力が必要です。
 - アドミニストレーター権限ログイン時のアカウント変更の推奨は以下の通りです。
 - ・ 変更後のユーザー名とパスワードに現在のユーザー名とパスワードと同じ値または、出荷時の設定と同じ値を設定しないことを推奨します。
 - ユーザー権限ログイン時のパスワード変更の推奨は、以下の通りです。
 - ・ 新パスワードに旧パスワードと同じ値または、出荷時の設定と同じ値を設定しないことを推奨します。
 - パソコンや他の機器と同じパスワードを使用されないことを推奨します。
 - パスワード変更の複雑さの推奨は、以下の通りです。(アドミニストレーター、ユーザー権限共通)
 - ・ アルファベット大文字 (A ~ Z)
 - ・ アルファベット小文字 (a ~ z)
 - ・ 数字 (0 ~ 9)
 - ・ 特殊文字 (' ! @ # \$ % ^ & * () _ + ; { [] } < > . / ? ' 等)
- 下記 4 つの文字種類から少なくとも 3 つを含めて、8 文字以上
- ・ アルファベット大文字 (A ~ Z)
 - ・ アルファベット小文字 (a ~ z)
 - ・ 数字 (0 ~ 9)
 - ・ 特殊文字 (' ! @ # \$ % ^ & * () _ + ; { [] } < > . / ? ' 等)
- パスワード欄を空欄にせず、上記の文字種類を用いて設定することを推奨します。

PJLinkについて



① パスワード入力欄

お知らせ

- PJLink のパスワード入力は設定のみとなります。
- パスワードで使用できる文字は 16 文字以内です。
- ユーザー権限ログイン時のパスワード変更の推奨は、以下の通りです。
 - ・新パスワードに旧パスワードと同じ値または、出荷時の設定と同じ値を設定しないことを推奨します。
- パソコンや他の機器と同じパスワードを使用されないことを推奨します。
- パスワード変更の複雑さの推奨は、以下の通りです。
(アドミニストレーター、ユーザー権限共通)

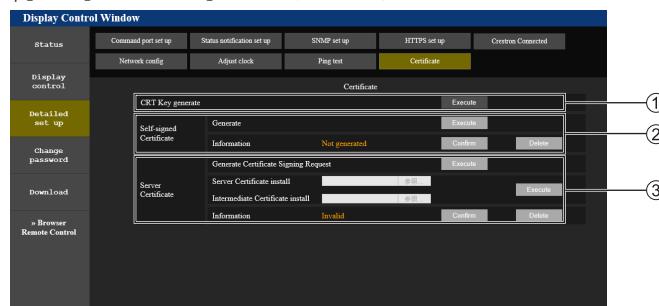
下記 4 つの文字種類から少なくとも 3 つを含めて、8 文字以上

- ・アルファベット大文字 (A ~ Z)
- ・アルファベット小文字 (a ~ z)
- ・数字 (0 ~ 9)
- ・特殊文字
(` ! @ # \$ % ^ & * () _ + ! } { [] < > . , / ? ' 等)

■証明書ページ

HTTPS 通信を行う場合や、Crestron 社のコントロールシステムやアプリケーションソフトを使用する場合は、認証のための証明書をディスプレイにインストールする必要があります。

[Detailed set up] → [Certificate] をクリックします。



①CRT Key generate

CRT (Certificate) 鍵を生成します。

[Execute] をクリックすると、CRT 鍵生成のページが表示されます。

詳しくは、「CRT 鍵を生成する」(☞ 102 ページ)をご覧ください。

②Self-signed Certificate

Generate:

自己署名証明書を本機自身で生成します。

[Execute] をクリックすると、自己署名証明書生成のページが表示されます。

詳しくは、「自己署名証明書を生成する」(☞ 106 ページ)をご覧ください。

Information:

自己署名証明書の状態を表示します。

• Not generated:

自己署名証明書が生成されていません。

• (ホスト名) :

自己署名証明書が生成済みで有効な状態です。

自己署名証明書に登録されているホスト名が表示されます。

• Invalid (Reason: Server Certificate installed) :

サーバー証明書が有効になっているため、生成済みの自己署名証明書は無効になっています。

[Confirm] をクリックすると、生成済みの自己署名証明書の情報が表示されます。

[Delete] をクリックすると、生成済みの自己署名証明書を削除できます。

詳しくは、「自己署名証明書の情報を確認する」(☞ 107 ページ)をご覧ください。

③Server Certificate

署名リクエスト (CSR) 生成:

[Execute] をクリックすると、署名リクエスト生成のページが表示されます。

詳しくは、「署名リクエストを生成する」(☞ 104 ページ)をご覧ください。

Server Certificate install/Intermediate Certificate install:

サーバー証明書および中間証明書をインストールします。

証明書のファイルを指定して [Execute] をクリックすると、本機に証明書をインストールします。

詳しくは、「証明書をインストールする」(☞ 105 ページ)をご覧ください。

Information:

サーバー証明書の状態を表示します。

• Invalid : サーバー証明書がインストールされていません。または、現在の CRT 鍵が、インストール済みのサーバー証明書を申請する際に使用した CRT 鍵と異なります。

• (ホスト名) : サーバー証明書をインストール済みで有効な状態です。

サーバー証明書に登録されているホスト名が表示されます。

• Expired : サーバー証明書の有効期間を超えていません。

サーバー証明書をインストール済みで有効になっている場合は、サーバー証明書に登録されているホスト名が表示されます。

[Confirm] をクリックすると、インストール済みのサーバー証明書の情報が表示されます。

[Delete] をクリックすると、インストール済みのサーバー証明書と中間証明書を削除できます。

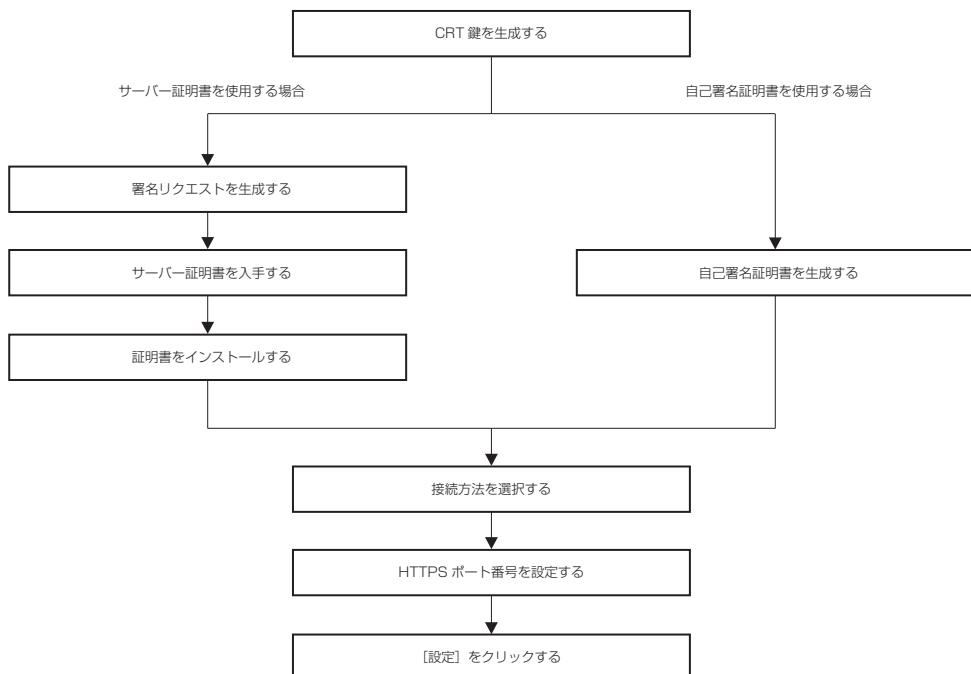
詳しくは、「サーバー証明書の情報を確認する」(☞ 105 ページ)をご覧ください。

お知らせ

- お使いのコンピューターや WEB ブラウザーによっては、証明書のインストール操作ができないことがあります。

設定のフロー

セキュリティー証明書として、サーバー証明書と自己署名証明書のどちらの証明書を使用するかによって設定のフローが異なります。



お知らせ

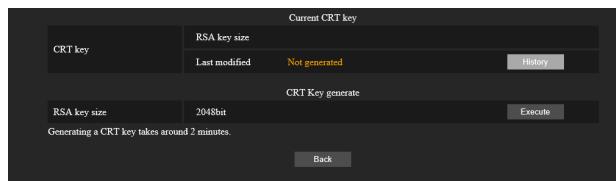
- サーバー証明書を使用する場合は、認証機関への申請からサーバー証明書の発行までの手続きは、お客様と認証機関の間で行っていただく必要があります。申請方法などにつきましては、認証機関へお問い合わせください。

CRT 鍵を生成する

RSA (Rivest-Shamir-Adleman cryptosystem) 公開鍵暗号方式による暗号化に使用する CRT 鍵を生成します。CRT 鍵は、秘密鍵の一種です。

1 [Certificate] → [CRT Key generate] → [Execute] をクリックする

CRT 鍵生成のページが表示されます。



2 [Execute] をクリックする

CRT 鍵を生成するのが初めての場合、CRT 鍵が生成されるとともに次のメッセージが表示されます。手順 4 に進んでください。

「CRT key - Generated」

CRT 鍵を生成するのが 2 回目以降の場合、次の確認メッセージが表示されます。

「The CRT key will be generated. In updating the CRT key, the Server Certificate corresponds to the current CRT key will become unavailable. Continue?」

(CRT 鍵を生成します。サーバー証明書をお持ちの場合、CRT 鍵を更新すると、現在のサーバー証明書が使用できなくなります。よろしいですか？)

3 [OK] をクリックする

CRT 鍵が生成されるとともに次のメッセージが表示されます。

「CRT key - Generated」

4 [OK] をクリックする

再度 [Certificate] → [CRT Key generate] → [Execute] をクリックすることで、CRT 鍵生成のページ上段にある [Current CRT key] の [RSA key size] と [Last modified] で、現在の CRT 鍵の鍵長とその生成日時を確認できます。

お知らせ

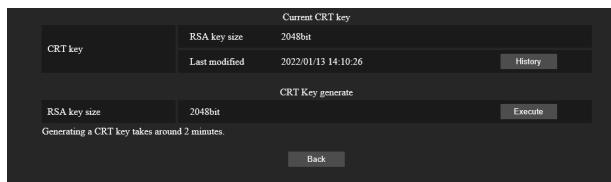
- [Last modified] に [Not generated] と表示されている場合は、CRT 鍵が生成されていないことを示しています。
- [RSA key size] は [2048bit] 固定です。申請先の認証機関によっては、2048bit の鍵長ではサーバー証明書を発行できない場合があります。
- CRT 鍵の生成には、2 分程度の時間を要することがあります。
- CRT 鍵を更新した場合は、その CRT 鍵を使用して改めてサーバー証明書の申請または自己署名証明書の生成を行ってください。CRT 鍵にひも付いた証明書が必要です。
- CRT 鍵を更新しても、前回生成した CRT 鍵の情報は保存されています。ひとつ前の CRT 鍵に戻したい場合は、「CRT 鍵の更新を取りやめる」(☞ 103 ページ) をご覧ください。

CRT 鍵の更新を取りやめる

CRT 鍵を更新しても、一度だけ前回生成した CRT 鍵に戻すことができます。

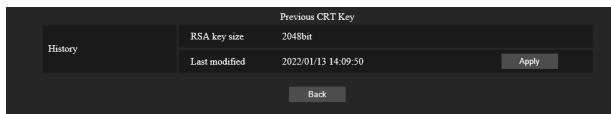
1 [Certificate] → [CRT Key generate] → [Execute] をクリックする

CRT 鍵生成のページが表示されます。



2 [History] をクリックする

次の内容が表示されます。



3 元に戻す CRT 鍵の [RSA key size] と [Last modified] を確認する

4 [Apply] をクリックする

次の確認メッセージが表示されます。

「The previous CRT key will be loaded. Please generate Self-signed Certificate or install the Server Certificate corresponds to the CRT key. Continue?」

(過去の CRT 鍵に戻します。自己署名証明書を生成するか、選択した CRT 鍵に対応したサーバー証明書をインストールしてください。よろしいですか？)

5 [OK] をクリックする

前回生成した CRT 鍵が、現在の CRT 鍵として反映されます。

お知らせ

- 前回生成した CRT 鍵に戻した場合は、その CRT 鍵にひも付いた証明書が必要です。

署名リクエストを生成する

セキュリティー証明書として、認証機関から発行されたサーバー証明書を使用する場合に、認証機関への発行申請に必要な署名リクエストを生成します。CRT 鍵を生成したあとで署名リクエストを生成してください。

1 [Certificate] → [Generate Certificate Signing Request] → [Execute] をクリックする

署名リクエスト生成のページが表示されます。



2 申請に必要な情報を入力する

各項目の内容は次のとおりです。申請先の認証機関の要求に従って入力してください。

項目	内容		文字数制限
Common Name	ディスプレイに設定されているディスプレイ名または IP アドレスを入力します。		64 文字
Country	ISO 3166-1 alpha-2 で定義されている国名コード（大文字アルファベット 2 文字）を入力します。		—
State	都道府県名を入力します。		128 文字
Locality	市区町村名を入力します。		128 文字
Organization	組織名を入力します。		64 文字
Organization Unit	部署名を入力します。		64 文字
CRT key	RSA key size	現在の CRT 鍵の鍵長が表示されます。	
	Last modified	現在の CRT 鍵の生成日時が表示されます。	

3 [OK] をクリックする

署名リクエストのファイルが生成されます。ファイルに名前を付けて任意のフォルダーに保存してください。

4 ファイル名を入力して [保存] をクリックする

指定したフォルダーに署名リクエストのファイルが保存されます。

お知らせ

- 入力できる文字は次のとおりです。
 - ・半角数字：0～9
 - ・半角アルファベット：A～Z, a～z
 - ・半角記号：- . _ , + / ()
- 本機で生成する署名リクエストは、PEM 形式（拡張子：pem）です。
- 保存した署名リクエストのファイル（PEM 形式）を使用して、認証機関に対してサーバー証明書の発行を申請してください。

証明書をインストールする

認証機関から発行されたサーバー証明書および中間証明書を本機にインストールします。

1 [Certificate] → [Server Certificate install] → [参照] をクリックする

ファイルを選択するダイアログが表示されます。

2 サーバー証明書ファイルを選択し、[開く] をクリックする

認証機関からサーバー証明書とともに中間証明書が発行されている場合は手順 3 に進んでください。

認証機関からサーバー証明書のみが発行されている場合は手順 5 に進んでください。

3 [Intermediate Certificate install] の [参照] をクリックする

ファイルを選択するダイアログが表示されます。

4 中間証明書ファイルを選択し、[開く] をクリックする

5 [Execute] をクリックする

サーバー証明書および中間証明書が本機にインストールされます。

6 [OK] をクリックする

お知らせ

- インストールしたサーバー証明書の情報を確認する場合は、「サーバー証明書の情報を確認する」(☞ 105 ページ) をご覧ください。

サーバー証明書の情報を確認する

本機にインストールしたサーバー証明書の情報を確認します。

1 [Certificate] → [Server Certificate] → [Information] → [Confirm] をクリックする

インストールしたサーバー証明書の情報が表示されます。各項目の内容は次のとおりです。

項目	内容	
Common Name	ディスプレイ名または IP アドレスが表示されます。	
Country	ISO 3166-1 alpha-2 で定義されている国名コード（大文字アルファベット 2 文字）が表示されます。	
State	都道府県名が表示されます。	
Locality	市区町村名を入力します。	
Organization	組織名を入力します。	
Organization Unit	部署名を入力します。	
Not Before	サーバー証明書の発行日時が表示されます。	
Not After	サーバー証明書の失効日時が表示されます。	
CRT key	RSA key size	CRT 鍵の鍵長が表示されます。
	Last modified	CRT 鍵の生成日時が表示されます。

お知らせ

- [Certificate] → [Server Certificate] → [Delete] をクリックすると、インストール済みのサーバー証明書と中間証明書を削除できます。

ただし、[HTTPS set up] → [Connection] が [HTTPS] に設定されている状態では削除できません。HTTP 通信ができる状態に設定を変更したうえで削除してください。

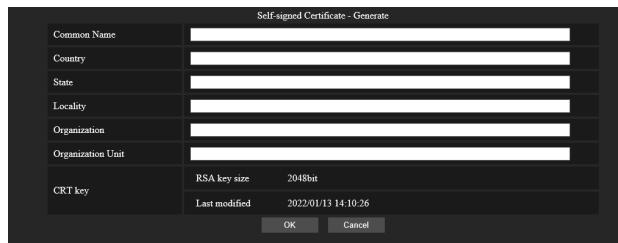
また、有効期間内のサーバー証明書を削除する場合は、インストールに使用した証明書ファイルをお手元に準備できることを確認してください。再度サーバー証明書をインストールする場合に必要になります。

自己署名証明書を生成する

セキュリティー証明書として、認証機関から発行されたサーバー証明書を使用しない場合は、本機自身で生成した自己署名証明書を使用することができます。CRT 鍵を生成したあとで自己署名証明書を生成してください。

1 [Certificate] → [Self-signed Certificate] → [Generate] → [Execute] をクリックする

自己署名証明書生成のページが表示されます。



2 生成に必要な情報を入力する

各項目の内容は次のとおりです。

項目	内容		文字数制限
Common Name	ディスプレイに設定されているディスプレイ名または IP アドレスを入力します。		64 文字
Country	ISO 3166-1 alpha-2 で定義されている国名コード（大文字アルファベット 2 文字）を入力します。		—
State	都道府県名を入力します。		128 文字
Locality	市区町村名を入力します。		128 文字
Organization	組織名を入力します。		64 文字
Organization Unit	部署名を入力します。		64 文字
CRT key	RSA key size	現在の CRT 鍵の鍵長が表示されます。	
	Last modified	現在の CRT 鍵の生成日時が表示されます。	

3 [OK] をクリックする

自己署名証明書が生成されます。

お知らせ

- 入力できる文字は次のとおりです。
 - ・ 半角数字：0～9
 - ・ 半角アルファベット：A～Z、a～z
 - ・ 半角記号：- . _ , + / ()

自己署名証明書の情報を確認する

本機で生成した自己署名証明書の情報を確認します。

- 1 [Certificate] → [Self-signed Certificate] → [Information] → [Confirm] をクリックする

生成済みの自己署名証明書の情報が表示されます。各項目の内容は次のとおりです。

項目	内容	
Common Name	ディスプレイ名または IP アドレスが表示されます。	
Country	ISO 3166-1 alpha-2 で定義されている国名コード（大文字アルファベット 2 文字）が表示されます。	
State	都道府県名が表示されます。	
Locality	市区町村名が表示されます。	
Organization	組織名が表示されます。	
Organization Unit	部署名が表示されます。	
Not Before	自己署名証明書の発行日時が表示されます。	
Not After	自己署名証明書の失効日時（グリニッジ標準時 2035 年 12 月 31 日 23 時 59 分に相当するローカル日時）が表示されます。	
CRT key	RSA key size	CRT 鍵の鍵長が表示されます。
	Last modified	CRT 鍵の生成日時が表示されます。

お知らせ

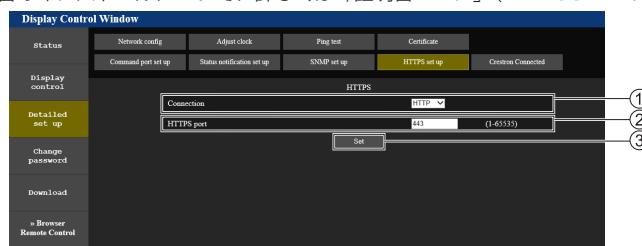
- [Certificate] → [Self-signed Certificate] → [Delete] をクリックすると、生成済みの自己署名証明書を削除できます。ただし、[HTTPS set up] → [Connection] が [HTTPS] に設定されている状態では削除できません。HTTP 通信ができる状態に設定を変更したうえで削除してください。
- 本機に日付と時刻が適切に設定していない状態で自己署名証明書を作成した場合、自己署名証明書の発行日時および失効日時が正しく設定されない場合があります。
そのため、自己署名証明書を作成する前には適切な「日付と時刻」を設定してください。（☞ 66 ページ）

■ HTTPS 設定ページ

WEB 制御機能を使用する際に、コンピューターとディスプレイとの間で SSL/TLS プロトコルによって暗号化された HTTPS (Hypertext Transfer Protocol Secure) 通信を行う場合に設定します。

[Detailed set up] → [HTTPS set up] をクリックします。

なお、HTTPS 通信を行うには、認証のための証明書をあらかじめディスプレイにインストールしておく必要があります。証明書のインストールについて、詳しくは「証明書ページ」（☞ 100 ページ）をご覧ください。



①Connection

ディスプレイとの接続方法を設定します。

HTTP : HTTP 通信を使用します。（工場出荷時の値）

HTTPS : HTTPS 通信を使用します。

②HTTPS port

HTTPS 通信で使用するポート番号を設定します。

設定できるポート番号：1 ~ 65535

工場出荷時の値：443

③Set

設定を有効にします。

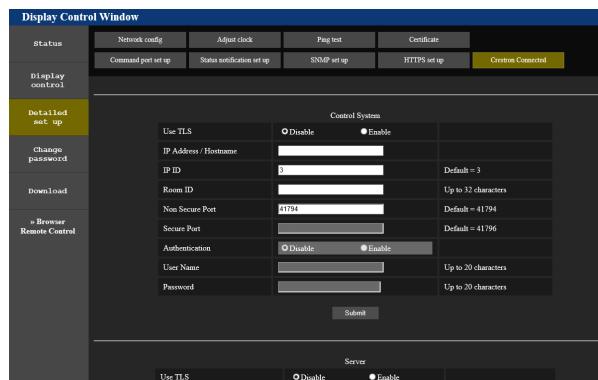
お知らせ

- [Connection] の設定を [HTTPS] から [HTTP] に変更すると、WEB 制御画面の操作や更新を行ったときに画面が表示されないことがあります。その場合は、WEB ブラウザーのキャッシュを削除してください。

■ Crestron Connected ページ

Crestron 社のコントロールシステムをディスプレイに接続するために必要な情報、および Crestron 社のコントロールシステムを用いてディスプレイを監視／制御するための情報を設定します。

[Detailed set up] → [Crestron Connected] をクリックします。



Control System

コントロールシステムを、クライアントであるディスプレイと接続するために必要な設定を行います。

The screenshot shows the 'Control System' configuration form with numbered callouts:

- ① Use TLS
- ② IP Address / Hostname
- ③ IP ID
- ④ Room ID
- ⑤ Non Secure Port
- ⑥ Secure Port
- ⑦ Authentication
- ⑧ User Name
- ⑨ Password
- ⑩ Submit

① Use TLS

セキュア通信について設定します。

Disable :

セキュアではない通信を行います。

Enable :

TLS (Transport Layer Security) を使用したセキュアな通信を行います。

② IP Address / Hostname

接続先の IP アドレスまたはホスト名を入力します。

③ IP ID

ネットワーク上でディスプレイを識別するための IP ID を設定します。(最大 4 衞までの数字)

初期値 : 3

④ Room ID

ネットワーク上でディスプレイを識別するための Room ID を設定します。(半角で 32 文字まで)

⑤ Non Secure Port

セキュアではない通信に使用するポート番号を設定します。

初期値 : 41794

お知らせ

- [Use TLS] を [Disable] に設定した場合、[Authentication] は [Disable] に固定され、[Secure Port] は設定できません。

⑥ Secure Port

セキュア通信に使用するポート番号を設定します。

初期値 : 41796

⑦ Authentication

セキュア通信を行う際の、接続先との認証について選択します。

Disable :

接続認証を行いません。

Enable :

接続認証を行います。

⑧ User Name

接続認証時に使用するユーザー名を入力します。(半角で 20 文字まで)

⑨ Password

接続認証時に使用するパスワードを入力します。(半角で 20 文字まで)

⑩ Submit

[Control System] の設定を更新します。

Server

コントロールシステムを使用して、ディスプレイをサーバーと位置付けてアクセスする場合に必要な設定を行います。

The screenshot shows a configuration interface for a 'Server'. It includes the following fields:

- ① Use TLS: Radio button for 'Disable' (selected) or 'Enable'.
- ② IP ID: Input field containing '5'.
- ③ Non Secure Port: Input field containing '41794'.
- ④ Secure Port: Input field containing '41796'.
- ⑤ Authentication: Radio button for 'Disable' (selected) or 'Enable'.
- ⑥ User Name: Input field with placeholder 'Up to 20 characters'.
- ⑦ Password: Input field with placeholder 'Up to 20 characters'.
- ⑧ Crestron Fusion in the Cloud (FITC): Radio button for 'Disable' (selected) or 'Enable'.
- ⑨ FITC URL: Input field.
- ⑩ Submit: A button at the bottom right.

① Use TLS

セキュア通信について設定します。

Disable :

セキュアではない通信を行います。

Enable :

TLS (Transport Layer Security) を使用したセキュアな通信を行います。

② IP ID

ネットワーク上でディスプレイを識別するための IP ID を設定します。(最大 4 衔までの数字)

③ Non Secure Port

セキュアではない通信に使用するポート番号を設定します。

初期値 : 41794

④ Secure Port

セキュア通信に使用するポート番号を設定します。

初期値 : 41796

⑤ Authentication

セキュア通信を行う際の、接続先との認証について選択します。

Disable :

接続認証を行いません。

Enable :

接続認証を行います。

⑥ User Name

接続認証時に使用するユーザー名を入力します。(半角で 20 文字まで)

⑦ Password

接続認証時に使用するパスワードを入力します。(半角で 20 文字まで)

⑧ Crestron Fusion in the Cloud (FITC)

クラウド上の Fusion サーバーの使用について設定します。

Disable :

クラウド上の Fusion サーバーを使用しません。

Enable :

クラウド上の Fusion サーバーを使用します。

⑨ FITC URL

クラウド上の Fusion サーバーの URL を入力します。

⑩ Submit

[Server] の設定を更新します。

お知らせ

- サーバー証明書、自己署名証明書のいずれもインストールされていない場合、[Use TLS] は [Disable] に固定されます。
- [Use TLS] を [Disable] に設定した場合、[Authentication] は [Disable] に固定され、[Secure Port] は設定できません。
- [Crestron Fusion in the Cloud (FITC)] を [Disable] に設定している場合、[FITC URL] は入力できません。

Auto Discovery

コントロールシステムおよびアプリケーションソフトの検索プロトコルに対する待ち受け処理について設定を行います。



① Auto Discovery

Disable :

待ち受け処理を無効にします。

Enable :

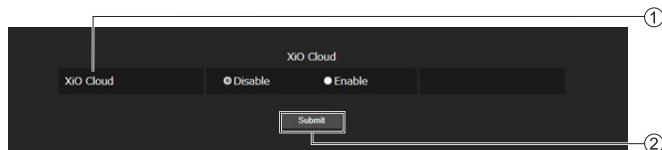
待ち受け処理を有効にして、ディスプレイの自動検出を可能にします。

② Submit

[Auto Discovery] の設定を更新します。

XiO Cloud

XiO Cloud を利用して機器を管理する場合の設定を行います。



① XiO Cloud

Disable :

XiO Cloud 機能を無効にします。

Enable :

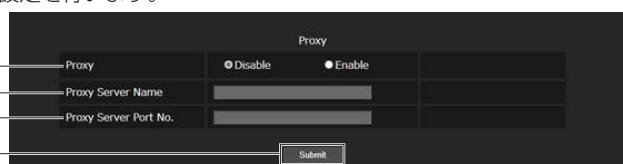
XiO Cloud 機能を有効にします。

② Submit

[XiO Cloud] の設定を更新します。

Proxy

プロキシサーバーの設定を行います。



① Proxy

Disable :

プロキシサーバーを使用しません。

Enable :

プロキシサーバーを使用します。

② Proxy Server Name

プロキシサーバー名、または IPv4 アドレスを入力します。

③ Proxy Server Port No.

プロキシサーバーのポート番号を入力します。

④ Submit

[Proxy] の設定を更新します。

お知らせ

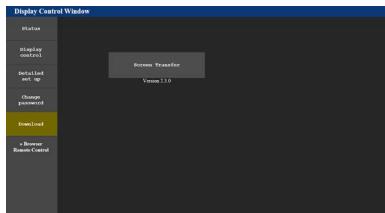
● [Proxy Server Name] は、IPv6 アドレスには対応していません。

■ダウンロード

パソコンの画面をディスプレイへ LAN で送信するソフトウェア「Screen Transfer」をダウンロードすることができます。

[Download] をクリックします。

ダウンロードの画面が表示されます。



[Screen Transfer] をクリックし、インストーラー「setup.msi」をダウンロードします。

「Screen Transfer」をインストール後は、パソコンの画面を本機へ LAN で送信することができます。

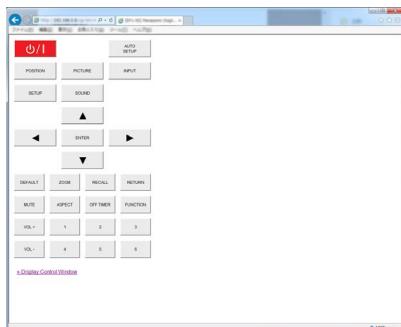
・詳細は以下の WEB サイトを参照してください。

(<https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays>)

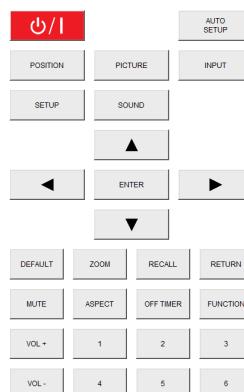
■ ブラウザーリモコン

WEB ブラウザーに表示された操作ボタンで本機を操作できます。

[Browser Remote Control] をクリックします。ブラウザーリモコンの画面が表示されます。



ブラウザーリモコン



ブラウザーリモコンは、付属品のリモコンと同様の操作ができます。

各ボタンの配置・機能については 28 ページをご覧ください。

ブラウザーリモコンを終了するには、「>> Display Control Window」をクリックまたはブラウザーを終了してください。

お知らせ

- 「ネットワークコントロール」を必ず「オン」に設定してください。(☞ 68 ページ)
- WEB ブラウザーの URL 入力欄に「<http://xxx.xxx.xxx.xxx/remote/>」と入力することで、同様にブラウザーリモコンの画面を表示できます。
 - xxx.xxx.xxx.xxx は、本機に設定した IP アドレスです。
- ボタンの長押し操作はできません。
- 「初期設定」メニューの「リモコン操作制限」(☞ 83 ページ)で設定したリモコンのボタン操作制限はかかりません。
- 複数のブラウザーリモコンで同時に操作をすることは避けてください。
- アドミニストレーター権限とユーザー権限で、使用できる操作は同じです。
- ブラウザーリモコンの画面が表示されない場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
- ブラウザーリモコンの画面更新時に画面が一瞬白くなることがあります。故障ではありません。
- ブラウザーリモコン操作中は、WEB 制御画面やリモコン、外部制御コマンド等他の手段により本機を操作することは行わないでください。
- WEB ブラウザーの「戻る」または「進む」機能を使用した場合、画面表示が異常になることがあります。その場合、以降の動作は保証されませんので、WEB ブラウザーを最新の状態に更新してください。

USB メディアプレーヤーを使う

お知らせ

- USB 端子に接続した USB メモリーを使用する前提で機能を説明しています。

「使用メモリー選択」の設定が「内蔵メモリー」に選択されている場合は、内蔵メモリーを使用します。

機能の説明

USB メディアプレーヤーは、コントロールボックスへ USB メモリーを挿入することで、USB メモリー内に保存された静止画や動画を表示する機能です。

お知らせ

- 本機能をご使用になるには「初期設定」-「USB メディアプレーヤー設定」で「USB メディアプレーヤー機能」を「有効」に設定してください。(☞ 74 ページ)
- シングルメディアプレーヤーの場合に、静止画や動画の切り換わり時に黒画面の表示を抑えるよう動作しますが、以下の制約があります。
 - (1) 動画コードックの切り換わりに黒画面が表示される場合があります。
 - (2) フレームレートやアスペクト比が異なる動画に切り換わる場合、黒画面が表示されたり、映像が乱れる場合があります。また、16:9 の画角以外の場合は、再生終了付近で、映像が乱れる場合があります。

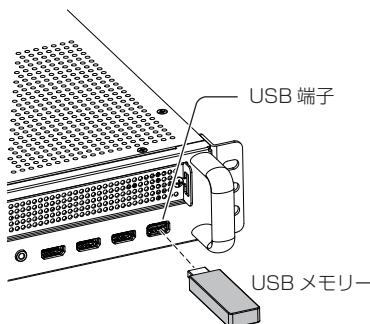
すべての動画への切り換わり時に黒画面を挿入(約 2 秒間)することで、(2) の映像が乱れる現象を見せないようにすることができます。「USB メディアプレーヤー設定」(☞ 74 ページ)

- 複数台監視制御ソフトウェア(☞ 89 ページ)のコンテンツリスト配信機能によって、USB メディアプレーヤーで再生できるコンテンツ(静止画 / 動画)およびその再生リストを配信が可能です(配信できる静止画は jpg ファイルのみ、動画は H.265/HEVC 以外です)。

詳しくは複数台監視制御ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

シングルメディアプレーヤー

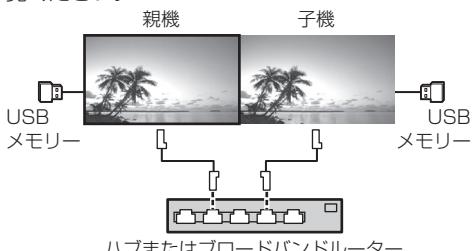
ファイルは 1 台の本機で再生されます。



マルチメディアプレーヤー

本機を複数台、LAN ケーブル接続すると USB メモリー内のファイルを同時に再生します。複数台のうち 1 台が親機になり、残りは子機になります。下図は 2 台の場合の構成例です。

LAN 接続については、118 ページ「ネットワーク環境(マルチメディアプレーヤーのみ)」をご覧ください。



お知らせ

- マルチメディアプレーヤーでは、本機 1 台につき 1 つの USB メモリーが必要です。
- マルチメディアプレーヤーでは、親機には scenario.dat と filelist.dat の 2 つが、子機には filelist.dat のみが必要です。
- GroupID:G01 は数字(2 衔の記述が必須)以外の文字は変更せずに記述してください。記述をしないとマルチメディアプレーヤーとして動作しません。
- マルチメディアプレーヤーで動画を再生する場合、前後の切り换わり時に黒画面が一定時間表示されます。

準備

■ 対応デバイスについて

- 市販の USB メモリーに対応しています。(セキュリティ機能がついたものは非対応。動作保証外です。)
- FAT16 または FAT32 でフォーマットしたもの以外は使用できません。
- USB の最大メモリサイズは、32GB です。
- シングルパーティション構成にのみ対応しています。

■ 準備するもの

メディアプレーヤーに対して、USB メモリーのルート直下に以下のファイルを用意します。

- 再生ファイル
- シナリオ（必要に応じて）
- ファイルリスト（必要に応じて）

お知らせ

- 再生に関係のないファイルは、USB メモリーから削除してください。
- 再生ファイルの最大数は、999 個までです。最大数を超えて格納した場合、一部のファイルは再生されません。シナリオファイルチェック（☞ 75 ページ）で、エラー表示を行います。
- シナリオのファイルは、最大 999 行までです。

■ 再生ファイル

本機のメディアプレーヤーは以下の形式をサポートしています。

USB メモリーのルート直下に保存します。

静止画

拡張子	フォーマット	制限事項
jpg/ jpeg/ jpe	JPEG	画素数： 最小 32 x 18 最大 4 096 x 4 096 (ペースラインのみ対応) YUV フォーマット： YUV444, YUV442, YUV440 に対応 カラーモード： RGB のみ対応
bmp	Windows Bitmap	画素数： 最小 32 x 18 最大 4 096 x 4 096 (1bit, 4bit, 8bit, 24bit) 次の形式には対応しておりません。 ランレングス圧縮、ビット フィールド、トップダウン、 透過データ

動画

拡張子	コーデック	
	映像	音声
avi	H.264/MPEG4 AVC MPEG4 Visual VC-1 Advanced VC-1 Simple & Main	AAC-LC/LPCM/MP/WMA Standard
mkv	H.264/MPEG4 AVC MPEG4 Visual VC-1 Advanced VC-1 Simple & Main H.265/HEVC	AAC-LC/HE-AAC/LPCM/MP3
wmv asf	H.264/MPEG4 AVC MPEG4 Visual VC-1 Advanced VC-1 Simple & Main	LPCM/MP3/WMA Standard/WMA9/WMA10 Pro
mp4/ mov/flv	H.264/MPEG4 AVC MPEG4 Visual H.265/HEVC	AAC-LC/HE-AAC/MP3
ts/mts	H.264/MPEG4 AVC H.265/HEVC	AAC-LC/HE-AAC/LPCM/MP3

制限事項

映像

コーデック	解像度
H.264/ MPEG4 AVC MP@L5.1/ HP@L5.1	1 920 x 1 080p@60.0 3 840 x 2 160p@30.0 ビットレート：最大 80Mbps ・ MVC（多視点）非対応
H.265 MP@L5.1/ MP10@L5.1	3 840 x 2 160p@60.0 1 920 x 1 080p@60.0 ビットレート：最大 80Mbps ・ GMC は 1 ポイントのみ対応 ・ Data Partitioning 非対応
MPEG4 Visual SP@L5/ASP@L5	1 920 x 1 080p@30.0 ビットレート：最大 40Mbps ・ MPEG4 Part2 で規定されるビデオ規格
VC-1 Advanced AP@L3	1 920 x 1 080i@30.0 1 920 x 1 080p@24.0 ビットレート：最大 40Mbps
VC-1 Simple & Main SP@LL/SP@ML/MP@LL/ MP@ML/MP@HL	1 920 x 1 080p@30.0 ビットレート：最大 40Mbps

音声		
コーデック	サンプリング周波数 (kHz)	ビットレート (kbps)
MP3	8/11.025/12/16/ 22.05/24/32/44.1/ 48	8～320
WMA Standard		32～384
WMA 9		32～384
WMA 10 Pro		32～384
LPCM		64～1 536 対応量子化ビット： 8/16/24/32
AAC(LC)		8～1 440
HE-AAC (Ver.2 Level4)		8～256

お知らせ

- 最大ビットレートは、USB3.0メモリーにおける上限で、使用するUSBメモリーの性能に依存します。
- 1ファイルの最大サイズは、2GBまでです。
- 記載されている対応フォーマットのファイルでも再生できないものがあります。
- デジタル著作権管理(DRM)で保護されたファイルは再生できません。
- ファイルやフォルダに半角英数字以外の文字が含まれる場合は表示や再生が正しく行われないおそれがあります。
ファイルやフォルダには半角英数字のみを使用することを推奨します。
- 映像と音声をともに対応しているコーデックとしてください。動画ファイルの音声コーデックが非対応フォーマットの場合、映像が正しく表示されない場合があります。また、音声のみのファイルは再生できません。
- コーデックのProfileやLevelなどで規定された最大ビットレートを超えて再生はできません。また、USBメモリーによっては、記載されている最大ビットレート以下でも再生できない場合があります。
- ファイルの画素数が画面サイズを超える場合、画質が変化します。
- 動画の種類によっては再生時に映像が一瞬乱れることがあります。

- 静止画／動画ファイルの一部の情報については、該当のファイルにアクセス可能なコンピューターで確認できます。

操作例

Windowsコンピューターの場合

1. ファイルを右クリックし、[プロパティ]をクリックする
 2. [詳細]タブをクリックする
- Macの場合
1. Controlキーを押しながらファイルをクリックし、[情報を見る]をクリックする
 2. [詳細情報]をクリックする

■シナリオ

再生ファイルに対して、再生順や時間を指定できます。

USBメモリーのルート直下に「scenario.dat」という名前(半角英字)で保存します。

- ファイルはUTF-8N形式で保存します。
- シナリオに指定できる行数は1～999行です。

■ファイルリスト

再生ファイルのリストです。

USBメモリーのルート直下に「filelist.dat」という名前(半角英字)で保存します。

- ファイルはUTF-8N形式で保存します。

■シナリオ／ファイルリスト関連用語

ファイル名

再生ファイルの名称です。

ファイル名は、拡張子を含む必要があります。

例) Introduction.jpg

Contents_Video01.wmv

- ファイル名の拡張子は、半角英数字で入力します。

ファイル定義

シナリオとファイルの間で共有するファイル定義です。

PHOTO_xxx： 静止画ファイル定義

VIDEO_xxx： 動画ファイル定義

- xxxの部分は、001～999を設定できます。

- ファイル定義は、半角英数字で入力します。

再生時間

ファイルの再生時間です。

再生時間は、3秒から24時間まで指定できます。(単位:秒)

例) 10 : 10秒

86400 : 24時間

10.5 : 10.5秒。小数点(ピリオド)を使って、1秒の10分の1(1/10)まで設定できます。

再生時間は省略可能です。

静止画については、ファイルは「USBメディアプレーヤー設定」の「スライドショー再生間隔」で選択した時間間隔で再生されます。
(☞ 75ページ)

動画については、ファイルの再生時間の間隔で再生されます。

- 再生時間は、半角数字で入力します。

- サイズの大きいファイルを再生する際、再生時間を短く指定すると画面にノイズが入るなど正常に再生できない場合があります。その場合は、再生時間を長め（10秒以上）に指定しなおしてください。

- 動画の再生時間にその動画ファイルの再生時間より長い時間を指定した場合、動画再生終了後は終了時の映像が表示されます。

グループ ID (マルチメディアプレーヤー用)

マルチメディアプレーヤーとして使用する際に、ネットワークを分類するために使用される ID です。

GroupID:Gxx : グループ xx

- xx の部分は、01～10 を設定できます。
- グループ ID は、1 バイトの英数字で入力します。

お知らせ

- UTF-8N: 文字コード UTF-8 で BOM (Byte Order Mark) がない形式です。Windows 標準のメモ帳は、本形式での保存に非対応です。対応しているテキストエディターをご使用ください。

ファイルの再生

■各モードの設定例

シングルメディアプレーヤー（タイプ 1）

ファイルは、USB メモリー内の名前順に再生されます。

シナリオ、ファイルリスト

シナリオ：不要

ファイルリスト：不要

設定例

USB メモリーcontents

- └ 000_Introduction.jpg
- └ 001_Contents_Video1.wmv
- └ 002_Contents_Video2.wmv
- └ 003_Contents_Video3.wmv

再生内容

上記の設定例の場合、以下の内容が繰り返し再生されます（ループ）。

1. 000_Introduction.jpg (*1)
2. 001_Contents_Video1.wmv (*2)
3. 002_Contents_Video2.wmv (*2)
4. 003_Contents_Video3.wmv (*2)

*1「スライドショー再生間隔」の設定時間の間、再生されます。

*2 ファイルの再生時間の間、再生されます。

シングルメディアプレーヤー（タイプ2）

ファイルは、シナリオに記載された順に再生されます。

シナリオ、ファイルリスト

シナリオ：

[ファイル名: 再生時間] を入力します。

ファイルリスト：不要

設定例

USB メモリーcontents

- └ scenario.dat
- └ Introduction.jpg
- └ Contents_Video1.wmv
- └ Contents_Video2.wmv
- └ Contents_Video3.wmv

scenario.dat (シナリオ)

- Introduction.jpg:10
- Contents_Video1.wmv:10
- Contents_Video2.wmv:20
- Contents_Video3.wmv:

再生内容

前記の設定例の場合、以下の内容が繰り返し再生されます（ループ）。

1. Introduction.jpg (10秒)
2. Contents_Video1.wmv (10秒)
3. Contents_Video2.wmv (20秒)
4. Contents_Video3.wmv (ファイルの再生時間の間、再生されます)

シングルメディアプレーヤー（タイプ3）

ファイルは、シナリオに記載された順に再生されます。

シナリオ、ファイルリスト

シナリオ：

[ファイル定義: 再生時間] を入力します。

ファイルリスト：

[ファイル定義: ファイル名] を入力します。

設定例

USB メモリーコンテンツ

```
└ filelist.dat  
  └ scenario.dat  
  └ Introduction.jpg  
  └ Contents_Video1.wmv  
  └ Contents_Video2.wmv  
  └ Contents_Video3.wmv
```

scenario.dat (シナリオ)

```
PHOTO_001:10  
VIDEO_001:10  
VIDEO_002:20  
VIDEO_003:
```

filelist.dat (ファイルリスト)

```
PHOTO_001:Introduction.jpg  
VIDEO_001:Contents_Video1.wmv  
VIDEO_002:Contents_Video2.wmv  
VIDEO_003:Contents_Video3.wmv
```

再生内容

上記の設定例の場合、以下の内容が繰り返し再生されます（ループ）。

1. Introduction.jpg (10 秒)
2. Contents_Video1.wmv (10 秒)
3. Contents_Video2.wmv (20 秒)
4. Contents_Video3.wmv (ファイルの再生時間の間、
再生されます)

マルチメディアプレーヤー

ファイルは、親機のシナリオに記載された順に再生されます。

シナリオおよびファイルリスト

[親機側]

シナリオ :

[ファイル定義 : 再生時間] を入力します。

ファイルリスト1行目 :

[グループID] を入力します。

ファイルリスト2行目以降 :

[ファイル定義 : ファイル名] を入力します。

[子機側]

シナリオ : 不要

ファイルリスト1行目 :

[グループID] を入力します。

ファイルリスト2行目以降 :

[ファイル定義 : ファイル名] を入力します。

設定例

[親機側]

USB メモリーコンテンツ

```
└ filelist.dat  
  └ scenario.dat  
  └ L_Introduction.jpg  
  └ L_Contents_Video1.wmv  
  └ L_Contents_Video2.wmv  
  └ L_Contents_Video3.wmv
```

scenario.dat (シナリオ)

```
PHOTO_001:10  
VIDEO_001:10  
VIDEO_002:20  
VIDEO_003:
```

filelist.dat (ファイルリスト)

```
GroupID:G01  
PHOTO_001:L_Introduction.jpg  
VIDEO_001:L_Contents_Video1.wmv  
VIDEO_002:L_Contents_Video2.wmv  
VIDEO_003:L_Contents_Video3.wmv
```

[子機側]

USB メモリーコンテンツ

```
└ filelist.dat  
  └ R_Introduction.jpg  
  └ R_Contents_Video1.wmv  
  └ R_Contents_Video2.wmv  
  └ R_Contents_Video3.wmv
```

filelist.dat (ファイルリスト)

```
GroupID:G01  
PHOTO_001:R_Introduction.jpg  
VIDEO_001:R_Contents_Video1.wmv  
VIDEO_002:R_Contents_Video2.wmv  
VIDEO_003:R_Contents_Video3.wmv
```

再生内容

上記の設定例の場合、以下の内容が繰り返し再生されます（ループ）。

[親機側]

1. L_Introduction.jpg (10秒)
2. L_Contents_Video1.wmv (10秒)
3. L_Contents_Video2.wmv (20秒)
4. L_Contents_Video3.wmv (*1)

[子機側]

1. R_Introduction.jpg (10秒)
2. R_Contents_Video1.wmv (10秒)
3. R_Contents_Video2.wmv (20秒)
4. R_Contents_Video3.wmv (*1)

*1 L_Contents_Video3.wmv（親機側）の再生時間の間、再生されます。

お知らせ

- メニュー画面が表示されていない間は▶で次の再生ファイルへ、◀で前の再生ファイルへスキップし、▼で先頭のファイルから再生しなおすことができます（リモコンのみ対応）。この操作を行った場合、再生の前に黒画が挿入されます。スケジュール再生機能が有効時は、スキップ操作はできません。
- 「日付と時刻」（☞ 66 ページ）の設定により、日付、時刻を変更時は、現在再生中のファイル再生を中断し、再度ファイルの最初から再生を実施します。
- IPv6 設定で通信している場合、マルチメディアプレーヤーは動作しません。

■ USB メモリー内容チェック

USB メモリーの内容チェックは「USB メディアプレーヤー設定」の「シナリオファイルチェック」で実行できます。（☞ 75 ページ）

エラーがあるときは以下の形式でお知らせします。

A(B) : C

D

A : エラーがあるファイル名

B : エラーがある行

C : エラーコード

D : エラー内容

お知らせ

- 主要なエラーコードを表示します。
エラーの検出内容は以下のとおりです。

エラーコード	エラー内容
1.	USB メモリーが挿入されていません。
2.	scenario.dat/filelist.dat が開けません。
3.	scenario.dat/filelist.dat の記載内容にエラーがあります。

4.	再生ファイルの形式はサポートされていません。
5.	再生ファイルが存在しません。
6.	マルチメディアプレーヤーに必要なグループID が未設定です。
7.	ファイル定義が重複しています。
8.	シナリオの再生時間が範囲外です。
9.	シナリオに記載されたファイル定義がファイルリストにありません。
10.	シナリオの再生ファイルが 0 もしくは 1 000 以上あります。
11.	再生ファイルが 0 もしくは 1 000 以上あります。 (シングルメディアプレーヤー(タイプ1)のみ)
12.	ファイルリストにグループID しかありません。 (マルチメディアプレーヤーのみ)

※エラーコード 1 および 11 の場合は、下記のようにエラーコードとエラー内容のみ表示されます。

1

USB メモリーが挿入されていません。

補足事項

USB メモリー内容チェックは、再生ファイルが再生可能かどうかは判断できません。

メディアプレーヤーが有効であるのにファイルが再生できない場合、エラーメッセージが表示されます。

マルチメディアプレーヤーで同期再生する場合には、「USB メディアプレーヤー設定」の「シナリオファイルチェック」で再生可能であることを確認してください。

ネットワーク環境（マルチメディアプレーヤーのみ）

■ LAN 接続および IP アドレス／サブネットマスクの設定例

下記のように、複数台の本機を LAN ケーブルで接続し、IP アドレス／サブネットマスクを設定し、すべてのディスプレイが同じネットワークに存在するようにします。



お知らせ

- すべてのディスプレイの「ネットワークコントロール」を「オン」に設定してください。（☞ 68 ページ）
- ネットワークの環境によっては、同期が大きくずれる可能性があります。
- ネットワークトラフィックが混雑しないように、他の機器を接続しないでください。
- ディスプレイ間にルーターを置くと接続できません。同じサブネット内で使用してください。
- 正常に再生できない場合があるため、無線 LAN で接続しないでください。

メディアプレーヤーの開始／終了

お願い

- お使いになる USB 端子を「USB 接続先設定」で選択してください。（☞ 83 ページ）
- USB 端子により、外部機器に供給できる電力が異なります。（「USB 端子の接続例」☞ 25 ページ）

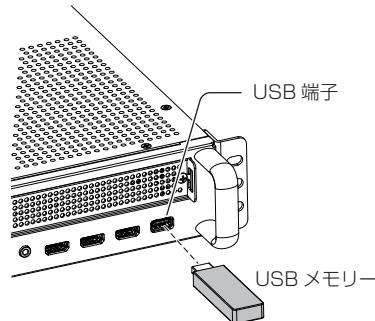
■ シングルメディアプレーヤーの場合

開始

- コントロールボックス正面の USB 端子にメディアプレーヤー用の USB メモリーを挿入します。

お知らせ

- USB メモリーのタイプによってはバックカバーなど周辺部に接触して取り付けられない場合があります。本機に接続可能な USB メモリーをご使用ください。



- USB メモリー内容チェックを実行します。

- 入力を「USB」に切り替えます。

終了

- 入力を「USB」以外に切り替えます。

■ マルチメディアプレーヤーの場合

開始

- 複数台の本機を LAN ケーブルで接続します。（☞ 118 ページ「LAN 接続および IP アドレス／サブネットマスクの設定例」）
- メディアプレーヤー用の USB メモリーを各コントロールボックスに挿入します。
- 各コントロールボックスで USB メモリー内容チェックを実行します。
- 子機入力を「USB」に切り替えます。
- 親機入力を「USB」に切り替えます。

終了

- 親機入力を「USB」以外に切り替えます。

途中から再生機能（レジューム再生）

メディアプレーヤー終了後、次に再生されるファイルは、「USB メディアプレーヤー設定」の「途中から再生」の設定により異なります。

設定が「オン」の場合：

メディアプレーヤーの終了前に再生されたファイルが、最初から再生されます。

設定が「オフ」の場合：

シナリオの最初のファイルの初めから再生されます。

お知らせ

- 途中から再生機能は本機の電源を切るか USB メモリーを抜くまで保持されます。

プレイリスト編集機能

USB メディアプレーヤーのシナリオを作成・編集する機能です。「初期設定」 - 「USB メディアプレーヤー設定」 - 「プレイリスト編集」で、コンテンツの選択、再生順・再生時間の設定、USB メモリーへのファイル出力 (scenario.dat) ができます。

お知らせ

- USB 端子に接続した USB メモリーを使用する前提で機能を説明しています。
「使用メモリー選択」の設定が「内蔵メモリー」に選択されている場合は、内蔵のメモリーを使用します。
- シナリオ (scenario.dat) の記述は、USB メディアプレーヤーの制約に従います。
- プレイリスト編集後は、シングルメディアプレーヤー（タイプ 2）として動作します。
- USB メモリーまたは内蔵メモリー内にすでにシナリオ (scenario.dat) ファイルがある場合は、削除後に新規作成します。
- USB メモリーまたは内蔵メモリー内にファイルリスト (filelist.dat) ファイルがある場合は削除します。
- プレイリスト編集中は以下の機能が無効になります。

「位置調整」

「音声の調整」

「画質の調整」

「初期設定」

- 「信号モード」
- 「入力表示書換設定」
- 「パワーマネージメント設定」 - 「無信号自動オフ」
- 「イメージ設定」 - 「ユーザーイメージ読込」
- 「マルチ画面設定」
- 「ファンクション設定」
- 「フェイルオーバー / フェイルバック」
- 「音声入力切換」

デジタルズーム

- プレイリスト編集中の画質ならばに音声は、MEMORY VIEWER 入力と同じ調整内容になります。
- プレイリスト編集を行う場合は USB メモリーに 2MB 以上の空き領域が必要です。
- ファイルの読み書きが正常に行える USB メモリーをお使いください。
- プレイリスト編集機能の操作にはリモコンをご使用ください。

1. ファイル選択画面

再生するコンテンツファイルを選択します。

ファイルを選択後、<6> を押して、次の編集画面に進みます。



リモコンボタンを押して次の操作ができます。

- <音量 +> コンテンツを選択（サムネイルの左上にチェックを付ける）
- <音量 -> コンテンツ選択を解除（サムネイルの左上にチェックが付いていた場合にチェックを消去）

▲▼◀▶ フォーカスを移動

- <4> すべてのチェックを消去
- <決定> コンテンツを再生または階層移動
- <戻る> プレイリスト編集を終了または上位階層へ移動
- <6> 次の編集画面に進む

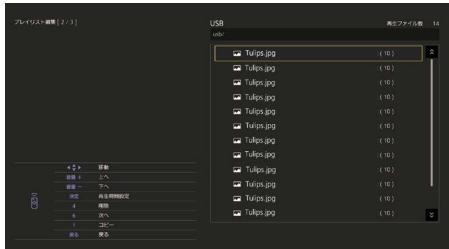
お知らせ

- USB メモリーまたは内蔵メモリー内にすでにシナリオ (scenario.dat) がある場合は自動的に読み込み、該当ファイルが存在すれば、コンテンツ選択画面ではそれがすでに選択済みの状態になります。
- シナリオ (scenario.dat) から読み込む行数は最大 999 行までです。
- USB メモリーまたは内蔵メモリー内にファイルリスト (filelist.dat) がある場合、シナリオ (scenario.dat) があっても読み込みます、何も選択されていない状態でコンテンツ選択画面が表示されます。
- USB ルート直下だけでなく、フォルダ内のファイルについても選択可能です。
- 選択可能なコンテンツ数は最大 999 個です。

- 999 個選択済みの場合、未選択のコンテンツに対して <音量 +> を押してもコンテンツを選択できません。
- <4> すべてのチェックを消去する場合、実行確認画面が表示されます。

2. 再生順 / 再生時間設定画面

選択したコンテンツを再生順に並べて、再生時間を設定します。



リモコンボタンを押して次の操作ができます。

<音量 +> コンテンツを 1 つ上へ移動

<音量 -> コンテンツを 1 つ下へ移動

▲▼◀▶ フォーカスを移動

<1> 現在選択しているコンテンツをコピーしてリストに追加

<4> 現在選択しているコンテンツをリストから削除

<決定> 再生時間を設定する画面を表示

<戻る> 前の編集画面に戻る

<6> 次の編集画面に進む

<決定> を押すと再生時間を設定する画面が表示されます。

数値の入力方法については「数値の入力方法」(☞ 70 ページ)をご覧ください。



お知らせ

- 再生時間の設定範囲は、0、3（最小）～86400（最大）です。0 に設定した場合は再生時間の設定を削除します。
- プレイリスト編集で設定できる再生時間は 1 秒単位となります。すでにシナリオ（scenario.dat）があり、該当ファイルの再生時間に小数点を使った指定がされている場合、シナリオファイルの書き出しを行うと 1 秒単位の再生時間に変換されます。
- 再生時間が設定されたコンテンツは、ファイル名の右側に “:” 再生時間（秒）が表示されます。

再生時間が設定されていないコンテンツは、静止画の場合はファイル名の右側に “:(数字)” が表示されます。（数字は「USB メディアプレーヤー設定」-「スライドショー再生間隔」の設定値（☞ 75 ページ）です。）動画の場合はファイル名の右側に “:(--)" が表示されます。

- <4> でコンテンツをリストから削除する場合、実行確認画面が表示されます。
- 再生コンテンツが既に 999 個ある場合、<1> を押してもリストに追加できません。

3. ファイル出力画面

◀▶ で「はい」を選択して、<決定> を押す。USB メモリーまたは内蔵メモリーへのファイル出力を開始します。

4. 終了画面

終了画面が表示されます。

コンテンツマネージメントソフトウェアによるスケジュール再生機能について

本機は、静止画や動画を再生するために必要なスケジュールのデータを、パソコン上で作成するためのソフトウェア「コンテンツマネージメントソフトウェア」に対応しています。

コンテンツマネージメントソフトウェアで設定できる機能は以下の通りです。

- ・コンテンツ再生（静止画・動画）
- ・音楽再生
- ・入力切り換え
- ・電源制御
- ・マルチ画面設定
- ・テロップ表示

各機能の設定方法・詳細については、コンテンツマネージメントソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- USB 端子に接続した USB メモリーを使用する前提で機能を説明しています。
- 「使用メモリー選択」の設定が「内蔵メモリー」に選択されている場合は、内蔵メモリーを使用します。
- IPv6 設定で通信している場合、コンテンツマネージメントソフトウェアでのスケジュール再生機能は動作しません。
- 本機能をご使用になるには「初期設定」-「USB メディアプレーヤー設定」で「USB メディアプレーヤー機能」と「スケジュール再生機能」をともに「有効」に設定してください。(☞ 74 ページ)
- 対応デバイスについては「対応デバイスについて」(☞ 113 ページ) をご覧ください。
- 本機能での USB メモリーの挿入は、電源オン時またはスケジュール待機スタンバイのときに行ってください。それ以外のときに USB メモリーを挿入しても、スケジュール再生は行われません。
- USB メディアプレーヤーで制限される機能は、スケジュール再生機能中も同様に制限されます。

■スケジュール再生モード

「USB メディアプレーヤー機能」が「有効」、「スケジュール再生機能」が「有効」のとき、本機は「スケジュール再生モード」となり、設定されたスケジュールの通りにコンテンツ再生を行います。

スケジュール再生モードになった際に、すでにスケジュールが指定された時間であった場合、「再生モード」(☞ 76 ページ)に応じて以下のように動作します。

- ・個別再生モードの場合
指定されたスケジュールの最初から再生を開始します。
- ・同期再生モードの場合
次回コンテンツ開始時刻より、同期再生を開始します。

お知らせ

- 「スケジュール再生モード」になると自動で入力が「USB」または「Internal Memory」に切り換わります。
- 「スケジュール再生モード」中は一部の本機機能が無効となります。
- 「スケジュール再生モード」中に入力切り換えを行うと、スケジュール再生を一旦中断します。

再びスケジュール再生を行いたい場合は、

- ・入力を USB または Internal Memory に切り換えると、次回スケジュールより再生を開始します。
- ・リモコンで電源を切ると、次の電源オンとなるスケジュールで電源が立ち上がり、スケジュール再生を開始します。

上記の動作によりスケジュール再生に復帰します。

- 「スケジュール再生モード」中に <画面表示> を押すと、「スケジュール再生モード」の表示が出ます。
- 「スケジュール再生モード」中はメディアプレーヤーのシナリオ再生機能は動作しません。

■コンテンツ再生

スケジュールで設定した時刻に、指定したコンテンツを再生します。

再生ファイルに関しては以下の形式をサポートしています。

静止画

拡張子	フォーマット	制限事項
.jpg/.jpeg/.jpe	JPEG	画素数： 最小 32 x 18 最大 4 096 x 4 096 (ベースラインのみ対応) YUV フォーマット： YUV444, YUV442, YUV440 に対応 カラーモード： RGB のみ対応

bmp	Windows Bitmap	画素数： 最小 32 x 18 最大 2 000 x 2 000 (1bit, 4bit, 8bit, 24bit) 次の形式には対応しておりません。 ランレングス圧縮、ピット フィールド、トップダウソ、 透過データ
-----	----------------	--

動画

拡張子	コーデック	
	映像	音声
avi	H.264/MPEG4 AVC MPEG4 Visual VC-1 Advanced VC-1 Simple & Main	AAC-LC/LPCM/MP3 WMA Standard
wmv	H.264/MPEG4 AVC MPEG4 Visual VC-1 Advanced VC-1 Simple & Main	LPCM/MP3/WMA Standard/WMA9/WMA10 Pro
mp4 / mov	H.264/MPEG4 AVC MPEG4 Visual H.265/HEVC	AAC-LC/HE-AAC/MP3

お知らせ

- 記載されている再生フォーマットのファイルでも再生できないものがあります。
- 再生ファイルの映像コーデックに関しての制限事項は「再生ファイル」(☞ 113 ページ)をご覧ください。
- コンテンツマネージメントソフトウェアから作成・配信される設定ファイル([PRIVATE] フォルダ以下)の中身を変更された場合、動作は保証できません。
- コンテンツが設定されていない時刻の場合、画面は黒画のまま何も表示されません。
またこのとき、画面右上に「スケジュール待機中」の表記が表示されます。
この表示をオフしたい場合は、「初期設定」-「OSD 設定」メニューの「オンスクリーン表示」機能を「オフ」にしてください。
- コンテンツの各コーデックの詳細については、USB メディアプレーヤー機能の再生コンテンツの制限事項をご確認ください。

■ 音楽再生

- スケジュールデータで設定した時刻に音楽コンテンツを再生します。
再生ファイルに関しては以下の形式をサポートしています。

音楽

拡張子	コーデック	フォーマット
mp3	MPEG-1 Audio Layer-3	サンプルレート： 最大 48kHz
wma	WMA	チャンネル：最大 2ch ビットレート： 最大 320kbps

お知らせ

- 記載されている再生フォーマットのファイルでも再生できないものがあります。
- 非対応の音楽コンテンツをスケジュールに設定した場合は、その音楽コンテンツは再生されません。
- 音楽コンテンツが再生されるのは USB または Internal Memory 入力のみです。
- 動画コンテンツと音楽コンテンツは同時に再生できません。同時に 2 つのコンテンツ再生が設定されている場合、動画コンテンツが優先して再生されます。
- 音楽コンテンツ再生中に動画コンテンツの再生が始まつた場合、音楽コンテンツの再生は停止します。
- 動画コンテンツの再生が終了し、音楽コンテンツが再生される場合、コンテンツの初めから再生されます。
- 音楽コンテンツは他のディスプレイとの同期再生はできません。
- 音楽コンテンツの切り換わりの際には、数秒の準備時間が発生します。

■ 入力切り換え

スケジュールデータで設定した時刻になると、指定した入力に入力切り換えを行います。また、設定した時刻が過ぎると、再び USB または Internal Memory 入力に戻ります。

お知らせ

- 入力切り換え先が無信号の場合でも、切り換えは行われます。
- 入力切り換えが行われる際、入力表示は表示されません。

■ 電源制御

スケジュールデータで設定した時刻に、電源オン・電源オフを行います。

お知らせ

- 「スケジュール再生モード」中に電源がオフされると、スケジュール待機スタンバイモードとなります。
- スケジュール待機スタンバイモード中は待機電力が通常時と比べて増加します。
- スケジュール待機スタンバイ中も、「スケジュール再生モード」での本機能の一部無効は継続します。
- 電源オンのスケジュールは、指定されたスケジュール時刻の 1 分前に動作いたします。
- 電源オンのスケジュールの 1 分前以降にスケジュール待機スタンバイモードになった場合は、当該時刻のスケジュール再生機能での電源オンは行われません。
- スケジュール再生機能での電源オン動作は、スケジュール待機スタンバイ以外のスタンバイ状態では動作しません。

■ マルチ画面のマルチスクリーン表示設定

再生するコンテンツについて、以下の設定を行います。

- 個別再生モードで再生する
- 同期再生モードで再生する
- 本機の「マルチ画面設定」-「マルチスクリーン表示」の設定を変更する

個別再生モード

コンテンツはディスプレイ 1 台での単独再生となります。

同期再生モード

複数台のディスプレイで同期して再生します。

同期再生モードで再生するには、下記の設定をする事で正常に動作します。

- 「USB メディアプレーヤー機能」を「有効」
- 「スケジュール再生機能」を「有効」
- 「ディスプレイ間同期」を「オン」
- 「同期親子設定」を、時刻の基準となるディスプレイ 1 台を「親」、それ以外のセットを「子」

お知らせ

- 「個別再生モード」および「同期再生モード」は、従来の USB メディアプレーヤーの「シングルメディアプレーヤー」や「マルチメディアプレーヤー」とは別の動作となります。
- 同期再生モードで再生する場合、コンテンツの切り換わりに約 5 秒間の準備時間が追加されます。
- 複数台で同期再生を行う場合、「ディスプレイ間同期」機能をオンに設定して、再生するディスプレイ同士の時刻を合わせてください。
- 「ディスプレイ間同期」が「オン」の場合も、時刻が正しく同期していない場合は正常に動作しない場合があります。「ディスプレイ間同期」の動作条件をご確認ください。(☞ 67 ページ)

- コンテンツマネージメントソフトウェアのスケジュールデータに「マルチ画面設定」・「マルチスクリーン表示」の指定があった場合は、その設定値のマルチスクリーン表示に切り換わります。指定のスケジュール再生中は「マルチスクリーン表示」の設定は変更できません。指定のスケジュールが終了すると「マルチスクリーン表示」の設定は設定前の状態に戻ります。

■ テロップ表示

スケジュールデータで設定した時刻に、テロップを表示します。

お知らせ

- テロップは映像の上に重ねて表示されます。
- テロップで表示できる文字数は最大 600 文字までとなります。
- テロップのスクロールは、コンテンツ再生・音楽再生の切り換わり付近のタイミングで停止することがあります。
- テロップは入力切り換えを行うと非表示になります。ただし、スケジュール再生機能による入力切り換えでは、テロップの表示を継続します。
また、スケジュール再生機能を再開するとテロップは最初から表示されます。
- 「表示言語切換」の設定を変更する、またはディスプレイ ID / ディスプレイ名を表示すると、表示中のテロップが消去されます。
- スケジュールデータの作成時、「スクロール」設定を「しない」にした状態で、文字数の多いテロップを表示せると、テロップ文字が画面からはみ出て表示されます。
- テロップは再生モードが同期再生の場合も他のディスプレイと同期しません。

■ 無効機能について

「スケジュール再生モード」中は、以下の本機機能が「無効（オフ）」となります。

- 「タイマー設定」
- 「スクリーンセーバー」
- 「パワーマネジメント機能」
- 「無信号自動オフ」
- 「HDMI-CEC 設定」
- 「無操作自動オフ」
- 「OSD 透過率」
- 「イメージ設定」（ユーザーイメージ読込無効）
- 「入力信号サーチ」
- 「スタート入力設定」
- 「入力切換固定」
- 「フェイルオーバー / フェイルバック」

お知らせ

- 無効状態の機能は、オンラインメニューではグレー表示で設定できません。またシリアルコマンドも「ER401」となります（問い合わせコマンドを含む）。
- 「スケジュール再生モード」中、無効機能は「無効（オフ）」となり強制的に動作が停止します。
- 「スケジュール再生モード」が終了すると、無効だった本機機能は元の設定値に戻ります。
- 「マルチ画面設定」・「マルチスクリーン表示」を設定する場合、設定できるのは「横拡大率」・「縦拡大率」・「拡大位置」のみとなります。「目地設定」は設定できません。
- ARC 機能は使用できません。「初期設定」・「HDMI-CEC 設定」メニューの「ARC」を必ず「オフ」に設定してください。（[P. 60 ページ](#)）

■ 途中から再生機能（レジューム再生）

「スケジュール再生モード」を一旦中断した後、再びスケジュール再生に復帰した時の動作を設定します。

設定が「オン」の場合：

スケジュール再生モードが中断される直前のコンテンツが、最初から再生されます。

設定が「オフ」の場合：

現在の時刻のスケジュール設定されたプレイリストの最初から再生されます。

お知らせ

- スケジュールが同期再生モードの再生の場合、設定が「オン」「オフ」どちらの場合でも、時刻通りの再生を行います。

メモリービューアーを使う

メモリービューアーは、USB メモリーまたは内蔵メモリー内に保存された静止画や動画を選択し、ディスプレイに表示する機能です。

お知らせ

- USB 端子に接続した USB メモリーを使用する前提で機能を説明しています。

「使用メモリー選択」の設定が「内蔵メモリー」に選択されている場合は、内蔵メモリーを使用します。

準備

■メモリービューアー機能で再生できるファイル

以下のファイルを再生できます。

静止画

拡張子	フォーマット	制限事項
jpg/ jpeg/ jpe	JPEG	画素数： 最小 32 x 32 最大 4 096 x 4 096 (ベースラインのみ対応) YUV フォーマット： YUV444、YUV442、 YUV440 に対応 カラーモード： RGB のみ対応
bmp	Windows Bitmap	画素数： 最小 32 x 32 最大 4 096 x 4 096 (1bit、4bit、8bit、24bit) 次の形式には対応しておりません。 ランレングス圧縮、ビット フィールド、トップダウン、 透過データ 画素数が 1 920 x 1 080 を超える場合には、表示す るまでに長時間要すること があります。

動画

拡張子	コーデック	
	映像	音声
avi	H.264/MPEG4 AVC MPEG4 Visual VC-1 Advanced VC-1 Simple & Main	AAC-LC/LPCM/MP/ WMA Standard

mkv	H.264/MPEG4 AVC MPEG4 Visual VC-1 Advanced VC-1 Simple & Main H.265/HEVC	AAC-LC/HE-AAC/LPCM/ MP3
wmv asf	H.264/MPEG4 AVC MPEG4 Visual VC-1 Advanced VC-1 Simple & Main	LPCM/MP3/WMA Standard/WMA9/ WMA10 Pro
mp4/ mov/flv	H.264/MPEG4 AVC MPEG4 Visual H.265/HEVC	AAC-LC/HE-AAC/ MP3
ts/mts	H.264/MPEG4 AVC H.265/HEVC	AAC-LC/HE-AAC/ LPCM/MP3
制限事項		
映像		
コーデック		解像度
H.264/ MPEG4 AVC MP@L5.1/ HP@L5.1	1 920 x 1 080p@60.0 3 840 x 2 160p@30.0 ビットレート：最大 80Mbps • MVC（多視点）非対応	
H.265 MP@L5.1/ MP10@L5.1	3 840 x 2 160p@60.0 1 920 x 1 080p@60.0 ビットレート：最大 80Mbps • GMC は 1 ポイントのみ対応 • Data Partitioning 非対応	
MPEG4 Visual SP@L5/ASP@ L5	1 920 x 1 080p@30.0 ビットレート：最大 40Mbps • MPEG4 Part2 で規定されるビデオ規格	
VC-1 Advanced AP@L3	1 920 x 1 080i@30.0 1 920 x 1 080p@24.0 ビットレート：最大 40Mbps	
VC-1 Simple & Main SP@LL/SP@ ML/MP@LL/ MP@ML/MP@ HL	1 920 x 1 080p@30.0 ビットレート：最大 40Mbps	

音声		
コーデック	サンプリング周波数 (kHz)	ビットレート (kbps)
MP3	8/11.025/12/16/ 22.05/24/32/44.1/ 48	8～320
WMA Standard		32～384
WMA 9		32～384
WMA 10 Pro		32～384
LPCM		64～1 536 対応量子化ビット： 8/16/24/32
AAC(LC)		8～1 440
HE-AAC (Ver.2 Level4)		8～256

音楽

コーデック		
拡張子		コーデック
mp3	MPEG-1 Audio Layer-3	サンプルレート： 最大 48kHz
wma	WMA	チャンネル： 最大 2ch ビットレート： 最大 320kbps

お知らせ

- 最大ビットレートは、USB3.0 メモリーにおける上限で、使用する USB メモリーの性能に依存します。
- 静止画 / 動画ファイルの一部の情報については、該当のファイルにアクセス可能なコンピューターで確認できます。
- 対応デバイスについては「対応デバイスについて」(☞ 113 ページ) をご覧ください。
- 記載されている再生フォーマットのファイルでも再生できないものがあります。
- ファイルの画素数が画面サイズを超える場合、画質が変化します。

操作例

- Windows コンピューターの場合
 1. ファイルを右クリックし、[プロパティ] をクリックする
 2. [詳細] タブをクリックする
- Mac の場合
 1. 「Control」キーを押しながらファイルをクリックし、[情報を見る] をクリックする
 2. [詳細情報] をクリックする
- 1 ファイルの最大サイズは、2GB までです。
- ファイル / フォルダの最大数：2 000 個までです。超えた場合は、2 000 個までのファイル / フォルダのみ表示されます。
- デジタル著作権管理 (DRM) で保護されたファイルは再生できません。
- ファイルやフォルダに半角英数字以外の文字が含まれる場合は表示や再生が正しく行われないおそれがあります。
ファイルやフォルダには半角英数字のみを使用することを推奨します。

- 再生可能なファイルでもサムネイルが正しく表示されないものがあります。
- ファイルパス（フォルダ情報）および拡張子を含めたファイル名が半角英数字 248 文字以上になるとサムネイルは表示されません。(☞ 126 ページ)
- アスペクト比が異なるコンテンツを連続再生する場合、コンテンツ切り換わり時に映像が一瞬乱れことがあります。
連続再生する場合はアスペクト比を統一することを推奨します。
- 動画の種類によってはサムネイル表示時や再生時に映像が一瞬乱れことがあります。

メモリービューアー画面を表示する

<入力切換>を押して入力を「MEMORY VIEWER」に切り替えます。

「入力切換」機能を数字ボタン(<1>～<6>)に設定するとワンタッチで入力が「MEMORY VIEWER」に切り換わります。(☞78ページ)
サムネイルまたはファイルリストが表示されます。サムネイルとファイルリストの表示切り換えは「初期設定」-「メモリービューアー設定」で設定します。(☞76ページ)

お知らせ

- メモリービューアーの操作にはリモコンをご使用ください。

■ サムネイル画面



①サムネイル

フォルダ、静止画、動画または音楽ファイルを表示します。

次のアイコンが表示されます。

選択すると上位階層へ移動します。

選択すると下位階層へ移動します。

静止画ファイルです。

動画ファイルです。

音楽ファイルです。

対応している拡張子ですが、再生できないファイルです。

サムネイル形式では、サムネイル用の画像を表示できる場合は画像を自動生成し、アイコンがサムネイル画像に差し替えられます。

お知らせ

● Exif 情報を含む画像の場合、サムネイル画像と再生時の向きが異なることがあります。

②選択されているファイルの情報を表示します。

③リモコン操作ガイド

④状態表示アイコン

コンテンツ種類、表示順、再生方式の状態をアイコンで表示します。

コンテンツ種類



静止画



静止画・動画



動画



動画・音楽



音楽



静止画・音楽



オール

表示順



ファイル名・昇順



日時・昇順



ファイル名・降順



日時・降順

再生方式



リピートなし



ランダム



1 ファイル繰り返し



選択



全ファイル繰り返し



プログラム

■ ファイルリスト画面



①ファイルリスト

フォルダ、静止画、動画または音楽ファイルを表示します。

②選択されているファイルの情報を表示します。

③リモコン操作ガイド

静止画を再生する



ファイルリスト画面でもファイルの選択方は同じです。

1 サムネイル / ファイルリスト画面において、**▲▼◀▶**で再生したいファイルを選択します。

お知らせ

- 「再生方式」が「選択」または「プログラム」の場合、**<音量 +>**/**<音量 ->**で再生したいファイルを指定します。[\(☞ 76 ページ\)](#)

また、ファイル指定は以下の操作により解除されます。

- ・フォルダ移動
- ・「再生方式」の変更
- ・USBメモリーの抜き取り
- ・入力切り換え
- ・電源オフ

2 <決定>を押します。

全画面に静止画が表示されます。



①リモコン操作ガイド

リモコンボタンを押して次の操作ができます。

- ◀ 前のファイルへ移動
- ▶ 次のファイルへ移動
- ▲ 画像の右回転 (90°)
- ▼ 画像の左回転 (90°)
- <決定> 生再生の一時停止／再生再開
- <戻る> 一覧表示に戻る
- <1> 未使用
- <2> 再生コンテンツの情報を表示／消去する

<3> 未使用

<4> 未使用

<5> リモコン操作ガイドを表示／消去する

<6> 未使用

再生中に**<決定>**を押すと一時停止します。もう一度押すと再生を再開します。

再生中に**◀**を押すと前の画像から、**▶**を押すと次の画像から再生を続けます。

再生間隔は「初期設定」-「メモリービューウー設定」で設定します。[\(☞ 76 ページ\)](#)

3 <戻る>を押します。

サムネイルまたはファイルリスト画面に戻ります。

動画・音楽を再生する

1 「静止画を再生する」と同じように再生したいファイルを選択します。

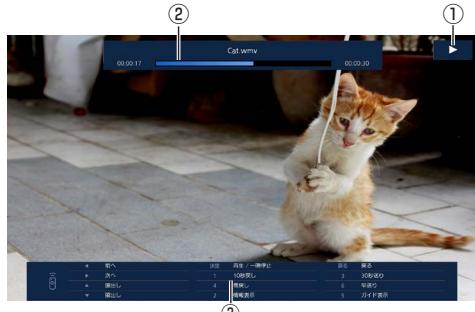
[\(☞ 127 ページ\)](#)

2 <決定>を押します。

全画面に動画が表示されます。

お知らせ

- 音楽を再生する場合、画面に音楽アイコンが表示されます。



①早送り／巻戻し／一時停止の表示

▶ 通常再生

⏸ 一時停止中

▶▶ 早送り（第一段階）

▶▶▶ 早送り（第二段階）

◀▶ 巻き戻し（第一段階）

◀◀◀ 巻き戻し（第二段階）

②タイムバー

③リモコン操作ガイド

リモコンボタンを押して次の操作ができます。
再生中に <4> を押すと巻戻し、<6> を押すと早送りを行います。ボタンを押すたびに、早さが 2 段階で変わり、通常再生に戻ります。

◀ 前のファイルへ移動

▶ 次のファイルへ移動

▲ 頭出し（現在のファイルを最初から再生）

▼ 頭出し（現在のファイルを最初から再生）

<決定> 再生一時停止／再生再開

<戻る> 一覧表示に戻る

<1> 10 秒戻る

<2> 再生コンテンツの情報を表示／消去する

<3> 30 秒進む

<4> 巷戻し

<5> リモコン操作ガイドを表示／消去する

<6> 早送り

お知らせ

- 再生するコンテンツによっては、「10 秒戻る」や「30 秒進む」が正しく動作しない場合があります。

3 <戻る> を押します。

サムネイルまたはファイルリスト画面に戻ります。

■無効機能について

メモリービューウー機能使用中は、以下の本機機能が無効となります。

- 「イメージ設定」の「ユーザーイメージ読込」
- マルチ画面のマルチスクリーン表示
- デジタルズーム
- 無信号自動オフ
- 「位置調整」
- ファンクション機能（コンテンツ再生中のみ無効）

お知らせ

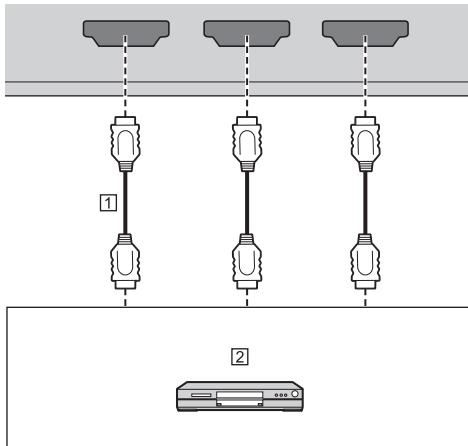
- LED パネルの残像軽減のため、スクリーンセーバー機能のご利用をおすすめします。（ 54 ページ）

HDMI-CEC 機能を使う

HDMI-CEC 機能は、本機と HDMI-CEC 対応機器の連動制御により、本機のリモコンのみで HDMI-CEC 対応機器の基本操作を可能にする機能であり、また、HDMI-CEC 対応機器のリモコン（あるいは本体のボタン）のみで、本機の電源オフ／オンと入力切り替えを可能にする機能です。

接続例

HDMI IN 1、HDMI IN 2、HDMI IN 3、SLOT1 または SLOT2 端子に HDMI-CEC 対応機器を接続します。



- ① HDMI ケーブル（市販品）
- ② ブルーレイディスクプレイヤー

設定

- ① 接続した機器側（HDMI-CEC 対応機器）で、本機能が動作するように設定します。
- ② 「HDMI-CEC 設定」 - 「HDMI-CEC 制御」を「有効」にします。（☞ 59 ページ）
- ③ すべての機器の電源を入れて、本機の電源を切／入したあと、HDMI1、HDMI2、HDMI3、SLOT1 または SLOT2 入力で映像が正しく映ることを確認してください。

機器の運動

「HDMI-CEC 設定」で「連動機能」について各種設定することにより、以下の連動動作を行います。

■「ディスプレイ → 機器」の連動

- ・ 設定が「電源オフ」、「電源オフ／オン」の場合：
本機を電源オフすると、接続されているすべての HDMI-CEC 対応機器を電源オフします。
- ・ 設定が「電源オフ／オン」の場合：
本機を電源オンすると、入力が「HDMI1」、「HDMI2」、「HDMI3」、「SLOT1」または「SLOT2」の場合、「HDMI1」、「HDMI2」、「HDMI3」または「SLOT」入力に接続されている HDMI-CEC 対応機器を電源オフします。
- ・ 本機の入力を「HDMI1」、「HDMI2」、「HDMI3」、「SLOT1」または「SLOT2」に切り換えると、接続している HDMI-CEC 対応機器を電源オフします。

お知らせ

- 「電源オフ／オン」設定で本機を電源オンしたときに、入力が「HDMI1」、「HDMI2」、「HDMI3」、「SLOT1」または「SLOT2」で機器が複数台接続されている場合は、最後に視聴されていた機器を電源オフします。
- 「電源オフ／オン」設定で本機を電源オンしたときに、入力が「HDMI1」、「HDMI2」、「HDMI3」、「SLOT1」または「SLOT2」で最後に視聴された機器が接続されていない場合は、「HDMI-CEC 設定」の「HDMI1」、「HDMI2」、「HDMI3」、「SLOT1」または「SLOT2」に表示している機器を電源オフします。

■「機器 → ディスプレイ」の連動

設定が「電源オン」、「電源オフ／オン」の場合：

- ・ HDMI-CEC 対応機器を電源オンすると、本機の電源をオンして、入力を機器が接続されている「HDMI1」、「HDMI2」、「HDMI3」、「SLOT1」または「SLOT2」に切り換えます。
- ・ HDMI-CEC 対応機器の再生を始めると、本機の電源をオンして、入力を機器が接続されている「HDMI1」、「HDMI2」、「HDMI3」、「SLOT1」または「SLOT2」に切り換えます。
- ・ HDMI-CEC 対応機器の再生を始めると、本機の入力を機器が接続されている「HDMI1」、「HDMI2」、「HDMI3」、「SLOT1」または「SLOT2」に切り換えます。

設定が「電源オフ／オン」の場合：

- ・ 視聴中の入力（HDMI1/HDMI2/HDMI3/SLOT1/SLOT2）の HDMI-CEC 対応機器を電源オフすると、本機が電源オフします。

お知らせ

- 本機が電源オフする機器連動機能は、機器の信号状態を監視して連動動作を実現しています。機器の設定によっては、電源オフ状態でも信号を出し続けるため、連動機能が動作しません。その場合は、機器の取扱説明書をご確認ください。
- 「初期設定」メニューの「入力切換固定」が設定されている場合は、入力は切り換わりません。
- ディスプレイや映像機器が起動中などの状態により、機器連動しない場合があります。

機器の操作（本機のリモコンで機器の操作）

「初期設定」 - 「HDMI-CEC 設定」 - 「HDMI-CEC 操作」で操作画面を表示します。

操作画面



- ① 操作する機器名を表示します。
- ② 押した回数だけ番組や場面を戻って再生します。
- ③ 再生・一時停止を行います。（トグル動作）
- ④ 押した回数だけ番組や場面を飛び越して再生します。
- ⑤ 停止します。
- ⑥ 機器の設定メニューを表示します。
(「MENU コード」[60 ページ](#))
- ⑦ 機器の電源を制御します。

お知らせ

- 数字ボタン<1>～<6>で、HDMI-CEC 対応機器の操作ができます。

■ HDMI-CEC 対応機器のメニュー操作

HDMI-CEC 対応機器の設定メニューが表示されている場合、本機のリモコンの「決定」、
▼▲◀▶、<戻る>でメニュー操作が可能です。



お知らせ

- 以下の場合は HDMI-CEC 対応機器のメニュー操作はできません。

- 本機のメニュー（初期設定 / 画質の調整 / 音声の調整 / 位置調整）およびサブメニューの表示中

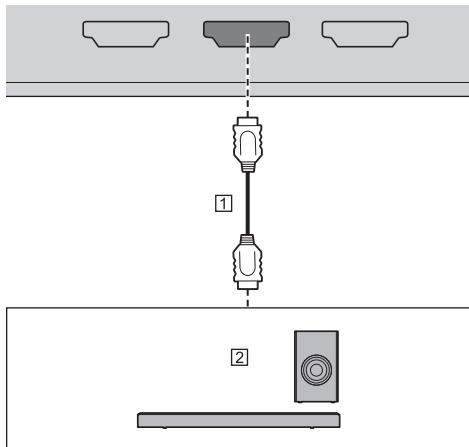
ARC 機能を使う

ARC（オーディオリターンチャンネル）とは、HDMI 端子からデジタル音声信号を送る機能です。

本機の HDMI 端子や音声入力端子等へ入力された音声を AUDIO OUT または DIGITAL AUDIO OUT に出力する代わりに ARC 対応機器に送る事を可能にする機能です。

接続例

HDMI IN 2 端子に、ARC 対応機器を接続します。



① HDMI ケーブル（市販品）

② ARC 対応オーディオ機器

設定

- ① 接続した機器側（ARC 対応機器）で、本機能が動作するように設定します。
- ② 「初期設定」-「HDMI-CEC 設定」-「HDMI-CEC 制御」を「有効」にします。（☞ 59 ページ）
- ③ 「HDMI-CEC 設定」-「連動機能」-「ARC」を「オート」または「オン」に設定します。
- ④ すべての機器の電源を入れて、本機の電源を切／入したあと、本機に入力された音声、または再生した動画等の音声が ARC 対応機器で正しく再生されることを確認してください。

音声出力先の切替

「HDMI-CEC 設定」で「ARC」について各種設定することにより、以下の動作を行います。

■「ARC」：オート

- ・ ARC 対応機器が HDMI IN 2 端子に接続されている場合：

ARC 対応機器より音声を出力します。

- ・ ARC 対応機器が HDMI IN 2 端子に接続されていない、または ARC 対応機器の電源が入っていない場合：

「音声の調整」-「出力切換」で設定された出力先へ音声を出力します。

■「ARC」：オン

- ・ 常に ARC 対応機器より音声を出力します。
- ・ ARC 対応機器が接続されていない場合、音声を出力しません。

■「ARC」：オフ

- ・ 常に「音声の調整」-「出力切換」で設定された出力先へ音声を出力します。
- ・ ARC 対応機器が HDMI IN 2 端子に接続されている、ARC 対応機器へ音声出力しません。

お知らせ

- ARC 対応機器で再生する場合、AUDIO OUT または DIGITAL AUDIO OUT からは音声が出力されません。「音声の調整」の設定項目がグレー表示になり、設定できません。
- AUDIO OUT または DIGITAL AUDIO OUT へと音声を切り換える場合は、「初期設定」-「HDMI-CEC 設定」-「ARC」を「オフ」にしてください。
- ARC 対応機器のボタンまたはリモコンで ARC 対応機器を操作した場合は、ディスプレイの動作、または表示に正しく反映されない場合があります。
- 本機から ARC 対応機器を抜き差しした場合は、必ず本機の電源を切／入してください。
- ARC 対応機器接続時、「ARC」が「オート」または「オン」の場合、「ディスプレイ → 機器」の設定によらず、ARC 対応機器の電源はオンされます。

データクローニングを使う

1台のコントロールボックスのメニュー設定や調整値を、USBメモリーを使用またはLAN経由で、複数台のコントロールボックスにコピーできます。

お知らせ

- ディスプレイのインチサイズが異なる場合、クローニング機能は動作しません。共通のインチサイズ間でご利用ください。
- 入力を「USB」および「MEMORY VIEWER」以外に設定してデータクローニングを実行してください。
- クローニングパスワードは、「クローニングパスワード」で設定したパスワードです。
- 工場出荷時の初期パスワードは、「AAAA」です。
- 「LANデータクローニング」メニューの操作にはリモコンが必要です。

■コピーできるデータ

「画質の調整」「音声の調整」「初期設定」「位置調整」メニューの設定、調整値

「初期設定」-「イメージ設定」で登録したユーザーイメージWEB制御画面 [Detailed set up] ページの下記内容

「Status notification set up」

内蔵アプリケーションの設定

●次のデータはコピーされません。コントロールボックスごとに設定してください。

「クローニングパスワード」

「セキュリティーパスワード」

「日付と時刻」-「日付と時刻」

「日付と時刻」-「ディスプレイ間同期設定」

「ネットワーク設定」-「管理者アカウント設定」

「ネットワーク設定」-「PJLink 設定」

「ネットワーク設定」-「ディスプレイ名設定」

「ネットワーク設定」-「LAN 設定」の設定内容

「タイムゾーン」

「NTP 同期」

「NTP サーバー名」

「DNS サーバー」

「コントロール設定」-「ディスプレイ ID」

WEB制御画面 [Change password] ページの設定内容

WEB制御画面 [Detailed set up] ページの下記内容

「Network config」

「Adjust clock」

「Command port set up」

「Certificate」

「Crestron Connected」

「HTTPS set up」

WEB制御画面 [Crestron Connected] ページの設定内容

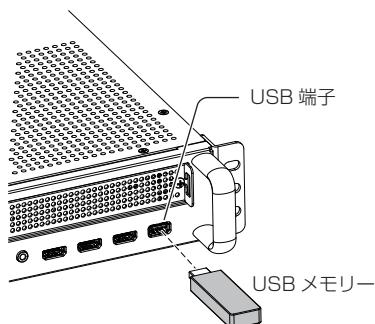
内蔵メモリー内のコンテンツ

■対応デバイスについて

- 市販のUSBメモリーに対応しています。(セキュリティ機能がついたものは非対応)
- FAT16またはFAT32でフォーマットしたもの以外は使用できません。
- USBの最大メモリサイズは、32GBです。
- シングルパーティション構成にのみ対応しています。

コントロールボックスのデータをUSBメモリーにコピー

1 コントロールボックス正面のUSB端子にUSBメモリーを挿入する



お知らせ

- USBメモリーのタイプによっては周辺部に接触して取り付けられない場合があります。本機に接続可能なUSBメモリーをご使用ください。
- USBメモリーへの保存や読み込みに失敗すると、エラーメッセージが表示されます。

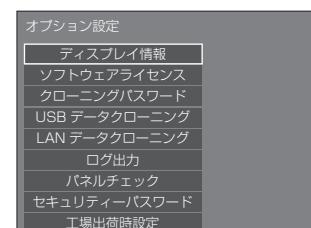
2 クローニングパスワード画面が出たら手順6へ進む

クローニングパスワード画面が表示されない場合は、手順3~5を行って、画面を表示してください。

3 <初期設定>を押して「初期設定」メニューを表示する

4 ▲▼で「オプション設定」を選び、<決定>を押す

以下のような画面が表示されます。



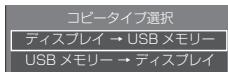
5 ▲▼で「USB データクローニング」を選び、<決定>を押す

クローニングパスワード画面が表示されます。

6 クローニングパスワードを入力し、<決定>を押す。

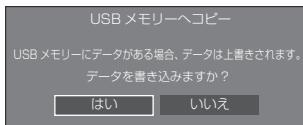
データクローニング画面が表示されます。

7 ▲▼で「ディスプレイ → USB メモリー」を選び、<決定>を押す



8 ◀▶で「はい」を選び、<決定>を押す

USB メモリーへのデータコピーが開始します。



データコピーが終わると表示します。

データコピーが完了しました。

9 データコピーが終わったら USB 端子から USB メモリーを抜き取る

USB メモリーのデータをコントロールボックスにコピー（クローニング）

1 データコピーするコントロールボックスの USB 端子に、データコピー後の USB メモリーを挿入する（前記の手順 1 と同じ）

2 クローニングパスワード画面が出たら手順 6 へ進む

クローニングパスワード画面が表示されない場合は、手順 3 ~ 5 をを行い、画面を表示してください。

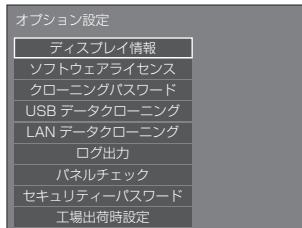
お知らせ

- 電源「入」のときに、クローン用のデータが保存された USB メモリーを接続すると、クローニングパスワード画面が表示されます。

3 <初期設定>を押して「初期設定」メニューを表示する

4 ▲▼で「オプション設定」を選び、<決定>を押す

以下のような画面が表示されます。



5 ▲▼で「USB データクローニング」を選び、<決定>を押す

クローニングパスワード画面が表示されます。

6 クローニングパスワードを入力し、<決定>を押す。

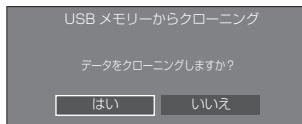
データクローニング画面が表示されます。

7 ▲▼で「USB メモリー → ディスプレイ」を選び、<決定>を押す



8 ◀▶で「はい」を選び、<決定>を押す

ディスプレイへのデータクローニングが開始します。



データクローニングが終わると表示します。



9 データクローニングが終わったら USB 端子から USB メモリーを抜き取る

10 電源プラグをコンセントから一旦抜き、30 秒以上空けてから電源プラグを挿してください

クローニングした内容がディスプレイに反映されます。

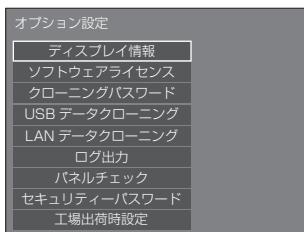
* 手順 9 で USB メモリーを抜き取らなかった場合、本機の電源を入れなおしたときに、クローニングパスワード画面が表示されます。

LAN を経由して他のコントロールボックスにデータをコピー

1 <初期設定>を押して「初期設定」メニューを表示する

2 ▲▼で「オプション設定」を選び、<決定>を押す

以下のような画面が表示されます。



3 ▲▼で「LAN データクローニング」を選び、<決定>を押す

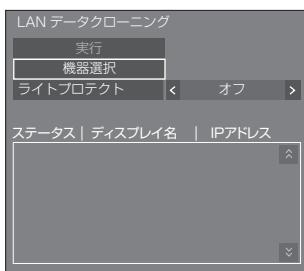
クローニングパスワード画面が表示されます。

4 クローニングパスワードを入力し、<決定>を押す。

LAN データクローニング画面が表示されます。

5 ▲▼で「機器選択」を選び、<決定>を押す

同一サブネット上のディスプレイのリストを表示します。



6 ▲▼でコピーしたいディスプレイにカーソルを合わせ、<音量+>を押す

コピーしたいディスプレイをすべて選択します。



7 <決定>を押す。

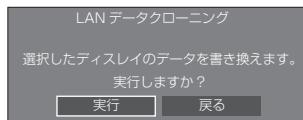
8 ▲▼で「実行」を選択し、<決定>を押す



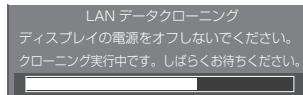
お知らせ

- 「ライトプロテクト」を「オン」にしているディスプレイには、コピーができなくなります。コピーの必要がなくなった場合には誤って「LAN データクローニング」が実行されないように「オン」に設定してください。
- 一度「LAN データクローニング」を実行すると「ライトプロテクト」は「オン」になります。

9 確認画面が表示されるので、◀▶で「実行」を選択し、<決定>を押す



ディスプレイへのデータコピーが開始します。



10 終了画面が表示されます

リスト上の青色の印はデータコピー成功。赤色の印は失敗です。赤色の場合は LAN ケーブルの接続やコピー先ディスプレイの電源状態を確認してください。



データコピーが終わると、コピー先ディスプレイに表示されます。

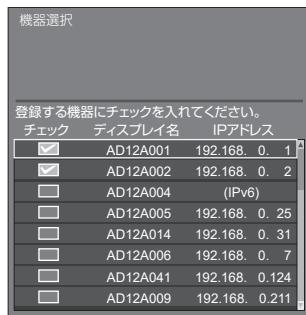


11 リモコンの電源ボタンを押して電源を「切」にした後「入」にする、または電源プラグをコンセントから一旦抜き、30 秒以上空けてから電源プラグを挿してください

コピーした内容がディスプレイに反映されます。

お知らせ

- LAN データクローニング動作において、IPv6 アドレスのディスプレイと接続している場合、IP アドレスは (IPv6) と表示されます。ただし、そのディスプレイが IPv4/IPv6 のどちらでも通信できる場合は IPv4 アドレスが表示されます。



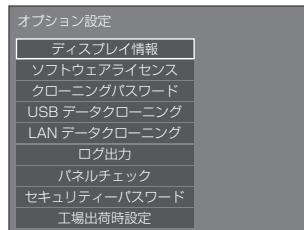
クローニングパスワードを変更する

クローニング機能を使用するときに必要なクローニングパスワードを変更します。

1 <初期設定> を押して「初期設定」メニューを表示する

2 ▲▼で「オプション設定」を選び、<決定>を押す

以下のような画面が表示されます。



3 ▲▼で「クローニングパスワード」を選び、<決定>を押す

クローニングパスワード画面が表示されます。

4 現在のパスワードを入力し、「確定」を押す。

5 新しいパスワードを入力し、「確定」を押す。

6 確認のために、再度新しいパスワードを入力し、「確定」を押す。

お知らせ

- 工場出荷時の初期パスワードは、「AAAA」です。
- パスワードは定期的に変更し、推測されにくいものにしてください。
- クローニングパスワードの初期化方法については、販売店にご相談ください。

USB メモリーでの ネットワーク設定

USB メモリーを使用して複数のコントロールボックスにネットワークの設定ができます。

■ 設定内容

次の「ネットワーク設定」 - 「LAN 設定」各項目が設定できます。

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、コマンドポート、EAP

お知らせ

- 「ネットワーク設定」 - 「LAN 設定」 - 「DHCP」は「オフ」になります。
- 「ネットワーク設定」 - 「ネットワークコントロール」は「オン」になります。
- 「ネットワーク設定」 - 「USB メモリーでのネットワーク設定」が「許可」になっているか確認してください。「禁止」の場合、本機能によるネットワーク設定はできません。(☞ 73 ページ)
- 一度 USB メモリーでネットワーク設定を行うと、「ネットワーク設定」 - 「USB メモリーでのネットワーク設定」は、「禁止」に設定されます。
- IPv6 設定で通信している場合、本機能によるネットワーク設定はできません。

■ 対応デバイスについて

- 市販の USB メモリーに対応しています。(セキュリティ機能がついたものは非対応。動作保証外です。)
- FAT16 または FAT32 でフォーマットしたもの以外は使用できません。
- USB メモリーの最大メモリサイズは、32GB です。
- シングルパーティション構成にのみ対応しています。
- 書き込み可能な USB メモリーをお使いください。

USB メモリーに LAN 設定のファイルを保存

以下のファイルを作成して、USB メモリーに保存してください。

ファイル名: tl-(インチサイズ)(機種名)_network.sh
ファイル名 例) : tl-110AD12A_network.sh

設定例

```
TL-110AD12A_LAN_SETTINGS
A:192.168.0.18
S:255.255.255.0
G:192.168.0.1
P:1024
I:ON
E:EAP-TLS
E_U:EAPUSER
E_P:eappassword
E_D:digitalcertificate.pfx
E_C:cacerfificate.cer
```

TL-110AD12A_LAN_SETTINGS:

機種名を示す固定文字です。必ず以下のように入力してください。

TL-(インチサイズ)(機種名)_LAN_SETTINGS

- A: IP アドレスを指定します。
S: サブネットマスクを指定します。
G: ゲートウェイアドレスを指定します。
P: コマンドコントロールで使用するポート番号を指定します。
I: 「ON」に設定すると、本機 1 台ごとに違う IP アドレスを設定できます。
EAP の設定を選択します。下記を参考にして設定を記載してください。
 - NONE
 - PEAP(MS-CHAPv2)
 - PEAP(GTC)
 - EAP-TTLS(MD5)
 - EAP-TTLS(MS-CHAPv2)
 - EAP-FAST(MS-CHAPv2)
 - EAP-FAST(GTC)
 - EAP-TLS

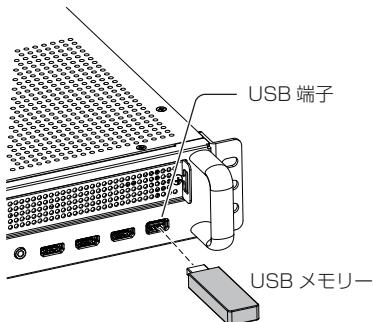
E_U: EAP ユーザー名を指定します。EAP が「NONE」以外の場合のみ参照します。
E_P: EAP のパスワードを指定します。EAP が「NONE」以外の場合のみ参照します。
E_D: 認証に使用する電子証明書（拡張子 :PFX）のファイル名を記載します。EAP 設定が「EAP-TLS」の時のみ参照します。
E_C: 認証に使用する CA 証明書（拡張子 :CER）のファイル名を記載します。EAP 設定が「EAP-TLS」の時のみ参照します。

お知らせ

- S、G、P または E の行を削除すると、削除した設定項目は上書きされません。元の設定内容を保持します。
- I の行を削除すると、自動で「ON」に設定されます。
- 固定文字と IP アドレスの行は必ず記述してください。
- 本機能でのネットワーク設定に失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。
失敗した場合はネットワーク設定の変更は行われません。
ファイルの記述を確認し、再度 USB メモリーを挿入してください。
- 本機能は、上記ファイル名のファイルが USB メモリー内に存在するときのみ動作します。
- ファイル内容は半角英数字で記述してください。

USB メモリーのデータを本機にコピー

1 コントロールボックス正面の USB 端子に USB メモリーを挿入する



2 データのコピーが終わったら「LAN 設定」画面が表示されます

3 USB 端子から USB メモリーを抜き取る

ID リモコン機能を使う

複数台のコントロールボックスを近接した場所で使用する場合、リモコンでコントロールボックスを個別に操作することができます。その場合は事前に「コントロール設定」-「ディスプレイ ID」で設定したディスプレイの ID 番号とリモコンの ID 番号を合わせる必要があります。以下の手順でリモコンの ID 番号を設定してください。

お知らせ

- 本機能をご使用になるには、別売の ID リモコン（品番：N2QAYA000093）が必要です。



リモコンの ID 番号を設定する

- 1 「コントロール設定」-「リモコン ID 機能」を「オン」に設定する
(☞ 81 ページ)
- 2 リモコンの <ID MODE> スイッチを「ON」にする
- 3 操作したいディスプレイにリモコンを向けて <ID SET> を押す

ID set	
ディスプレイ ID	0
リモコン ID	?

- 4 <0> ~ <9> から選んで押す
(2 衡目の番号を設定)
- 5 <0> ~ <9> から選んで押す
(1 衡目の番号を設定)

- 手順 3～5 は 5 秒以内に操作してください。
- 設定できる ID 番号は 0～100 までです。
例)
 - ID を「1」に設定する場合は、手順 3 のあと、続けて <0><1> を押す。
 - ID を「12」に設定する場合は、手順 3 のあと、続けて <1><2> を押す。
 - ID を「100」に設定する場合は、手順 3 のあと、続けて <1><0><0> を押す。

リモコンの ID 番号の設定を解除する (ID 「0」)

「コントロール設定」-「ディスプレイ ID」で設定した ID 番号と一致しなくても操作できます。

- 1 <ID SET> を 3 秒以上押す
(<ID SET> <0><0> を押したときと同じです)

文字入力について

設定によっては、文字入力が必要となる場合があります。

文字入力は画面に表示されたキーボードから文字を選んで行います。

例) メモリーノーの入力(「メモリー保存」)



キーボードの文字入力ボックスにはすでに「MEMORY1」と表示されていますが、「MY PICTURE」というメモリーノーに変更します。

1 ▲▼◀▶で「全削除」を選び、
<決定>を押す

MEMORY1

文字がすべて削除されます。

文字を1文字削除するには「1文字削除」を選びます。

2 ▲▼◀▶で「a/A/@」を選び、
<決定>を押す

1 文字削除 全削除 a/A/@ キャンセル 確定

キーボードを大文字アルファベットに切り換えます。

<決定>を押すたびに、キーボードが小文字→大文字→記号に切り換わります。

3 ▲▼◀▶で「M」を選び、
<決定>を押す

M

この操作を繰り返し、文字を入力します。

4 ▲▼◀▶でスペースキーを選び、
<決定>を押す



手順3と同じように「PICTURE」と文字を選んで入力します。

5 メモリーノーの入力が終わったら
▲▼◀▶で「確定」を選び、
<決定>を押す



・「キャンセル」を選ぶとメモリーの保存をキャンセルします。

プリセット信号

本機が表示できる映像信号は下表のとおりです。

対応信号	解像度 (ドット)	走査周波数		ドット クロック 周波数 (MHz)	プラグアンドプレイ 対応信号 ^{*2}			
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)		HDMI			
					4K/60p ^{*3}	4K/30P	2K	
480/60i ^{*5}	720(1 440) x 480i ^{*1}	15.73	59.94	27.00	○	○	○	
576/50i	720(1 440) x 576i ^{*1}	15.63	50.00	27.00	○	○	○	
480/60p ^{*5}	720 x 483	31.47	59.94	27.00	○	○	○	
576/50p	720 x 576	31.25	50.00	27.00	○	○	○	
720/60p	1 280 x 720	45.00	60.00	74.25	○	○	○	
720/50p	1 280 x 720	37.50	50.00	74.25	○	○	○	
1080/60i	1 920 x 1 080i	33.75	60.00	74.25	○	○	○	
1080/50i	1 920 x 1 080i	28.13	50.00	74.25	○	○	○	
1080/24p ^{*5}	1 920 x 1 080	27.00	24.00	74.25	○	○	○	
1080/24PsF ^{*5}	1 920 x 1 080i	27.00	48.00	74.25	—	—	—	
1080/25p	1 920 x 1 080	28.13	25.00	74.25	○	○	○	
1080/30p	1 920 x 1 080	33.75	30.00	74.25	○	○	○	
1080/60p	1 920 x 1 080	67.50	60.00	148.50	○	○	○	
1080/50p	1 920 x 1 080	56.25	50.00	148.50	○	○	○	
2K/24p ^{*5}	2 048 x 1 080	27.00	24.00	74.25	—	—	—	
2K/25p	2 048 x 1 080	28.13	25.00	74.25	—	—	—	
2K/30p	2 048 x 1 080	33.75	30.00	74.25	—	—	—	
2K/48p ^{*5}	2 048 x 1 080	54.00	48.00	148.50	—	—	—	
2K/60p	2 048 x 1 080	67.50	60.00	148.50	—	—	—	
2K/50p	2 048 x 1 080	56.25	50.00	148.50	—	—	—	
3840 x 2160/24p ^{*5}	3 840 x 2 160	54.00	24.00	297.00	○	○	—	
3840 x 2160/25p	3 840 x 2 160	56.25	25.00	297.00	○	○	—	
3840 x 2160/30p	3 840 x 2 160	67.50	30.00	297.00	○	○	—	
3840 x 2160/60p	3 840 x 2 160	135.00	60.00	594.00	○	—	—	
3840 x 2160/50p	3 840 x 2 160	112.50	50.00	594.00	○	—	—	
4096 x 2160/24p ^{*5}	4 096 x 2 160	54.00	24.00	297.00	○	○	—	
4096 x 2160/25p	4 096 x 2 160	56.25	25.00	297.00	○	○	—	
4096 x 2160/30p	4 096 x 2 160	67.50	30.00	297.00	○	○	—	
4096 x 2160/60p	4 096 x 2 160	135.00	60.00	594.00	○	—	—	
4096 x 2160/50p	4 096 x 2 160	112.50	50.00	594.00	○	—	—	
640 x 400/70 ^{*5}	640 x 400	31.47	70.09	25.18	—	—	—	
640 x 400/85 ^{*5}	640 x 400	37.86	85.08	31.50	—	—	—	
640 x 480/60 ^{*5}	640 x 480	31.47	59.94	25.18	○	○	○	
640 x 480/67 ^{*5}	640 x 480	35.00	66.67	30.24	—	—	—	
640 x 480/73 ^{*5}	640 x 480	37.86	72.81	31.50	—	—	—	
640 x 480/75 ^{*5}	640 x 480	37.50	75.00	31.50	—	—	—	
640 x 480/85 ^{*5}	640 x 480	43.27	85.01	36.00	—	—	—	
800 x 600/56 ^{*5}	800 x 600	35.16	56.25	36.00	—	—	—	
800 x 600/60 ^{*5}	800 x 600	37.88	60.32	40.00	○	○	○	
800 x 600/72 ^{*5}	800 x 600	48.08	72.19	50.00	—	—	—	
800 x 600/75 ^{*5}	800 x 600	46.88	75.00	49.50	—	—	—	
800 x 600/85 ^{*5}	800 x 600	53.67	85.06	56.25	—	—	—	

対応信号	解像度 (ドット)	走査周波数		ドット クロック 周波数 (MHz)	プラグアンドプレイ 対応信号 ^{*2}			
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)		HDMI			
					4K/60p ^{*3}	4K/30P	2K	
832 x 624/75 ^{*5}	832 x 624	49.72	74.55	57.28	—	—	—	
852 x 480/60 ^{*5}	852 x 480	31.47	59.94	34.24	—	—	—	
1024 x 768/50	1 024 x 768	39.55	50.00	51.89	—	—	—	
1024 x 768/60	1 024 x 768	48.36	60.00	65.00	○	○	○	
1024 x 768/70 ^{*5}	1 024 x 768	56.48	70.07	75.00	—	—	—	
1024 x 768/75 ^{*5}	1 024 x 768	60.02	75.03	78.75	—	—	—	
1024 x 768/82 ^{*5}	1 024 x 768	65.55	81.63	86.00	—	—	—	
1024 x 768/85 ^{*5}	1 024 x 768	68.68	85.00	94.50	—	—	—	
1066 x 600/60 ^{*5}	1 066 x 600	37.64	59.94	53.00	—	—	—	
1152 x 864/60	1 152 x 864	53.70	60.00	81.62	—	—	—	
1152 x 864/70 ^{*5}	1 152 x 864	63.99	70.02	94.20	—	—	—	
1152 x 864/75 ^{*5}	1 152 x 864	67.50	75.00	108.00	—	—	—	
1152 x 864/85 ^{*5}	1 152 x 864	77.09	85.00	119.65	—	—	—	
1152 x 870/75 ^{*5}	1 152 x 870	68.68	75.06	100.00	—	—	—	
1280 x 720/60	1 280 x 720	44.76	60.00	74.48	—	—	—	
1280 x 768/50 ^{*5}	1 280 x 768	39.55	49.94	65.18	—	—	—	
1280 x 768/60	1 280 x 768	47.70	60.00	80.14	—	—	—	
1280 x 768/60 ^{*5}	1 280 x 768	47.78	59.87	79.50	—	—	—	
1280 x 800/50	1 280 x 800	41.20	50.00	68.56	—	—	—	
1280 x 800/60 ^{*5}	1 280 x 800	49.31	59.91	71.00	—	—	—	
1280 x 800/60 ^{*5}	1 280 x 800	49.70	59.81	83.50	—	—	—	
1280 x 960/60	1 280 x 960	60.00	60.00	108.00	—	—	—	
1280 x 1024/60 ^{*5}	1 280 x 1 024	63.98	60.02	108.00	○	○	○	
1280 x 1024/75 ^{*5}	1 280 x 1 024	79.98	75.02	135.00	—	—	—	
1280 x 1024/85 ^{*5}	1 280 x 1 024	91.15	85.02	157.50	—	—	—	
1360 x 768/60 ^{*5}	1 360 x 768	47.71	60.02	85.50	—	—	—	
1360 x 768/60	1 360 x 768	47.70	60.00	84.72	—	—	—	
1360 x 768/60 ^{*5}	1 360 x 768	47.72	59.80	84.75	—	—	—	
1366 x 768/50	1 366 x 768	39.55	50.00	69.92	—	—	—	
1366 x 768/60 ^{*5}	1 366 x 768	48.39	60.03	86.71	—	—	—	
1366 x 768/60	1 366 x 768	48.00	60.00	72.00	—	—	—	
1366 x 768/50 ^{*5}	1 366 x 768	39.56	49.89	69.00	—	—	—	
1366 x 768/60 ^{*5}	1 366 x 768	47.71	59.79	85.50	—	—	—	
1400 x 1050/60	1 400 x 1 050	65.22	60.00	122.61	—	—	—	
1400 x 1050/75 ^{*5}	1 400 x 1 050	82.20	75.00	155.85	—	—	—	
1440 x 900/60 ^{*5}	1 440 x 900	55.47	59.90	88.75	—	—	—	
1440 x 900/60	1 440 x 900	55.92	60.00	106.47	—	—	—	
1600 x 900/50	1 600 x 900	46.30	50.00	97.05	—	—	—	
1600 x 900/60	1 600 x 900	60.00	60.00	108.00	—	—	—	
1600 x 900/60 ^{*5}	1 600 x 900	55.99	59.95	118.25	—	—	—	
1600 x 900/60	1 600 x 900	55.92	60.00	119.00	—	—	—	
1600 x 1200/60	1 600 x 1 200	75.00	60.00	162.00	—	—	—	
1680 x 1050/60 ^{*5}	1 680 x 1 050	65.29	59.95	146.25	—	—	—	
1920 x 1080/60 ^{*5}	1 920 x 1 080 ^{*4}	66.59	59.93	138.50	—	—	—	
1920 x 1080/60	1 920 x 1 080	67.50	60.00	148.50	○	○	○	
1920 x 1200/60 ^{*5}	1 920 x 1 200	74.04	59.95	154.00	○	○	○	
1920 x 2160/60 ^{*5}	1 920 x 2 160	133.29	59.99	277.25	—	—	—	
1920 x 2160/60	1 920 x 2 160	135.00	60.00	297.00	—	—	—	

対応信号	解像度 (ドット)	走査周波数		ドット クロック 周波数 (MHz)	プラグアンドプレイ 対応信号 ^{*2}			
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)		HDMI			
					4K/60p ^{*3}	4K/30P	2K	
2560 x 1440/60 ^{*5}	2 560 x 1 440	88.79	59.95	241.50	—	○	—	
2560 x 1600/50 ^{*5}	2 560 x 1 600	82.37	49.95	286.00	—	—	—	
2560 x 1600/60 ^{*5}	2 560 x 1 600	98.71	59.97	268.50	—	—	—	
3840 x 1080/60 ^{*5}	3 840 x 1 080	66.63	59.97	266.50	—	—	—	
3840 x 2160/30 ^{*5}	3 840 x 2 160	65.69	29.98	262.75	—	—	—	
3840 x 2160/60	3 840 x 2 160	133.31	60.00	533.25	—	—	—	

*1: Pixel-Repetition 信号（ドットクロック周波数 27.0MHz）のみ

*2: プラグアンドプレイ対応信号欄に○がある信号は、本機の EDID（拡張ディスプレイ識別データ）に記述している信号です。
プラグアンドプレイ対応信号欄に○がない信号は、本機が対応してもコンピューター側で解像度の選択ができない場合があります。

*3: 4K/60p は、4K/60p/HDR と 4K/60p/SDR を意味します。

*4: VESA CVT-RB (Reduced Blanking) 準拠

*5: 動画等のコンテンツによっては、なめらかに表示されないことがあります。

お知らせ

- LED の画素数は全て水平 1 920 x 垂直 1 080 です。解像度が異なる信号は画素数に変換されて表示されます。
- 自動判別した信号フォーマットが、実入力信号と異なった表示になる場合があります。
- 解像度のドット数の後ろにある「i」はインターレース信号を意味します。
- 1080/30PsF 信号および 1080/25PsF 信号が入力された場合、それぞれ 1080/60i 信号および 1080/50i 信号として処理し、表示します。

工場出荷時の設定に戻すには

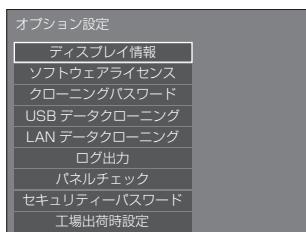
以下のデータを工場出荷時の状態に戻します。

「画質の調整」「音声の調整」「初期設定」「位置調整」メニューの設定、調整値、「初期設定」-「イメージ設定」で登録したユーザーイメージ

■ リモコン操作

- 1 <初期設定> を押して
「初期設定」メニューを表示する
- 2 ▲▼で「オプション設定」を選び、
<決定>を押す

以下のような画面が表示されます。



- 3 ▲▼で「工場出荷時設定」を選び、
<決定>を押す



- 4 ◀▶で「はい」を選び、<決定>を
押す

「工場出荷時設定（しばらくお待ちください。）」というメッセージが表示されます。

- 5 「ディスプレイの電源をオフしてください。」というメッセージが表示された後、
本機の電源スイッチ（○/I）を押して
電源を切る

※ 電源スイッチが操作できない場合は、電源プラグ
をコンセントから抜いてください。

リモコン操作制限の設定 を標準値に戻すには

「リモコン操作制限」や「リモコン ID 機能」の設定により、リモコンでの本機が操作できなくなった時、以下の方法で設定を「オフ」に戻し操作ができるようにします。

「リモコン操作制限」「リモコン ID 機能」 の設定を行った時

- 1 リモコンの <初期設定> を 5 秒以上押す

「リモコン操作制限」、「リモコン ID 機能」の設定が「オフ」に戻ります。

修理を依頼される前に… もう一度次の点をお調べください。

こんなとき	ここをお調べください	参考 ページ
画面に光らない点がある	● LED パネルは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合があり、これは故障ではありません。	—
電源が入らない	● コンセントまたは本機から電源プラグやコネクターが外れていませんか。	19
電源が自動的に切れる	● 「無信号自動オフ」、各入力のパワーマネージメントまたは「無操作自動オフ」が「オン（有効）」に設定されていませんか。	57 · 58 · 62
電源ランプが赤色点滅する	● 故障の可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。	—
電源ランプが 1 秒間隔で電源状態の色（緑色、橙色、または赤色）で点滅する	● コントロールボックスと電源ボックスを接続している LAN ケーブルが抜けていませんか。	—
リモコンで操作できない	● 電池が消耗していませんか。電池は正しく入っていますか。	—
	● リモコン受信部に外光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか。	—
	● リモコン受信部とリモコン間に障害物はありませんか。	—
	● 本機専用のリモコンを使用していますか。（他のリモコンでは動作しません）	—
	● 「リモコン操作制限」設定を「オフ」以外にしていませんか。	83
	● 「リモコン ID 機能」設定を「オン」にしていませんか。	81
	● リモコンの <ID MODE> スイッチを「ON」にしていませんか。（ID リモコン使用時）	138
ID リモコン機能が使用できない (ID リモコン使用時)	● 「リモコン ID 機能」設定を「オン」にしていますか。また、リモコンの <ID MODE> スイッチを「ON」にしていませんか。（「リモコン ID 機能」設定を「オン」にしている場合は、リモコンの <ID MODE> スイッチを「ON」にして ID 番号を設定する必要があります）	81
映像が出るまでに時間がかかる	● 本機は美しい映像を再現させるため各種信号をデジタル処理しておりますので、電源を入れたとき、入力を切り換えたときに映像が出るまでに少し時間がかかる場合があります。	—
画面にはん点が出る	● 自動車・電車・高圧線・ネオンなどからの妨害電波を受けている可能性があります。	—
色が薄い	● 色の濃さの調整がずれていませんか。（映像の調整値をご確認ください。）	41
色模様が出たり 色が消える	● 他の映像機器から影響（妨害電波）を受けていませんか。 本機の設置場所を変えると良化することもあります。	—
画面の上または下が欠ける	● 映像の画面位置調整をずらしたままになっていますか。 画面位置の調整をしてください。	39
画面の上下に映像の出ない部分ができる	● 16：9 より横長の映像ソフト（シネマサイズのソフトなど）のときは、画面の上下に映像のない部分ができることがあります。	—
映像の輪郭がチラチラする	● LED パネルの駆動方式による特性上、動きのある映像部分で輪郭がチラチラするように見えることがありますが、故障ではありません。	—
映像、音声が出ない ことがある	● HDMI 信号をセレクタや分配器を通して本機に入力した場合、使用する機器によっては映像と音声の出力が正常に行われない場合があります。 本機の電源を入れ直すまたは、セレクタや分配器の交換を行うと症状が改善する場合があります。	—

こんなとき	ここをお調べください	参考ページ
音声の歪み、ノイズ音が気になる	● 音声入力端子（AUDIO IN）に定格（0.5 Vrms）以上の音声が入力されていませんか。 定格内の音声入力でご使用ください。	146
映像が出ないなど表示がおかしい、または急にリモコンが操作できなくなった	● 本機には非常に高度なソフトウェアが組み込まれております。万一「リモコンが操作できない」「表示が乱れる」など、何かおかしいと感じられたときは、電源プラグをコンセントから抜き、約5秒以上後に再度電源プラグを差し込み、電源を入れてください。	29
RS-232C 制御ができない	● 接続は正しく行われていますか。	23
LAN 制御ができない	● 接続は正しく行われていますか。 ● WEB ブラウザーコントロール、コマンドコントロールで制御する場合は、「ネットワーク設定」の「ネットワークコントロール」が「オン」になっていますか。 ● 「LAN 設定」は正しく設定されていますか。 ● AMX 社、Extron 社または Crestron Electronics, Inc. の機器を接続している場合は、「AMX D. D.」設定、「Extron XTP」設定または「Crestron Connected™」設定をお使いの機器に合わせて設定してください。 ● 「DIGITAL LINK ステータス」の「信号品質」情報を参照し、LAN ケーブルが断線している、ケーブルがシールドされていないなど、LAN ケーブルの状態等を確認してください。	85 68 69 69・73 73
DIGITAL LINK IN 端子の映像または音声が出ない	● 映像（出力）機器とツイストペアケーブル伝送器、ツイストペアケーブル伝送器と本機との接続は正しく行われていますか。 ● 「ネットワーク設定」の「DIGITAL LINK モード」が「イーサネット」になつていませんか。	— 72
USB メディアプレーヤーでファイルを再生できるが、メモリービューアーでファイルが再生できない	● USB メディアプレーヤーの再生ファイル仕様と、メモリービューアーの再生ファイル仕様を確認してください。	113・124

仕様

本体

品番	TY-CTRFHD1J
種類	コントロールボックス
使用電源	AC 100 V ± 10 % 50 / 60 Hz 2.2 A
消費電力	54 W ^{*1} リモコンで電源「切」時 0.5 W
動作使用条件	温度：0 °C～40 °C 湿度：10%～80%（結露のないこと） ^{*2}
稼働時間	24 時間/日
SLOT1 用 供給電力	3.3 V / 最大 1.1 A、12 V / 最大 5.5 A
SLOT2 用 供給電力	3.3 V / 最大 1.1 A、12 V / 最大 2.75 A
HDMI 入力端子	
HDMI IN 1	TYPE A コネクター ^{*3} × 3 (4K 対応) HDCP2.2 対応
HDMI IN 2	音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)
HDMI IN 3	
HDMI 出力端子	TYPE A コネクター × 1 (4K 対応) HDCP2.2 対応
HDMI OUT	音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)
音声入力端子	
AUDIO IN	ステレオミニジャック (M3) (Φ 3.5 mm) × 1 0.5 V [rms]
音声出力端子	
AUDIO OUT	ステレオミニジャック (M3) (Φ 3.5 mm) × 1 0.5 V [rms]
デジタル音声出力端子	
DIGITAL AUDIO OUT	SPDIF
シリアル入力端子	外部制御端子
SERIAL IN	D-sub 9 ピン × 1 RS-232C 準拠
LAN 端子	RJ45 × 1 ネットワーク接続用、PJLink 対応
LAN	通信方式：RJ45 10BASE-T/100BASE-TX
リモコン入力端子	ステレオミニジャック (M3) (Φ 3.5 mm) × 1
IR IN	
USB 端子	USB コネクター × 1、TYPE A DC 5 V / 最大 2 A USB 3.0 対応
USB	
LED ドライブ出力端子	
LED DRIVE OUT	RJ45 × 8 LED 映像信号出力用
パワーボックス制御端子	
CONTROL for PB	RJ45 × 1 パワーボックス制御用
USB 端子 (サービス用) (SERVICE ONLY)	USB コネクター × 1、TYPE A USB コネクター × 1、TYPE miniB
外形寸法	幅 441 mm 高さ 62 mm 奥行 696 mm
質量	約 6.7 kg

リモコン

使用電源	DC 3 V (単4形マンガンまたはアルカリ乾電池2個)
操作距離	約 7 m 以内 (リモコン受信部正面)
質量	約 63 g (乾電池含む)
外形寸法	幅：48 mm 高さ：134 mm 奥行：20 mm

* 1 工場出荷設定時

* 2 高地（海拔 1 400 m 以上 2 800 m 未満）で使用する場合の使用環境温度は 0 °C～35 °C になります。

* 3 VIERA LINK 非対応

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

(This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

本体

品番	TY-CTRFHD2J
種類	コントロールボックス
使用電源	AC 100 V ± 10 % 50 / 60 Hz 2.2 A AC 200 V ± 10 % 50 / 60 Hz 1.05 A
消費電力	57 W ^{※1} リモコンで電源「切」時 0.7 W
動作使用条件	温度：0 ℃～40 ℃ 湿度：10%～80%（結露のないこと） ^{※2}
稼働時間	24 時間 / 日
SLOT1 用 供給電力	3.3 V / 最大 1.1 A、12 V / 最大 5.5 A
SLOT2 用 供給電力	3.3 V / 最大 1.1 A、12 V / 最大 2.75 A
HDMI 入力端子	
HDMI IN 1	TYPE A コネクター ^{※3} × 3 (4K 対応) HDCP2.2 対応
HDMI IN 2	音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数 : 48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)
HDMI IN 3	
HDMI 出力端子	TYPE A コネクター × 1 (4K 対応) HDCP2.2 対応
HDMI OUT	音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数 : 48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)
音声入力端子	
AUDIO IN	ステレオミニジャック (M3) (Φ 3.5 mm) × 1 0.5 V [rms]
音声出力端子	
AUDIO OUT	ステレオミニジャック (M3) (Φ 3.5 mm) × 1 0.5 V [rms]
デジタル音声出力端子	
DIGITAL AUDIO OUT	SPDIF
シリアル入力端子	外部制御端子
SERIAL IN	D-sub 9 ピン × 1 RS-232C 準拠
LAN 端子	RJ45 × 1 ネットワーク接続用、PJLink 対応
LAN	通信方式 : RJ45 10BASE-T/100BASE-TX
リモコン入力端子	
IR IN	ステレオミニジャック (M3) (Φ 3.5 mm) × 1
USB 端子	USB コネクター × 1、TYPE A DC 5 V / 最大 2 A USB 3.0 対応
USB	
LED ドライブ出力端子	RJ45 × 8 LED 映像信号出力用
LED DRIVE OUT	
パワーボックス制御端子	
CONTROL for PB	RJ45 × 1 パワーボックス制御用
USB 端子 (サービス用)	USB コネクター × 1、TYPE A
(SERVICE ONLY)	USB コネクター × 1、TYPE miniB
外形寸法	幅 441 mm 高さ 62 mm 奥行 696 mm
質量	約 6.7 kg

リモコン

使用電源	DC 3 V (単4形マンガンまたはアルカリ乾電池2個)
操作距離	約 7 m 以内 (リモコン受信部正面)
質量	約 63 g (乾電池含む)
外形寸法	幅 : 48 mm 高さ : 134 mm 奥行 : 20 mm

※ 1 工場出荷設定時

※ 2 高地（海拔 1,400 m 以上 2,800 m 未満）で使用する場合の使用環境温度は 0 ℃～35 ℃になります。

※ 3 VIERA LINK 非対応

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

(This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

本体

品番	TY-CTRFHD3J
種類	コントロールボックス
使用電源	AC 100 V ± 10 % 50 / 60 Hz 2.2 A AC 200 V ± 10 % 50 / 60 Hz 1.05 A
消費電力	57 W ^{※1} リモコンで電源「切」時 0.7 W
動作使用条件	温度：0 ℃～40 ℃ 湿度：10%～80%（結露のないこと） ^{※2}
稼働時間	24 時間 / 日
SLOT1 用 供給電力	3.3 V / 最大 1.1 A、12 V / 最大 5.5 A
SLOT2 用 供給電力	3.3 V / 最大 1.1 A、12 V / 最大 2.75 A
HDMI 入力端子	
HDMI IN 1	TYPE A コネクター ^{※3} × 3 (4K 対応) HDCP2.2 対応
HDMI IN 2	音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数 : 48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)
HDMI IN 3	
HDMI 出力端子	TYPE A コネクター × 1 (4K 対応) HDCP2.2 対応
HDMI OUT	音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数 : 48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)
音声入力端子	
AUDIO IN	ステレオミニジャック (M3) (Φ 3.5 mm) × 1 0.5 V [rms]
音声出力端子	
AUDIO OUT	ステレオミニジャック (M3) (Φ 3.5 mm) × 1 0.5 V [rms]
デジタル音声出力端子	
DIGITAL AUDIO OUT	SPDIF
シリアル入力端子	外部制御端子
SERIAL IN	D-sub 9 ピン × 1 RS-232C 準拠
LAN 端子	RJ45 × 1 ネットワーク接続用、PJLink 対応
LAN	通信方式 : RJ45 10BASE-T/100BASE-TX
リモコン入力端子	
IR IN	ステレオミニジャック (M3) (Φ 3.5 mm) × 1
USB 端子	USB コネクター × 1、TYPE A DC 5 V / 最大 2 A USB 3.0 対応
USB	
LED ドライブ出力端子	RJ45 × 8 LED 映像信号出力用
LED DRIVE OUT	
パワーボックス制御端子	
CONTROL for PB	RJ45 × 1 パワーボックス制御用
USB 端子 (サービス用)	USB コネクター × 1、TYPE A
(SERVICE ONLY)	USB コネクター × 1、TYPE miniB
外形寸法	幅 441 mm 高さ 62 mm 奥行 696 mm
質量	約 6.7 kg

リモコン

使用電源	DC 3 V (単4形マンガンまたはアルカリ乾電池2個)
操作距離	約 7 m 以内 (リモコン受信部正面)
質量	約 63 g (乾電池含む)
外形寸法	幅 : 48 mm 高さ : 134 mm 奥行 : 20 mm

※ 1 工場出荷設定時

※ 2 高地（海拔 1,400 m 以上 2,800 m 未満）で使用する場合の使用環境温度は 0 ℃～35 ℃になります。

※ 3 VIERA LINK 非対応

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

(This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

ソフトウェアライセンス

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社にライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (LGPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPLV2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (6) GPL V2.0、LGPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記(3)～(6)に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての默示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、本製品の初期設定メニューからの所定の操作によって[ソフトウェアライセンス]の選択により表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社は、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口 : oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

本製品は、AVC Patent Portfolio License、VC-1 Patent Portfolio License 及び MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- (i) 画像情報を AVC 規格、VC-1 規格及び MPEG-4 Visual 規格に準拠して（以下、AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオ）記録すること。
- (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオを再生すること。

詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpegl.com>) をご参照ください。

商標について

- Microsoft、Windows、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、macOS、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- PJLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録又は出願商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- JavaScript は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- Crestron Connected、Crestron Connected ロゴ、Crestron Fusion、XiO Cloud は、Crestron Electronics, Inc. の、米国および / または各國での商標または登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

■ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークは、ヨーロッパ連合（EU）をはじめとするリサイクルシステムを備えた国にのみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

警告

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高周波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

便利メモ おぼえのため記入 されると便利です。	お買い上げ日	年 月 日	品 番	
	販 售 店 名	お客様ご相談窓口		
		☎() -	☎() -	